

SCIENCE OF LIFE - STUDY COURSE  
FIRST LESSON

Analysis of Life - Awareness of Cause

001 This course on the science of life will get deeper as we proceed with the study.

生命の科学－学習コース

第1課

生命の分析－因への気付き

001この生命の科学コースは学習を進めるにつれて次第に深遠なものになるでしょう。

【解説】

いよいよ「生命の科学逐次解説」講座も4周目を迎えます。この間、約14年の年月が経過しました。平日毎朝の日課としてアダムスキー氏の哲学3書を一段落ずつ精読し、先ずは無事今日に至ることが出来たのは、読者の皆さまからのコメントがあり、また日々過ごす中で多少なりとも私自身この仕事を通じて学ぶことが多かったことがあります。併せてこのような発表の場を提供戴けたことに感謝しております。

実際、様々な状況変化の中、いつまで続けられるかは神のみぞ知るですが、私自身続けられる間は自分自身が生きている証として続けて行きたいと考えておりますので、引き続きのご高覧を戴ければ幸いです。

本項は言うまでも無く「生命の科学」の最初の言葉ですが、それが示すように本書は少しずつ内容が高度になって行きます。先の「宇宙哲学」は整然として内容の組立でしたが、最も後年に執筆された「生命の科学」はジグソーパズルのように、私達自身が真の全体像を少しずつ理解出来るよう、工夫されているように思われます。そういう意味では少しずつ素直に内容を読み込むことが有益に繋がるものと思うのです。

002 When we speak of life, we mean in every phase of life's expression. In plain -we are going to explore life.

002 私達が生命について語る時、私達は生命が表現するあらゆる側面を意味しています。簡潔に言えば、私達は生命を探究しようとしているのです。

**【解説】**

元来、英語の"Life"には、生命はもとより生物や生きもの、生活や生涯等々、様々な意味を含む幅広い概念があります。

本書の場合も、それら全ての側面を網羅した意味で”生命”と称している訳で、実はそれが生命活動を通じて皆繋がっていることを示唆しているのです。

即ち、一つ一つの繊細な細胞あるいは原子分子の命から大宇宙に広がる生きた天体としての母なる惑星等、全てがこの生命によって繋がっている中で、私達はその原理や仕組みについて学ぼうとしているのです。

003 And in dealing with the religious or spiritual side, one should not be disturbed regardless of his faith. For the Creator whom we call God, created everything that is known and yet to be known. And to know the Father of all creation, one must study His creation and its purpose.

003 また、宗教や精神的な側面を取扱う際には、人は自身の信条がどのようなものであっても妨害を受けべきではありません。何故なら、私達が神と呼ぶ創造主は、知られている、そして今後知られることとなるあらゆる物を創造したということ。そして、全ての創造物の父を知るために、人は父の創造物とその目的を研究しなければならないからです。

#### 【解説】

とかく真剣に取り組む者にとって、自らが信じる方向だけが正しいと思いがちであり、つつい別の方向性を持つ者に対して、批判的になるものです。勿論、その結果は仲たがいになることがほとんどです。

これらの問題は宗教宗派間の対立にも言えることで、他人の考えを尊重出来ない見の狭さが周囲に問題を引き起こすことも事実です。

本項は期せずして、アダムスキー氏が私達に互いを尊重するよう学習の当初から厳命していることは重要です。私自身、この分野に長く居りますが、この間、多くの片が本項に示されることを原因として離れて行ったことを思い出します。

所詮は寛容性の問題なのですが、私達自身も更に他者に対して穏やかに接するよう、努めることが必要です。

004 We, as his highest creation are intrusted with that responsibility. The study should be no different than a careful observation of a famous painting would be when the artist is not known in person. For the more that it is studied, the better one understands the mind responsible for the painting.

004 最高位の創造物である私達は、その責任を任されています。その研究は画家を個人的に知らない場合に著名な絵画を注意深く観察するのと違いはありません。研究が進むにつれて、人はその絵画を描いた本人の心をより深く理解することになるのです。

#### 【解説】

本項の例にあるように絵画にしても彫刻にしても、芸術性をそれらの作品から読み取るとは私達誰もの特権です。それはあらゆる自然界の創造物を愛でその細部や仕組み、全体の生態系において果たす役割等、学ぶべき側面に限りはありません。

そうした事物の鑑賞こそ、私達の為すべき修行なのでしょう。これについては最近「美の壺」というNHKの番組がありますが、一つ一つの作品について、丁寧に自ら鑑賞することの楽しさを良く伝えています。

本来、私達は自分自身の肉体も含めて、与えられた環境を十二分に観察、学習し、その美しさや深さを知ることが随一の責務とすべきなのです。

005 As we cannot see the Creator the God of the Cosmos in person, we then must study Him through His creation. And this manifests in what we refer to as nature, for it is the embodiment of His Supreme Intelligence.

005 私達は創造主、宇宙の神を個人的人物として見ることはできない以上、私達は創造物を通じて創造主を研究する必要があります。そしてこの創造物は私達が自然と呼ぶものの中に現れているのです。何故なら自然こそが創造主の最高英知の体現であるからです。

#### 【解説】

私達はどのようにして創造主を知ることが出来るのか、本項は前述の絵画の例をとって、絵を通じて作家を理解することと同じとしています。

言い替えれば、私達が自然を前にする時、私達はその圧倒的な力強さや美しさに驚くばかりです。もちろん、他の動物達も自然界には多く生きているのですが、あらゆる創造物の起源を知り、全体の中の役割を知ろうとすることは人間の機能であり、他の生物は成し遂げられません。

これこそ人間の義務であり、宇宙を創っている創造主、生命の贈り主を探求の目的地にしなければなりません。元来、私達が惹かれる芸術性高い作品や美しさの中には、その創造主の片鱗を見ようとしているのかも知れません。

006 As stated, we cannot see Him as a person for he embraces all, and manifested creation is the Effect from His Cause Intelligence.

006 先に述べたように、私達は創造主を個人的人物のように見ることは出来ません。何故なら、創造主が全てを包み込んでおり、創出された創造物は創造主の因なる知性から出た結果物である為です。

**【解説】**

「生命の科学」の最初の部分で著者は重ねて私達が創造主をどのように探求すべきかについて説いています。それは私達がこの学習を通じて、私達自身の肉体も含めて目に見えるもの、形あるものが創出された存在であることと、その背後にそれを支えた創造主なるものの存在があることを深く認識すべきだとしていることに注目しなければなりません。

つまりは、私達が住む惑星は偶然の産物でなく、明らかに創造主という存在があり、その作品として存在するのです。そして重要なのは、一見して古代の宗教観のように思わせるこの概念こそ、進化した他惑星社会が到達した原理観であり、私達地球の民もその境地に進化することが必要なのです。

007 When one studies to become a doctor he does not study just a man's eyes or nose, but he studies every intricate part of the body. This includes every nerve, muscle, etc., and their purpose or function.

007 人が医者になるために学習している時、人の目や鼻のみを研究することはせず、肉体のあらゆる入り組んだ部分をも学びます。これにはあらゆる神経、筋肉等、及びそれらの目的や機能についても含まれます。

#### 【解説】

今となっては昔、医学部に進んだ友人から、医学部では皆、手の骨の一つ一つの名前も覚えるのだと教わったことがあり、人体の仕組みを知る為に解剖の実習も行われるとのことでした。

本項は同様な意味で、私達自身、自らを通じて生命を探求する際に、単に目や鼻等の外形のみでなく、内部の代謝や諸機能の仕組みについて学ぶ必要があると説いています。

よく言われることですが、患者を前に医師がその病気の状況は原因について洞察するのと同様に、私達は問題を抱える他者に対して、その問題点と原因を看破し、適切なアドバイスを行う為には、ある意味、瞬時の洞察力が必要です。アダムスキー氏らもこうした洞察力を有していた訳ですが、一目見てその者の正体を見抜くような存在になる為にもまずは自分自身を教材として、その内側の実態を学び、周囲との関連について理解すべきであるのです。

008 Some doctors go deeper when studying the manifested form of man and observe him with his consciousness. Thus he perceives the invisible or cause back of the effect. In this way he learns the purpose of every artery, muscle and organ and how each is related to the whole form. Thus when one part is out of order he knows what to do.

008 医者によっては人体の具現化された姿を研究する際、深部まで探究し、自らの意識でその人体を観察します。そうすることで、彼はその結果をもたらす目に見えない、或いは背後にある原因を知覚するのです。このようにして、彼はあらゆる動脈、筋肉そして組織、また各々が如何に全体と関連しているかを学ぶのです。このことにより、身体の一部が乱れた時に何をすべきかが分かるのです。

### 【解説】

「生命の科学」の中で後段に行くほど、「Consciousness意識」という表現が用いられるようになりますが、その最初に登場するのが本項になる訳で、私達はこの「Consciousness意識」なるものの概念を理解することが重要と言えます。

即ち、ここでは医者が自分の意識を動員して目には見えない内側の人体の様子を観察する際に、自分の意識を用いているのだと説いていることに注目です。

あい対する患者を前にして、自らの意識を用いて相手の身体状況を知ろうとしているところが重要で、普段、私達も自然を観察する際にそのように応用することが求められているのです。このように「意識」なるものは既に私達の中に存在し、日常的に私達が活用できるものです。意識を用いることによって私達は様々な要素が互いに結びつきあって活着していることを実感するということでしょう。



009 We must follow this same procedure of study in order to know nature and thus be able to free ourselves from the mysteries that have surrounded us and made us an entity separated from our creator. Then we shall come into an understanding of Cause and Effect. And our mental senses will perceive all forms and their purpose. And consciously we will understand the cause back of the manifestation.

009 私達が自然を知るためにはこれと同じ手順に従う必要がありますし、そうすることによって私達を取り囲み、私達を創造主から分離した存在にしていた諸神秘から私達自身を解放することが出来るようになるのです。そうなれば私達は原因と結果の理解に到達することでしょう。私達の心の感覚は全ての形有るものとそれらの目的について気付くようになるでしょう。そして意識的に私達は出現の背後にある原因を理解することになるのです。

### 【解説】

度々、自然観察が大事と説かれて来ました。高山をはじめとする大自然から足元に咲く早春の小さな花まで、私達は自然に囲まれた中に生きています。四季のある日本ではとりわけ自然の変遷に気付きやすい環境にあり、古来から鋭敏な季節感が生まれているようです。

このように恵まれた自然環境の中にある私達日本人にとって、四季の移り変わりの中の顕著な生命活動に気付く機会が多いものです。今までは梅や桜の花が咲き、また新緑の木々の芽吹きが始まった等々の外観の編かに気付くばかりでした。しかし、これからは、木々と会話し、虫たちと戯れる等、同じ生きものとしての意思疎通に務め、耳に聞こえるような声を発することのない存在に対しても、自らの意識を融合させ、相手の気持ちを感じ取る存在を目指したいものです。ルーサー・バーバンクやファール、芹沢光治良のような生き方が出来れば、最高の人生を送れるものと思います。

010 So we not only are going to develop our minds with the help of consciousness, but also expand our conscious perception at the same time. And in this way we shall see the Creator face to face through the mind and the consciousness as they become one.

010 それゆえ、私達は意識の助けを受けて自らの心を発展させようとしているばかりでなく、同時に私達の意識的な知覚力を広げようとしているのです。そしてこのようにして、私達は一体となった心と意識を通して創造主を面と向って間近に見ることとなるのです。

### 【解説】

はじめは医者が患者を診察する場面から、これまでの一連の解説が行われて来ました。また、読者の中にはそもそも著者が使用する「意識」や「心」なる用語について定義や説明もないままに、説明が進んで行くことに多少の違和感を覚える人も多いのではないのでしょうか。

私自身も当初はそのように感じたものです。しかし、このような分野について、全てを説明したとしても、学習者が単に丸暗記をするだけでその本質的な意味を自ら考えなくなるようでは、元も子もないのではないのでしょうか。何度も例として取り上げられるように、この種の学習はジグソーパズルが例えられます。その場合、組み合わせられるパーツは必ずしも絵の隅からとは限りません。自分が理解した部分を先ず結びつけて、全体を見て次なる組み合わせのパーツを見つけることになる筈です。

丁度そのように、私達も「意識」や「心」について自分の理解に応じて解釈を拡げていけば良いのかと思っております。従って、更に深い意味や仕組みがあるとしても、当面は私達は日常的に考える意識のイメージを「意識」に心のイメージを「心」に与えながら、自身の解釈が合っているかを確認しながら、進めば良いと考えるものです。

011 This is the method that the planetarians or space people use in their development.

011 これこそが、惑星人達、スペースピープルが彼らの発達に用いている方法です。

**【解説】**

本講座は一見したところ、学習者に対して十分な初期の説明のないまま、先に進んで行くように感じられるかも知れませんが、一つ一つ自分の力で物事を見極めて行こうとする方向性こそ、他惑星人が自らの発達に用いて来た方法であり、本書がアダムスキー氏関係者の間で、氏が執筆した哲学書の中で最も重きを置かれている所以でもあります。

私達はこれを踏まえて、一つ一つの記載内容から、何を学ぶべきかを考えながら、学習の途を自ら一歩ずつ歩むことになるのです。

012 We must always remember through the entire course that the human mind or the senses have been depending upon effects, while the consciousness does not -- it produces the effects.

012 私達はこの全コースを通じて人間の心、諸感覚は結果に依存していること、一方、意識はそうではなく結果を作り出しているということを常に心に留めておく必要があります。

#### 【解説】

本項はこの「生命の科学」で私達が実感・把握しなければならない基本的な事項を端的に述べています。つまりは、私達が長年の精進の中で認識すべきは、自分の心と本書で言う意識の働きについてなのです。

いずれも私達自身の中にある目に見えないものと言えますが、その中で私達は自分の心、言い替えれば”自分”と主張している”自我”やエゴという基本的なものは、結果物に依存していることに、先ず気がつかなければなりません。目の前の具体的な状況として現れている結果は、ご自身の肉体から周囲の事物等、様々ですが私達はそれらの変化に一喜一憂して、いわば結果物に支配されて生活しています。

しかし、本講座では、世の中にはもう一方の目に見えない存在である”意識”の重要性について説いています。即ち、この意識なるものは、もちろん私達各人にも有り、宇宙あまねく存在しているのですが、その意識こそが創造作用を持っていることに気付くことが大切なのだとしている訳です。

従って、当然ながら私達は限界のある心よりは、無限の可能性をもたらす意識の方に自分の支点を移すべきことは言うまでもありません。

013 Consciousness speaks in silence, or impressions, which is the language of The Supreme Being know as God, while the mind speaks the language of effects, which is sound.

013 意識は沈黙のまま、即ち印象によって話し掛けます、それは神として知られる最高位の存在の言葉でもあります、一方で心は結果の言葉、音声によって話し掛けます。

**【解説】**

意識と心の見分け方について、本項は端的に説いており、これから両者を学ぼうとする私達にとっては、本項は短い言葉ですが大変重要になるかと思われます。つまり、私達が文字や音声に頼っているのが心であり、無音の印象を通じて語り掛けるのが意識という訳です。

このことから私達はこれからの自分の進路について、出来る限り印象に従って行動することが重要であることが分かりますし、自分自身がいわゆる勘（インスピレーション）が鋭敏になって来たと思えば、それは軸足が意識に移って来た証拠であるし、進歩の証でもあるのです。

このようにして、自分の中で次第に意識なるものに近づき、融和して行くことが皆さまの進化にとって大変重要なポイントになるのです。

014 So this first lesson is the most important lesson of them all. One should learn through all of the lessons to follow that he is not studying effects alone but also causes, both at the same time. As you read and study the lessons from here on, make sure that you are using your mind and consciousness in full awareness of your study that you may see the effect and the cause behind the effect as a unit. Both are necessary to give us the things that we enjoy.

014 それゆえ、この最初の教科は全ての教科の中でも最も重要です。学習する者は以後に続く全ての教科を通じて自らが結果のみではなく、原因についても同時に研究しているということを学ぶべきです。あなたがこの教科を読み、研究する時は、あなたは御自身の心と意識をあなたの研究に全力で傾注して用いていることを確実にして下さい。そうすればあなたは結果と結果の背後の原因を一体として見る事ができるようになるでしょう。原因と結果の両者ともが私達が享受する物事を私達に授ける為に必要なのです。

### 【解説】

繰り返しになりますが、この第1課は私達にとって最も重要だとしています。一見したところ特段に心や意識自体への解説はないのですが、それでもこれから私達は自分の心以外に意識の存在とその作用について学び、両者を同時に用いて探求せよとしているのです。

このことは単に教条的な教義を暗記せよとはせず、自ら心の他に意識なる存在に気付き、両者を発展させよとしている訳で、各自自分自身で意識なるものを認識できるよう努めることが求められています。

具体的には自然観察の場合でも、身近に生えている植物やそこにやって来る虫たちを観察する上で、形や色どりを探求すると同時に彼らの生活や互いの意思疎通等、印象のやりとりについても学ぶよう、想念レベルに至るまでの交流が必要であるということでしょう。第1課のタイトルである「因に気付くこと」が私達にとって、最も重要な課題であるのです。

015 This will not be easy at first since we have been taught to study with our mind and seldom recognize the consciousness or cosmic impulse behind the thought.

015 これは最初は容易ではないでしょう。私達はこれまで心で研究するように教えられて来た一方、めったに意識すなわち、想念の背後にある宇宙的な衝動については認識して来なかったからです。

【解説】

私達はこれまで解決すべき問題を前に、常に心を頼りにして来ました。しかし、大方の場合、過去の経験に沿って解決策を立案することはあっても、画期的な発想は心の中の葛藤からは、生じることはありませんでした。

これまでの体験からしても、真の解決策は皆、心とは別のところから来る印象（インスピレーション）によっているように思います。もちろん、最初の内は「心が支配的であり、様々な場合を想定し、問題を拡大させ、不安感を高めるばかりですが、そうした状況では解決への道には到達しないものです。

しかし、ある程度の経験を積むと、自然界には基本的に修復できる機能が備わっていることや、他の生きもの達が自然を謳歌している姿を見るにつけ、やがては物事が解決する機会が来ることを確信するようになるものです。最も注意すべきは不安感であるように思いますし、その克服には人によっては長い年月を要しますが、意識への信頼こそ私達を導くものなのです。

016 This awareness will enable a faster growth of understanding when used in everything that is done. And when the full awareness comes it will seem at first that there are two of you. The mental acting and the consciousness directing.

016 この気付きこそが為される全てに用いられるならば、理解力においてこれまで以上の急速な成長をもたらすでしょう。そして完全な気付きに到達した時には、最初の内はあなたが二人いるように思えるでしょう。活動しようとする心と指示する意識の二つです。

### 【解説】

ここで重要な表現と思われるものは、本項で著者が「心は活動する」とし、「意識は指示する」として

いることです。つまりは、私達は自らの”努力”として心が様々騒ぎ立てる一方、意識は答えを示唆するとしている点です。この両者の動きを同時に認識できるようになれば、私達は著者の言う意識を少し理解できるようになったということであり、自らが意識による指導、即ち印象の感受を通じて、より合理的な行動がとれるようになるという訳です。

やがては私達も他の生きもの達と同様、自然の力に沿った理想的・調和的な行動を取れるようになり、本来、本能とも言うべき卓抜した予知能力をも獲得出来る筈です。



017 Do not be afraid of making a mistake. But when you are aware of making a mistake, correct it as soon as possible, for if you do not, it could be a block in your progress. But do not feel badly, for that could cause you to be too cautious. Remember at all times that mistakes are the result of wrong application through which we learn the right procedure. And experience is necessary for the expansion of knowledge.

017 過ちを為すことを恐れなくて下さい。しかし、過ちを為したと気付いた時は、一刻も早くそれを正しなさい。何故なら、そうしないと、それはあなたの進歩の障害になるかも知れないからです。しかし、くよくよ思っははいけません。あなたを余りにも用心深くさせることになるからです。いつも過ちは間違った応用の結果であり、それらを通じて私達は正しい手順を学ぶということを覚えていて下さい。そして体験は知識の拡張に無くてはならないのです。

### 【解説】

歴史は繰り返すと言われるように、私達地球人は過去の過ちから多くを学べないでいるように思います。しかし、それでは因果応報のサイクルから抜け出ることなく、苦難の道を歩むばかりになるという訳です。

私達は何事も体験し、その結果を身に染みて初めて反省するものですが、中にはその原因を他人のせいにして自らの責任を回避することも多いものです。

しかし、それではせつかくの痛い体験を生かすことは出来ないのです。失敗した原因を学び、当時の自らの心境を振り返ってその原因を造り出した自身の心境を先ずは明らかにする必要があります。つまり、原因と結果の対応性を学ぶ訳です。

このようにして行けば、私達は失敗を重ねる内に賢くなる筈で、それら失敗体験がご本人の貴重な経験、宝となる訳です。そういう意味では過ちも価値が高いのだと著者は説いているのです。

018 Remember every act is perfect - be it good or bad - as we classify it. For every action calls for a full coordination of your mind, body and consciousness. So you grow into perfection by action and experience.

018 あらゆる行動は私達の分類によるところの良くも悪くもそれ自身、完全であることを忘れないで下さい。何故なら、あらゆる行動はあなたの心と身体、そして意識の完全なる整合を必要とするからです。ですから、あなたは行動と体験によって完全なるものに成長を遂げるのです。

#### 【解説】

全ての行いは心と肉体、そして意識という全要素が融合する中で達成されると説いています。それは思いつく事柄全てを行って良いとする訳ではないのですが、行動そのものは上記3つの要素が完璧に働いて可能となるものだと説いているのです。

例えば、階段を一段上るについても、足を骨折した経験のある人は良くお分かりのように、実は大変な作業の組み合わせであり、肉体細胞の各部が連携して働いて初めて可能となるものです。

冬季にはフィギュアスケートの話題が上りますが、その華麗な演技は、実際どのように可能となっているのか不思議です。演じている本人の心は意識と一体になっており、観覧している私達の何百倍も速く肉体各部に指示を飛ばしているに相違ありません。

このように全ては行動によって意識との一体性が表現されている訳で、私達は自らの行動を宇宙の道理に沿った内容にすべきことは言うまでもありません。それは意識の力を受けている者の義務でもあるからです。

019 Even Jesus had to go through many unpleasant experiences and made a mistake when he drove the money changers from the Temple. For he taught, judge not. But when he realized his mistake he knelt in front of the Temple and asked his Father for forgiveness.

019 イエスでさえ多くの不快な体験を経なければなりませんでしたが、あの寺院から両替商を追い出した時は過ちを犯しました。何故なら、彼は裁くなと教えていたからです。しかし、過ちに気付いた時、彼はその寺院の正面にひざまずいて彼の父に許しを請うたのです。

#### 【解説】

聖書について詳しく調べた訳ではありませんが、イエスが両替商を神殿から追い払った後、本文に記されているようにイエスが神殿の前に跪いて「父」に自らの過ちの許しを請うたという記述については、聖書にはない本項独自のものであるように思います。

実は著者アダムスキー氏はかつてイエスの弟子の一人であったと関係者の間で伝えられていますが、氏の当時の記憶が図らずも本項で披露されているのです。

それにつけても、当時のエルサレムの神殿が両替商をはじめ商売の場と化していたことへのイエスの怒りがあった訳ですが、純粹に祈りの生活を教えて来たイエスにとっては許しがたい光景であったことは間違えありません。しかし、それでも自らの行動は誤っていたと分かった時、イエスは弟子を前にして「父」に詫びたという秘話を私達に示すことによって、著者アダムスキー氏は私達は過ちを犯すものであるが、過ちと分かったなら直ちに改めるよう説いているのです。

020 We of today have a greater responsibility for we have more to compete with and more temptations than those who lived in the earlier days. So a greater alertness and determination is required if we are to understand and fulfill the purpose for which we were born.

020 今日の私達はより大きな責任を有しています。私達には昔の時代より多くの競争があり、多くの誘惑があるからです。ですから、私達が生まれて来た目的を理解し成就するには、より大きな警戒状態と決意が必要とされるのです。

#### 【解説】

時代が進むにつれて物事の動きは早まり、影響範囲は急速に拡大して来ます。今日では一国で生じた出来事はその日の内に世界中に広まるばかりでなく、様々な国にも影響が出る程、互いに繋がっている状況にあります。その典型は株価や石油価格、政治情勢等、多岐にわたります。

その他、各人の行動や想念すら周囲に影響を及ぼしている訳で、私達各人が保つ心境は社会全体の雰囲気構成することにもなる筈です。

従って現代に生きる私達は、古代の人々に比べるとはるかに大きな影響力を互いに行使しており、それらの影響力をかみしめれば、本項で著者がいう”より大きな責任”という意味が理解できると思います。どのような人生を送るかを考え、自分の生まれた目的を果たす為、得られた一日一日を感謝し、全うする姿勢が重要と言えるでしょう。

021 There can be no question regarding the fact that we were born for a reason or purpose, and there could be many. If this were not true, there would be no need for human beings.

021 私達が何らかの理由或いは目的の為に生まれて来たという事実に関して何らの疑問はあり得ません。もしそれが真実でないとするなら、人類の必要性は無いことになるからです。

**【解説】**

自然の美しさは誰もが認めるところですが、一方では人間がその中で暮らす時、様々な害や汚染が生まれることも確かです。森の奥深く育つ千年杉も人間の利用の為に切り倒され、原生林が失われて行くこともしばしばです。

このように人間が活動する上で自然が損傷されて行く中で、果して人間生存の意味はあるのか、もしあるとすれば何処にという問い掛けが生まれます。

本項はこれらの疑問を前に本来の人間の果たす役割は何かと自身に問えと説いているのです。本来は最高位の創造物として生み出された人間こそ、生まれた意義を学び、創造主や他の創造物館への果たすべき役割があると著者は説いているのです。

022 The major purpose for man seems to be -- an unlimited Expression of Cosmic Intelligence -- as no other form seems to have that scope of ability. Yet to do this, every phase of creation must be understood. When Jesus instructed his followers to be "about the Father's business" he had reference to this way of life. And in order to do this one must study each manifestation from the lowest to the highest.

022 人間の主な目的は、宇宙英知の限り無い表現であるように思えます。他の形有るものがそのような能力の可能性を持つとは思えないからです。しかし、これを成す為には、創造のあらゆる段階が理解されねばなりません。イエスが弟子に「父の事業に携わる」ようにと命じた際、彼はこのような生き方との関連で述べたのです。そして、これを成す為には、人は最低位から最高位に至るまでの各々の現れを学ばなければなりません。

#### 【解説】

私達人間の務めとはイエスご自身の言葉である「父の事業」を引き継ぐことの一語に尽きるのです。本項で著者がイエスの言葉をもって私達に真実なる知識を伝えているのは、以前にも述べた通り、著者自身がイエスの弟子であったこと、またこの生命の科学学習講座が遠くイエスの時代に遡る程の長いプログラムの一環として私達に授けられたことをも示唆するものです。

宇宙英知の限りない表現とは、私達自身が宇宙英知を発現し、その行動は創造主の息子として常に理想とすべきものでなければなりません。そういう意味では各自が常々自身を心身共にブラシアップを続け、創造物を学びながら、輝きを増すよう、精進することが大切です。

023 We find no two human being that are alike. For the different talents with which each is endowed makes the difference. But like the keys on a piano, when one learns the tone of each and strikes it accordingly a beautiful harmonious melody is the result. The opposite can be brought forth when not understood.

023 私達はそっくりな2人の人間を見つけることはありません。何故なら各々に授けられた異なる才能が相違を作り出しているからです。しかし、ピアノの鍵盤のように、人が各々の音色を学び、適切にそれを打ち鳴らせば、結果として調和のあるメロディーが生まれます。理解されなければ、その反対が引き起こされ得るでしょう。

#### 【解説】

一人一人は違った才能を持っているという訳です。その才能はピアノで言えば鍵盤、ジグソーパズルで言えば一つのピースとして全体を支える役割を担っているということでしょう。

しかし、地球人の社会では人々の間には上下の関係、支配被支配の関係が支配的であり、富や情報がそれぞれ上位に向かって流れているように思われます。一方、自然界では皆同じ地平線上に暮らし、相互に役立って生活しています。植物の世界ではマメ科類と根粒菌、花とミツバチ、その他数えきれないほどの助け合いや共生関係を観ることが出来ます。

それと同様に人間の間にも”お互い様”の協力関係、信頼関係こそ価値があるものと言えるでしょう。

024 So we will endeavor to understand the self by knowing the equipment we have to work with.

024 ですから、私達は私達が日々共に働かなくてはならない道具を知ることによって自分自身を理解するよう努力することにしましょう。

**【解説】**

先ずは私達自身を学ぶことから進化は始まるという訳です。私達に授けられた肉体や心なるものを良く知ろうとすることが出発点であると、本日は端的に説いています。

古くは”汝自身を知れ”という言葉があるのですが、他人や他の事物を評価、論ずるよりも、自分自身を良く知ることが先決にしなければなりません。長い人生の中で常に共にする自分自身がどのように機能し、また問題を抱えているのか、その原因は等々、学ぶべき事柄は多く、またその生かはその後終生、各自に身につく訳で、その効果は永続的です。

毎日少しずつでも身につけた知識は以後、私達の生活に役立って行く訳で、永遠の時間の中でその効能は計り知れません。



025 First -- What is a human being ? As we see the body which is an effect, we observe that it is composed of flesh, bone and liquid. And not much different than most animal forms. But that which makes up the form is never seen with the physical sight as it is made of myriads of cells. Each cell is independent yet it blends with all of the others for the common good and maintenance of the form. Just as the three billion people of the earth make up the human family. But because they have not been taught the part which they may play in life, disorder results. This disorder is minor compared to the total order on earth. For if it were not so the planet earth would be in a chaotic state. So now we must try and learn the cause of disorder.

025 第一に、人間とは何でしょう？ 人体を見ると、それは一つの結果であり、私達はそれが肉と骨、そして体液から構成されていることに気付きます。そしてそれらは大部分の動物の身体と大差が無いことがわかります。しかし、身体を作り上げているものは肉眼では決して見ることは出来ません。なぜならそれは無数の細胞から出来ているからです。一つ一つの細胞は独立していますが、同時にその形有るもの共通の目的や維持の為、他の全てのものと融合しているのです。丁度、地球の30億人の人々が人類家族を作り上げているのと同様です。しかし、人々は生命において果すべき役割を教えられて来なかった為、混乱が生じています。それでもこの混乱は地球の秩序全体と比べれば小さいものです。何故ならもし、そうでなければ、この惑星は渾沌状態になっていることでしょう。ですから、今、私達は混乱の原因を学ぼうと努力しなければならないのです。

#### 【解説】

本来、自然界の他の創造物と同一の起源を持つ筈の人間なのですが、その歩んだ道は他の生きもの達とは随分異なってしまったと言えるでしょう。本項はその人間の肉体について、分析を始めているように思います。

人間の細胞の数は60兆個にも及ぶとされ、それらは本来、皆協働して一人の人間を支えている訳ですが、現実には私達は本来の寿命と比べて短い人生で終わってしまいます。そこには様々な心身の混乱があり、本来の整合がとれた生き方を各細胞が執れずに居るからです。

決して長く生きることだけが望ましい生き方とは言えませんが、宇宙本来の生命活動と共鳴調和した生き方こそ、私達は目指すべきであり、調和した生き方を各人の心身に染みつかせる必要があるのです。

026 The average human is a mentalist governed by the ego which is itself an effect of the cause. And as the mind is the process of learning it seeks to guide itself by other material effects and there are many things that it does not understand. And the things that are not understood are feared and disliked. And the things that are pleasing to the senses (or ego mind) are liked. Yet oftimes the likable things become blocks that prevent the individual from progressively learning.

026 普通の人間はそれ自身は因の一つの結果でしかないエゴに支配されている心至上主義者です。そして心は学習の課程にいる為、心は他の物質的結果によって自分を導こうと探し求めますが、心が理解しない多くの事柄があります。そこで、理解されない事柄は恐れられ、嫌われます。また、感覚（或いはエゴの心）を喜ばせるものは好かれるのです。しかも、多くの場合、好まれる物事は進歩的な学習からその者を妨げる障害になるのです。

### 【解説】

重要だと思うのは、私達のエゴ（自我）自体、無定形であり、捉え処のないようなものですが、それ自体もまた創造されたものという点です。つまり、私達自身は心身共に創造されたもの、進化の過程にあるものと言うことができます。

片方の肉体内部では父なる創造主に常に従って人体の維持に従事している一方、自我は迷いの中に居て、目の前に現れる形あるものに従っているという訳です。自分が理解出来ない事柄は当然多い訳で、その中で不安や嫌悪も生まれるということでしょう。

もちろん、心穏やかに過ごす為には、心の好むままに暮らすことも一つの方法ですが、長い人生にあっては当面する問題の一つ一つを自ら選択して行くことが必要であり、自らの気力・体力を勘案しながら、一歩一方各自の課題に取り組むことが望まれています。

027 We can observe that life lends itself to all nature without divisions. And it seems that man's free will has separated him from his natural expression of life.

027 私達は生命は分け隔てなく自然全てに自らを貸し与えていることに気付きます。そして、人間の自由意思こそが人間を生命の自然な表現から分離させて来ているのです。

【解説】

春になれば草木が一斉に芽を吹き、今まで枯れていた木々や枯草が若葉を生み出します。それ程に私達は生命の海の中に居ることに改めて気付かされます。

このような生命の活動を見るにつけ、生命（いのち）というものは如何に多くの者に等しく表現させているかが分かるというものです。それが本文で説かれている「生命が分け隔てなく自然全てに自らを貸し与えている」という内容です。

自然界のあらゆる生きもの達が皆、春の到来を喜び、自らその喜びを表現している姿がそこにあるのです。そうした目に見えない衝動（インパルス）こそ、私達が親しくならなければならない、宇宙的波動であることは間違えありません。

028 So we must first -- condition the mind which is made up of the senses to not accept the effects as the ultimate answer as it has been doing. But patiently analyze the reason for the effect before coming to any conclusion. It should not make any difference whether it be a personal effect related to one's self, or another person or form of life.

028 ですから、私達は最初に、過去にやって来たように結果を最終的な答として受け入れることの無いよう、諸感覚から成り立っている心を調整しなければなりません。代わって、何らかの結論に到達する前にその結果に対する理由を忍耐強く分析することです。それには御自身の個人的な結果であろうと他の人の或いは他の生命体についてであろうと何ら違いは無いはずで。

### 【解説】

目の前に現れる結果を最終的な結末、揺るぎないものと見ることを止めるよう、著者が私達に説いています。その目に見える結果は永続するものではなく、それが生み出された条件が変化すれば、容易にその姿を変えるからです。

目に見える存在自体が拠って立つ目に見えない条件が変化すれば、直ちに姿を変え、消滅さえするからということでしょう。雲が湧き起こり、雨を降らす場合や火山の噴火その他あらゆる天変地異から人体に及ぶまで、全ては目に見えない、いわば波動や電荷、その他様々なエネルギー状態の影響を受けるものと考えます。

その最も良い例は私達自身の顔の表情でしょう。悲しみや怒り、また喜び等、私達の心の状況を顔は表現する訳で、その内側の心境次第で人の表情は大きく変化するのはです。そういう意味から、先ずは私達は外観に影響を及ぼしている内部の原因について学んで行く必要があるのです。

029 As an example we will use the form of a tree and analyze its purpose. As we observe the effect we find that its services are many, both as a living tree and the products that can be made from it. For many useful things are made from the wood of its trunk and it fertilizes the earth by dropping its leaves. But we do not see the energy or life force which emanates from it and without which we would not have the pure air which is found in virgin forests. For it transmutes monoxide gas to oxygen which is essential to life. And all plant life serves in this field.

029 例として、樹木を取り上げることとし、その目的を分析しましょう。私達はその結果を観察すると、私達は生きている樹木及びにそれから作られる製品共に木がもたらす便益は多種に及ぶことを発見します。何故なら、木材からは様々な有用な物が作られますし、その葉を落すことで土壌を肥沃にするからです。しかし、私達は樹木から発せられているエネルギー、生命力は見えていません。その生命力が無ければ、処女林に見られる純粋な空気は生じないでしょう。何故なら、樹木は一酸化ガスを生命に必須である酸素に変えるからです。そして全ての植物生命体はこの分野で務めを果しているのです。

### 【解説】

本項は植物の本来の機能について説いたもので、そのいわゆる炭酸同化作用は私達には目に見えない植物の活動であることに注意が必要です。即ち私達の身の回りの多くの存在が果たしている重要な機能については目に見えるものは少ないという訳です。

植物が二酸化炭素から生きものに必要な酸素を作り出すこと、その取り込んだ二酸化炭素はデンプンとして植物の果実や根、茎に貯えられ、私達の食料にもなっている訳で、その作用は私達生きものにとって無くてはならないものです。

このような重要な作用に限って、外観上目立つことなく、人知れず行われている訳で、私達はそれら目に見えない作用について、更に探求し、自然の仕組みについて理解を深めて行く必要があるのです。

(注：文中にmonoxide gas一酸化ガスとありますが、具体的な内容は不明です。本解説では一般的な光合成作用として二酸化炭素から酸素が作り出される植物の作用を想定しています)

030 In observing the effect of forms we do not see the liquids or life blood, which we call sap in the tree, which flows through it making it a living thing. Nor do we see the roots in the depths of the earth and the work that they do in drawing energy from the earth unto themselves. Nor do we hear the molecules that make the form speak to each other in guiding it to the fulfillment of its purpose. This could be called the cause behind the effect.

030 その形ある結果物を観察する時において、私達は木の中の樹液と呼ぶ液体、生命を支える血液を見ていません。しかし、それは木の中を流れてそれを生き物と成しているのです。私達はまた、地中深くある根を見ることもありませんし、根が木々に土壌からエネルギーを引き出す為に果す仕事を見ていません。また、私達はその形有るものを構成する分子が互いにその形あるものの目的を果すために導く中で、互いに話しをする声を聞くこともありません。これは結果の背後にある因と呼べるものでしょう。

### 【解説】

私達の身の回りには植物を例に本項では何が目に見えない大切な要素であるかを、私達に具体的に示しています。

通常、私達は若葉や花々等、外観で捉えられる形や色で植物を観察し、その美しさをめでていますが、実際にその植物の生命（いのち）を支えているのは植物の内側を流れる液体や地中深く伸びた根の活動により水分や養分が植物に取り込まれること、更には葉の中で行われている光と炭酸ガスとの反応が組み合わさって一つの植物の個体が生きていくという訳です。

本項ではまた、究極の活動として各細胞を支える分子・原子もそれらの活動を奨励するようなパルスを出していると説いており、更に奥深い生命活動の仕組みがあることを示唆しています。

これら目に見えない諸活動に如何に気づき、その流れに従った生き方が出来るかが、最も重要なテーマとなるのです。

031 Now we must school ourselves to see the cause and the effect manifesting as One when we look at an effect. Form, we recognize with our physical sight as an effect to an effect. The mind must become aware of cause through consciousness. The moment that your eyes glance upon a form the consciousness will give the mind an impression of the life within the form. And you become single minded, as Jesus said man should be.

031 そこで、私達は一つの結果を見る時は、原因と結果が一体となって現れていることを見るように自分自身を訓練しなければなりません。私達は形あるものを自分の肉眼という結果が一つの結果を認識していることが分かります。しかし、心は意識を通じて因について気付くようにならなくてはなりません。一つの形有るものをあなたの目が一瞥した瞬間、意識は形有るものの内部にある生命の印象を心に与えるでしょう。そのようにして、あなたはイエスが人はそうあるべきと言ったように二心の無い状態になるのです。

### 【解説】

少し細かい話になりますが、私自身従来は形あるものの背後にある”因”に気付こう、見ようとしてどちらかと言うと、”観察眼を育むこと”、即ち目をよく凝らして現象を細かく観察しようとして来たように思います。

しかし、本項によれば目は所詮、結果の産物（器官）であり、結果物が結果物を見ているに過ぎないと断じているのです。つまりは目はいくら凝らして見ても結果しか見えていないとしていることに注意すべきなのです。

目が一瞬、対象物を見る時、その対象物の内側の状況は目とは別に”意識”から与えられるという訳です。この関係が円滑に行われることによって、イエスの言う二心の無い状態、即ち、”ひたむき”や”信念”の本来の意味だと説いているのです。

032 When the form is seen with the mind and the consciousness reveals the cause we then see the visible and invisible at the same time. i.e. If you start making a plan for a house by drawing it on paper, you are producing the first effect that comes to the mind by conscious impression. You are using the consciousness and the mind as one. The consciousness alerts the mind what the design is to be. After the plan is drawn you may make many changes due to the experience you have had with houses. Even then the consciousness will point out the improvements that can be made which were not present in the houses you have known.

032 形有るものが心で見られ、意識がその因を漏らす時、私達は目に見えるものと見えないものを同時に見ることになります。即ち、もしあなたが紙に図を描くことによって家を作る計画を立て始めるならば、あなたは意識の印象によって心にやってくる最初の結果を作り上げていることになります。あなたは意識と心を一つにして用いているからです。意識は心にデザインはどうあるべきかを注意します。計画が図面化された後、あなたは家について得たこれまでの経験に基づき多くの修正を行うかも知れません。しかしそれでも、意識はあなたがこれまで知っている家には存在しない改善点があることを指摘するでしょう。

### 【解説】

言い換えれば何も無い所から何かものを造り上げる、即ち創造的な仕事の中に意識と心が一体化した協働作業が生まれるものと思われまます。

何ら新しい試みが無く、ただルーチンの仕事で終わっていては意識の力を必要とする創造的な仕事は出来ないという訳です。

本項の例示の場合、家の設計は先ず、何も描かれていない白紙の紙の上に外観をデッサンすること、或いは間取りを描くことから始まるということでしょう。もちろん、本人は素晴らしい住居を造り上げたいと思っている訳で、その為にどのようなアイデアが望ましいか、盛んに意識に問いかけることでしょう。その結果、得られたインスピレーションを元に心は具体的な線や画にして形として白紙の上に新しい家の姿を描く筈です。

こうした作業過程は私達の心が意識を信頼する機会にもなる訳で、創造性の高い仕事は本人に貴重な体験と活力をもたらすことでしょう。



033 This could be called the development of the mind in intelligence. There is really nothing that you do that does not have the consciousness behind it. Your mind may change and modify an impression either for good or bad results, depending upon the mind's intelligence or how well it accepts the instructions. To produce good results the mind must have total faith in consciousness and permit itself to be guided by it.

033 これは知性における心の発達と呼んでもよいでしょう。あなたが成すことで背後に意識の無いものはありません。あなたの心は、その心の知性に依存して、あるいは意識の示唆を如何に良く聞き入れるかによって、良い結果となるにせよ悪い結果になるにせよ、印象を変化させ或いは修正するかも知れません。しかし、良い結果をもたらす為には、心は意識に全信頼を持ち、自らが意識によって導かれることを良しとしなければなりません。

### 【解説】

要するに、宇宙には本来的に法則に適したもの、道理に合致したものが満ち溢れており、私達はそこから来るインスピレーションに従うだけで良いのですが、そこに私達自身の心の未熟さが唯一の障害となっているというのです。

これら宇宙的な想念波動に従えば、それ自身が悠久の時の中で宇宙と調和し、持続可能な法則・真理となっている以上、それに従うことが最も合理的と言える訳です。

私達は自身の心をこれらの宇宙的な想念・印象波動に合致共鳴させることが出来るように自分自身から心配事や恐怖を取り去り、より堅固な信頼の下に宇宙と調和するよう自身を訓練することが必要です。

034 Here you may say that you do not wish to follow blind faith. Yet to accomplish what you feel down deep within yourself that you can -- you must use it. For what is blind faith? When you were planning your house you were using blind faith for the house was not present as a finished structure of concrete and plaster. Whatever you do in your life is performed with blind faith, for you never know what the results will be in any act. Whether walking or riding or whatever you are doing you hope that all will be well, but you are never sure. In fact 99 % of our life depends upon blind faith. I leave the 1 % to past experiences, but even there you are not sure the results will be the same if repeated.

034 ここにおいてあなたは、盲目的な信頼に従がおうとは思わないと言うかも知れません。しかし、あなた自身の中の奥底であなたが出来ると感じていることを達成する為には、あなたはそれを用いなければなりません。何故なら、盲目的な信頼とは何でしょうか？あなたがあなたの家を計画している時、あなたは盲目的な信頼を用いています。その家はコンクリートとシックいの仕上げられた構造物として存在していないからです。あなたが人生の中で何を成そうと、それは盲目的な信頼とともに成されます。あなたはいかなる行動においても結果がどのようになるかはわからないからです。歩いている、或いは乗り物に乗っている時、或いはどのようなことをしているにかかわらず、あなたはすべてはうまく行くように願いますが、確信を得ることはありません。実際には、あなたの人生の99%は盲目的な信頼に頼っているのです。私は残りの1%を過去の体験に残していますが、それでさえ、あなたは仮に繰り返しでであったとしても結果が同じになるかどうかは確かではないのです。

#### 【解説】

本項及び次項に続く本文では私達にとって盲目的とも言えるようなfaith（信頼、信仰）が如何に大切かが説かれています。

最初のお断りしたいのは、とかく私達は信念こそ大切で自らの意思を強く思念すれば何事も思い通りに実現するとして来たこととは、少し離れて考えた方が良いと思うことにあります。

長年、アダムスキー哲学を学んで来た人にとって、もちろん信念が大切であることについては十分に理解されていると考えます。しかし、本項以下に著者アダムスキー氏が説いている事柄は何も自分のエゴの欲求を通すことは信念の力によって難なく出来るとしているのではないのです。

言い替えれば信念（faith）が作用するのは宇宙的法則の下であり、その波動に調和した内容であれば、もちろん難なく実現するでしょうと説いているように思うのです。即ち、自我の欲求そのままが実現することはなく、仮に実現したとしてもその結果は長い目で見れば、新たな因果を生み出すカルマを自ら造り上げることにもなりかねないと思う訳です。

それ故に私達は日々、宇宙と調和した心境を保ち続けていれば、その中で望む事柄は自ずと宇宙空間に作用して実現することになるのです。

035 Faith is the foundation of all manifestations. And one without faith is like a ship without a rudder or captain. Once your mind has trust in faith, it will trust the instructions of consciousness, thus allowing the consciousness and mind to work as one. Then the consciousness of God which is the cause, and the sense mind of man which is the effect, have been united. And the biggest Mystery of Life has been dissolved.

035 信頼は全ての創造の現れの基礎です。そして信頼の無い者は舵や船長のいない船のようなものです。ひとたびあなたの心が創造主への信頼に委ねれば、心は意識の指導を信頼するようになり、その結果、意識と心が一体として働くようにさせることとなります。そうすれば因である神の意識と結果である人間の感覚の心が一体となって結びつくのです。そして生命の最大の神秘が氷解していることになるのです。

### 【解説】

私達自身がこの先どのような人生や生活を送りたいと願っているのかが重要です。その目的地がなければ、船は成り行き任せで波間を漂うばかりです。その際、重要なのは各自の目的地であり、自身が如何に宇宙の法則を信頼しているかです。

この信頼や信念が宇宙意識にインスピレーションを仰ぎながら、結果の世界にそれを適用して行く体制を生み出すと説いています。そこには自我の欲求を増長させ、それを「信念」として心が主張するという意味合いはありません。あくまで自我の心は因なる存在を信頼することに尽きると考えます。

これら言わば神との協働した創造作用に従事できれば、私達は本来の進化の道を歩んでいることとなります。

036 What is consciousness ? No one definitely knows except that it is a life force that is the creator of all forms. For without consciousness man would not be a living being. And in man the best way that we can describe it is -- a state of alertness. And a state of alertness is a state of feeling or awareness. In the animal it is known as instinct which does not have to depend upon sound. The language of consciousness is the language of the Creator that one feels when he becomes conscious of things not yet experienced. Jesus expressed it in these words -- Blessed are those who see and hear not yet believe. For they shall enter the Kingdom of Heaven. And the kingdom of heaven was used in reference to the realm of Cause, a sea of consciousness or everlasting life. For consciousness proceeds all manifestation.

036 意識とは何でしょう？誰一人、それが全ての形有るものの創造主である生命力であるということ以外、明確には知ってはいません。何故なら意識無くしては、人は生き物とはならないだろうからです。そして人間においてはそれを最も適切に表現するとすれば、それは警戒の状態とすることができるでしょう。そして警戒の状態というのは印象もしくは気付きの状態です。動物においてはそれは音声に頼らない本能として知られています。意識の言語は未だ体験していない物事について意識的になる時に感じる創造主の言語なのです。イエスはそれをこのような言葉で表現しました。「見もせず、聞きもしないのに信ずる者は幸いなり。何故なら彼等は天の王国に入るだろうからである。」そしてこの天の王国とは因の領域、即ち意識の海、永続する生命について用いられたのでした。何故なら意識は全ての創造の現れに先立つからです。

#### 【解説】

この「生命の科学第1課」の中で、最も重要な事柄を伝えているのが、本項ではないかと考えています。アダムスキー哲学の真髄は”宇宙的意識”の存在と機能ですが、その”意識”の正体や働きについて説いているのが本項であるからです。

もちろん、意識は物質でなく、本文で表現されているように創造主である生命力ですが、全ての出来事や活動の結果を残す作用は皆、この意識の力を通じて実現していることを理解することは重要です。即ち意識の段階を認識できるようになれば、やがて物質世界に生じる現象を事前に察知できるからです。

この意識への理解はイエスをはじめとする多くの聖人達によって説かれて来たものと思われませんが、何分未熟な私達を理解させるのには苦勞されたものと思われまゝです。ある者はそれを神秘主義に陥らせ、ある者は否定する道を選ぶ等、本来の理解は遠のいていたのです。本講座はこの意識なるものの存在に如何にして気付き、インスピレーション（想念波動）を頼りに、各自が進化の道を進む為の手助けをするものと言えるでしょう。

037 You see we are like a diamond in the rough. When man first found the substance that turned out to be a diamond, he saw a rock through his physical sense of sight but something inside of him told him that this rock was different from others. It was his consciousness and not his mind that alerted him to the fact that if he would cut and polish it, it would be the most beautiful thing that he had ever seen. Radiating every color conceivable. But this result would require patience and a lot of hard work, even pain at times when cut by the sharp edges. Every man is a diamond in the rough and there are many rough edges that must be removed before he can see the purity of himself.

037 私達は未加工のダイヤモンドのような物です。人が後でダイヤモンドと判明する物を最初に発見した時、人は自分の肉体の視覚を通じては一つの岩を見たに過ぎないのですが、自分の内部の何かが彼にこの岩はその他とは違うと知らせたのです。彼にもしそれをカットとして磨けばありとあらゆる色彩を放ち、これまで見たことのないような最も美しいものになるという事実を警告したのは彼の意識であり、彼の心ではありません。しかし、このような結果に至るには忍耐と努力、更には鋭い刃先でカットされる時の痛みさえ必要とされることでしょう。すべての人間は未加工のダイヤモンドであり、自分自身の純粋さを見い出す為にはそれ以前に多くの粗い角を取り除かなければなりません。

#### 【解説】

最近、“自分みがき”という言葉が用いられるようになりましたが、本項はその表現の要点を説くものでもあります。

実際に河原の石は丸く、滑らかなものも多く、石の内部の結晶がキレイに表現されていますが、それも本項に記されているように長年月の間、様々な問題に取り組ながら、角がとれて円満な形が生まれたと言えるでしょう。

私達は皆、本文にあるように宝石の原石のような存在であり、各自が問題とぶつかる中で自らの欠点を取り除き、その外側の汚れが取り除かれ、私達本来の姿を表現できる存在となる訳です。

038 This is not a pleasant process for each removal, in most cases, will cause a pain of one kind or another. But the more pain he is able to endure -- the finer the stone will be.

038 これは多くの場合、心地よい過程ではありません。ひとつひとつの取り除き作業にあれやこれやの痛みをもたらすだろうからです。しかし、その者がより多く痛みに耐えられればそれだけ、よりすばらしい宝石になることでしょう。

#### 【解説】

人それぞれに歩むべき道があるということでしょう。私達は各自様々な長所短所と称される特徴・性格を有していますが、それらも人生航路の中で波に揉まれ障害にぶつかりながらも、それらに耐え、自分を鍛える中で自ずと欠点は解消し、円満な人格に至るものと思われます。

大事なことは、現在の境遇や試練から何を学ぶかであり、これらの試練が永遠なるものとは見なさないことです。如何に苦しいように思えても、それらはいずれ氷解し、明るい未来が訪れることは、既に皆さまが経験上、分かっている筈です。

一つ一つの経験から普遍的な原理として何を学ぶかがその人生涯の宝となる筈で、そうした歩みの中で自身の内側からの光が輝き出すと言う訳です。

039 A perfect diamond will reflect pure light from each facet that is cut upon it, and there can be no imperfections if the cosmic frequencies are to manifest in full.

039 完璧なダイヤモンドはカットされた一つ一つの面から純粋な光を反射するでしょうし、宇宙の諸振動が溢れるほどに現わされるなら、欠点などというものはあり得ない筈です。

【解説】

私達自身の欠点を取り除かれ、本来の輝きが現れるようになれば、私達はこの世の中に真善美を表現する光点の一つとなれる筈です。

よく表現されるように、暗い世界にあって輝く存在は真っ先に求める人々に容易に発見され、その輝きの美しさは人々に本来の姿を思い起こさせるものです。私達は各自、自らの内部の輝きを發揮するよう、各自の障害となる欠点をいち早く解消し、自らを他の者を導く一員になる必要があるのです。

040 Our habits of thinking in relation to past and present teachings in all fields of life are the rough spots that must be removed. Some will be harder to remove than others, but determination of purpose will bring the desired results. Then will come the polishing or establishing of new habits which perhaps will not be easy or pleasant at first. But when all of this is accomplished the Glory of God will manifest through the form once known as man.

040 生命の全ての分野についての過去及び現代の教えに関連した私達の思考習慣は取り除かなければならない荒削りな汚点なのです。ある部分は他より取り除くのがより困難かも知れませんが、目標に向けた決意は望む結果をもたらすでしょう。その後、研摩即ち、最初は容易でも快適でもない新しい習慣が来ることになるのです。しかし、この全てが達成される時、神の栄光が人として知られる形有る者を通じて現われるでしょう。

#### 【解説】

私達が誤っていて改めなければならないのは、古今東西のいわゆる「生命」についての教えに対する思考習慣であると著者は説明しています。

つまりは、私達各人は長年、生命・いのちとは何かという点について思索して来ましたが、多くの先人達の教えを学ぶ中で、その概念を取り入れよう、理解しようとして来た筈です。しかし、本文では私達のそうした思考習慣の中に大きな誤りがあり、取り除かなければならないとしているのです。

残念ながら、本文中には私達が目指すべきものがどのようなものかについてまでは述べられてはいませんが、それは本項以降で徐々に学ぶことになる訳です。重要な点は本講座が「生命の科学」と称されている点です。この生命に対する新たな探求こそ著者が私達に指し示す方向性であり、私達は一步一步新たな心境の下、生命探求の道を歩むことになるのです。



041 It has been said that a rolling stone gathers no moss. But moss used in reference to man's accumulation of things has deterred his growth in cosmic intelligence. But the rolling one becomes polished by striking problems or other rocks and thus the debris is removed.

041 転がる石には苔が付かないと言われています。しかし、人による物事の蓄積に関連して用いられる苔は人の宇宙的知性における成長を思いとどまらせて来ました。しかし、転がる石は諸問題や他の石とぶつかることによって、不要なものが取り除かれるのです。

### 【解説】

誰しもゆったりした人生を送りたいと望んでいますが、人間の進歩にとってそれが本当に適切なものかどうかは疑わしいものです。何も新たな問題に直面することなく、問題解決に向けた努力を経験しなければ自らを鍛えることもなく、遂にはマンネリ、習慣的生活の下、退化の道を辿るような気がしています。

それに引き換え、様々な課題を避けることなく、対応して行ければその問題解決の中で様々な失敗を経験し、その時の自我の限界、を味わうことが出来、やがては障害を突破する貴重な経験も得ることでしょう。

決して問題に直面すること、危険に立ち向かうことのみを推奨する訳ではありませんが、やむなく目の前に来る課題については、それを成長の好機を捉えて、立ち向かう気構えが重要だということでしょう。

042 The real beauty of man's finer abilities has become covered with moss and lost to his vision. For all that he can see is the moss which is a parasite that lives on the body of another form. This is equivalent to human habits that cover the real man. While the rolling rock may come up against many problems and rocks twice its size and endure pain while bumping against them and losing parts of itself, it keeps on rolling. And finally it is polished to a high degree and shows the colors and minerals of which it is made. And in some rocks beautiful designs are formed when the minerals by the law of affinity adhere to one another.

042 人間の繊細な能力に関する真の美しさは苔に被われ、見失われています。人が見ることができるもの全てはその肉体あるいはその他の形有るものにとりついて生きている寄生生物である苔なのです。これは真実の人間を被う人間の習慣に相当しています。転がる岩は多くの問題やその大きさの2倍もある岩に出くわして、衝突して痛みを堪え、自らの一部を失いながら、それは転がり続けます。そして、最後にはそれは高度に磨き抜かれ、それを造り上げている様々な色彩や鉱物を示すようになるのです。そして岩の中には鉱物が親和の法則によって互にくっつきあうことにより美しい模様を形作られているのです。

#### 【解説】

いわゆる”転がる石にはコケが附かない”という言葉の解説です。

私達はとかく蓄積を好みますし、年齢を重ねるにつれて食物の嗜好も生活のパターンも共に固定化しがちです。場合によっては毎日の買い物から一日の過ごし方まで決まっているかのようになるかも知れません。

こうした行動のパターン化は習慣的想念による支配にも繋がり、心は考え悩むこともなく、やがては怠惰な日常の中に埋没してしまいます。その結果、私達は習慣に完全に覆われた存在となり、遂には独自の想念を発することなく、消滅する危険性もあるのです。

私達にとって大切なところは、種が新しい土壌環境の下に蒔かれた後に発揮するのと同じ新鮮な生命活動を発現することであり、習慣的生活は有害と見るべきでしょう。絶えず新しい側面を見出して、新境地を追及する学徒を目指すべきであり、その先に目標とする無垢の自分があるということかと思われま

043 It may take ages to do this, but through patience and determination a human can express this beauty in ever increasing fineness. And thus become The Christ in God's Kingdom.

043 このことを成すには年月を要するかも知れません。しかし、忍耐と決心を通じて、人間は永遠に高まる繊細さの中、この美しさを表現することができます。そして、このようにすれば、人間は神の王国におけるキリストになるのです。

**【解説】**

先ず本項で著者が述べている時間軸について私達は注意しながら本文を読むべきかと思われます。私達地球人の生涯は、最近は少しずつ長くなる傾向にあります。それでも実質的には100年そこそこというところかと思われます。その中でこの分野の進化というものについて、目ざましい進歩を遂げるということは難しいものかと思うのです。生まれた環境その他の条件による制約や本人の意欲の大きさ等々から、一つの生涯で一挙に課題を解決することは難しいものです。

しかし、著者が暗に示すように、私達には今後の転生も含めて無限の時間があり、忍耐と決意さえあれば、やがては神の王国におけるキリストになれると説いているのです。

044 So the first thing a student of life should do is to cultivate the ever present awareness of Cause and Effect. Where not only the mind will see the form as it has in the past, but also it will permit the consciousness to reveal the invisible supporter of the form. It will be like driving a car with full awareness of all of its working parts which produces the power, that the sight does not see.

044 ですから、生命の学習者は原因と結果に関する不断の気付きを養うことを最初にしなければなりません。心がこれまでそうであったように形を見る他に、意識が形有るものの目に見えない後ろだてを明かすことを容認させることです。それは自動車を視覚では見えないその動力をつくり出す作動部品の全てを完全に意識しながら運転することに似ています。

#### 【解説】

これまで示された課題の中で私達が真っ先に取り組まなければならないテーマはこれであると、著者は本項を取り上げているのです。

即ち、私達にとって最も重要なのは、原因とそれに対応する結果の結びつきを学ぶということです。昔から因果応報とも呼ばれて来ましたが、その本来の意味は宇宙的法則として何らかの原因作用があつて、はじめて具体的な現象が起こるというものであり、それらは一対一の対応となっているのです。

もちろん、あのいまわしい核兵器でさえも、その爆弾の内部構造は精緻なものであり、例え原爆・水爆でさえも、原因となる反応が起こされれば人類の命を一瞬で蒸発させる高温爆発を起こす訳です。

その原因と結果の作用は、もちろん本来的には天国を地上に創り出すほどの創造力を持っています。各人にあつてもそれらの作用実態を身近に感じ取ることが出来れば、次第に本来の思考習慣が身に付き、視野と理解の幅が広がる筈です。また、そうした状況の中で人々は各々の本来の役割をも果たすことが出来るに違いありません。

045 Just reading this lesson will be of very little value but daily and momentary practice will bring results. When you have questions pertaining to any of the lessons you should write them down. And if you do not find the answer in the forth coming lessons after receiving three, you may send them to me.

045 ただ、この教科を読むだけでは何らの価値にもなりません、日々のそして刻々の実践が結果をもたらすことでしょう。この教科のどの部分についてであれ、疑問がある時は、それらを書きとめて下さい。そしてもし、3課を受取った後もあなたが次ぎに来る教科までに回答を見つけられなければ、それらの疑問を私に送って戴いても構いません。

#### 【解説】

よく聞く話の中で、”生命の科学をよく読む”という表現があります。もちろん、人は日常生活の中で普段接していない物事は忘れがちであり、この「生命の科学」の内容に普段から親しまない限り、説かれる新しい概念を身につけることは難しいのです。

重要なのは、成功にしる失敗にしる、各自が行動実践する中で得た体験を通じて学ぶ記憶することであり、この体験を通じて真の記憶を構築することが出来るものと思われます。

そういう意味から、本文で著者は単に読むだけでは不十分で、実践することによって前に進めると説いているのです。また、実践の中で生じる疑問点も時間経過の中で自ずと解決策が与えられるとしています。

SCIENCE OF LIFE - STUDY COURSE

LESSON TWO

The Mind and Its Component

By GEORGE ADAMSKI

046 In lesson number one we left you with the idea of driving a car in full conscious awareness of all of its parts.

生命の科学-学習コース

第2課

心とその構成要素

ジョージアダムスキー 著

046 第1課ではすべての部品を完全に意識しながら自動車を運転しているという概念で話しを終えました。

【解説】

先の第1課では、私達は主に事物・物事には因や意識と表現されるような目に見えない存在があり、その作用によって具体的な目に見える現象が現れること等を学びました。

実は目下（初夏）、ベランダでミニトマトの苗を育てていますが、日々苗木の枝葉は大きくなり、花が咲いたかと思うと、花の後には小さな緑のトマトが既にひっそり生育している等、一見植物は動かないように見えますが、驚くほどの勢いで成長を遂げていることが分かります。

このように私達の周囲には生命活動が溢れており、私達はこれらの自然の営みを感じ取りながら、本課の課題である私達自身の問題、心について学ぶことになるのです。

047 Now we proceed to analyze the mind, which is made up of the senses. This sense mind is actually in the process of creation through its constant learning. It is like a sensitive plate which receives impressions from its observations of effects. And most of the time its conclusions are not in accord with natural law.

047 これからは、感覚から成り立っている心なるものを分析することにしましょう。この感覚の心は実際にはその絶えざる学習を通じて創造される過程にあります。それは結果の観察から印象を受ける感受性のある板のようなものです。そしてほとんどの場合、その出す結論は自然法則と調和していません。

#### 【解説】

私達が抱える最大の課題が、本項で示されている私達自身の「心」にあり、その心の実態はどのようなものであるかを従来にない科学的な視点で説かれています。

私達自身の中で、自我を支配する最も大きな要素である「心」こそ、進化の道を歩む存在です。従って、各自が人生航路の中で様々な体験を経ながら自らの心を訓練して行く訳で、本来は年を重ねるにつれて上質なものに進化すべき筈ですが、実際のところは如何でしょうか。

その者が進化の途を歩んでいれば遂には目的の地に到達することに疑いはありませんが、脱落の途を歩めばその逆に退化は免れません。

相手がいわば自分自身の内側ということは、身体が何処にあっても訓練は出来る訳で、費用も手間も必要ありません。只、自分に向き合っただけで少しづつ訓練することが可能であることが分かります。

048 In order to better understand the action of the mind, let us consider it in four parts, like four different people.

048 心の活動をより良く理解する為には、それを4つのパーツ、丁度、4名の異なる人のように考えることにしましょう。

**【解説】**

私達自身の内側にある心なる者について、本項ではそれを4名の者から成っていると考えよと説いています。私達の視覚、聴覚、味覚、嗅覚の4名です。

実はこれらの分析手法は、アダムスキー哲学の独特の分析であり、私の知る限り他では聞いたことがありません。具体的に分析することで各自があいまいさが無く、より実践的な訓練が出来るという訳です。

また、先々申し上げることになりますが、その4つの構成員のみで私達が成り立っているのではないことも要注意です。ここでは「心」について分析している訳で、私達の心自体は私達の生命活動のほんの一部しか役割をもってはおらず、その他の部分は完全に宇宙的な活動に調和していることを忘れてはならないのです。



049 The most predominant individual is sight. The next predominant one is hearing. Then taste and smell. You may say here, what about touch? The touch could be called a nerve impulse reaction which is not a sense, but it gives a sense reaction to the mind. As each sense acts independent of the others, oftimes one will disagree with the others. i.e. The sight may perceive a beautiful flower but the aroma is very unpleasant to the sense of smell and it rejects it. So the unity of mind is already divided. The same is true with the other senses, for one may like something and another dislike it. And while this is taking place, as it has for ages, pain and an unpleasant existence is the result.

049 その内、最も支配的な者は視覚です。次ぎに支配的なのは聴覚です。次に味覚と嗅覚になります。あなたはここで、触覚についてはどうしたのかと言うかも知れません。触覚は感覚ではなく、一つの神経パルスの反応と呼ばれるようなものですが、心には感覚のような反応を起こさせるのです。各々の感覚が他と独立して行動する為に、時として一つの感覚が他と意見を相違することが起ります。即ち、視覚は美しい花を認識するでしょうが、その臭いが嗅覚にとっては大変不快であれば、嗅覚はそれを拒絶します。ですから、心の一体性は既に分断されているのです。他の感覚についても同様です。何故なら、ある感覚が何かを好ましく思っても、もう一方がそれを嫌うかも知れないからです。そしてこのことが起っている間、その結果として何世代にわたって、苦痛と不快が存在して来たのです。

### 【解説】

私達が最も克服すべきは、私達の中にある視覚から嗅覚までの4つの感覚反応であると説かれています。それらは各々独自の評価基準を持っており、各々別々に評価を下している訳です。その結果は心の中身がバラバラとなり、不愉快な状況が続いているとしています。

これら内なる4感覚を如何に本来の姿に整合させ、創造された本来の姿に戻すかということが私達の最大の任務となる訳です。

その為に多くの先人達は座禅を組み、祈りを捧げて自らの内側を本来のあるべき姿に整えようと努力して来ました。それら修行の間に垣間見た美しい調和的な状況をもって悟りのヒラメキとしたのです。

先ずは私達の進化の途のスタートラインがこの自らの心の分析と制御であるのです。

050 Jesus said a double minded man is unsuitable in all of his ways. And it is double minded when one sense likes something and the other does not. So Jesus urged man to be single minded in all of his ways. In other words unite all four senses for the purpose of service and not judgment. And this can only be done by conscious guidance. For in consciousness there are no likes or dislikes, it understands the purpose for all manifestation but the mind does not. All manifestations are conceived in consciousness and born into the world of effects. Just as the mind was conceived in consciousness and born as an effect of that conception. This is why it is so easy for the mind to guide itself by effects. And not having the knowledge and the reason for all of the effects it passes judgment in either likes or dislikes.

050 イエスは二心ある者は全ての道において不向きだと言いました。そしてひとつの感覚がある物を好み、他の感覚が好まない時、二心となるのです。それゆえ、イエスは人に全ての道において心一つになるように求めたのです。言い換えれば、裁きではなく、奉仕の目的の為に4つの感覚を統合せよということです。そしてこれは意識の導きによってのみ為され得るのです。何故なら、意識の中では好きとか嫌いとか無く、全ての創造物（注：manifestation）にとっての目的を理解していますが、心はそうではないからです。全ての創造物は意識の中では生まれ、結果の世界に生まれて来ます。丁度、心が意識の中では生まれ、その結果として生まれるのと同様です。これが心が自分を結果によって導くことをそのように容易になる理由です。そして心は結果物の全てについての知識や理由を知らないが故に、好き嫌いの判定を下しているのです。

#### 【解説】

人間の迷いその他の葛藤とは私達の心の中に正逆反対方向の意見があり、主人公としての私たちがどのどちらに従ったらよいか分からず、立往生しているような状況と言えるでしょう。それをイエスは”二心ある者”と表現したのです。

結局はそれらの葛藤とは私達の心の構成員間の意見の相違であり、各々が互いに異なる方向を指し示していることに他なりません。その根拠は各々にあると思われませんが、それもそれら構成員が各々の結果（物）に根ざしている為に起こると言えます。もちろん結果物はその時々事情により大きく異なる結果をもたらすため、単に結果（物）を頼っていては右往左往するだけだと考えます。

それに引き換え、物事を生み出す場とも言える意識状態の中では絶えず想念が宇宙的調和の中に飛び交っており、その振動と共鳴協調している限り、宇宙的存在を保つことが出来る訳です。言い換えれば私達は物質世界ではなく、こうした目に見えない宇宙的空間、創造世界にこそ拠り所を置く必要があるのです。

051 In time it must retract these opinions if it is to have a pleasant existence. All of the troubles in the world have been so created. And when they become too great, people decide to place them in The Hands of God, which is the All Inclusive Consciousness that created all things with a purpose. Each person will hope that this Great Intelligence will correct the situation. But when the correction is shown in many cases, it is not accepted for it is not understood by the mind which made the mistake in the first place.

051 もし快適な存在を得るのであれば、いずれはこれらの意見を引っ込めなければなりません。世の中のトラブルの全てはそのようにして造り上げられて来ました。そして、それらトラブルが大きくなりすぎると、人々はそれらを万物をひとつの目的で創造した全てを包括する神の御手に委ねることを決意します。各個人はこの偉大な知性が状況を修正してくれることを望むのです。しかし、多くの場合、修正法が示されても、その修正案は受け入れられません。最初に過ちを犯した心によって理解されないからです。

### 【解説】

私達地球人との人間関係を見る時、本項で指摘されている事柄がある意味、良く反映されているのではないのでしょうか。即ち見掛け上、対人関係はある程度の親密感があった方が好都合のことが多い為、各人が真に思っている感情を直ちに顔に表すことはなく、表面上は当たり障りの無い話題で済ませ、本心を表すことを控える訳です。しかしこれらは表面的であり、互いを信用している訳ではないという不幸な状況です。

組織対組織、国対国のような関係においては、なおのこと見掛けは友好的ですが、中身は互いを疑っているところがあります。

本項はこうした問題が大きくなった時、私達には解決するすべはないことを示唆しています。互いに信じられない状況の下では、解決に向かう道程が理解できないからです。その点について私自身は先ず、自身の内側の気持ちとそれに至った経緯等を伝えて相手に理解してもらうことから、解決への途が始まる気がします。互いに自身の欠点や問題点を明らかにすることから和解・融和が始まるように思うのです。

052 And oftimes the mind takes the stand of least resistance, a state of inertia, and does nothing. It tries to escape its responsibility instead of having the determination to learn by correction. It has been said that God helps those who help themselves. So the individual must do something in order to correct the undesired results and have the rewards hoped for.

052 そして、しばしば心は最小の抵抗、慣性状態をとり、何もしなくなります。心は修正によって学ぼうと決心する代わりにその責任を逃れようとします。しかし、神は自ら助ける者を助けると言われてきました。ですから、個人は不本意な結末を修正し、望んでいた報酬を得る為には何かを成さねばなりません。

#### 【解説】

人間の常として何か大きな問題にぶち当たり、何らの解決策も見つけれない時、人は往々にして思考を停止し、問題を棚上げにするばかりか、その問題への関わりを放棄するものです。私自身の経験からも心が疲れる為か、眠くなることが多いものです。

そうした場合、通常はしばらく問題から離れて心身を休めた後、解決に向けて何らかのアイデアを得ようとするのが一般的です。

本項ではこうした私達の心の傾向を心が修正を学ぶ代わりに責任を放棄しているのだと解説しているのです。このことは実際には創造主からのアドバイスは常に発出されており、私達がそれに気付かない、或は気付いてもそれらに従うことを良しとせず、拒絶しているというのが実態のようです。

053 The pride of the sense mind may find the process painful, but the sense man must learn by experience. And to do this he must school the senses to respect one another. For as it is now they have no respect and as a result a person has no respect for his being. Thereby he has no respect for others, except those who please one or another sense.

053 感覚心のプライドはその過程に苦痛を見い出すかも知れませんが、感覚人は経験によって学ばなければなりません。そしてこれを成すには、各感覚を互いに尊敬しあうよう訓練しなければなりません。何故なら、現在そうであるように、それらには尊敬感が無く、その結果、人は自分の存在に尊敬感を持っていないからです。それ故に、人はいずれかの感覚を喜ばせるもの以外に他に対して尊敬感が無いのです。

#### 【解説】

世の中の問題の多くは自尊心や誇り、面子が引き起こしている例が多いように思います。問題の解決にはこれらの要素を解除する必要があるのですが、大概は自我の面目を失う為に、それを実行することなく、問題を肥大化させてしまう訳です。

しかし、本項では私達に自らの面子など捨て去れと説いています。まずは他者を尊び、異なる意見に対しても尊重して当たれと諭しています。

問題は自然界よりは、人間社会に多くある訳で、私達は自分自身の中の四感覚を融和、協調させると同時に他者に対して尊重することを学ぶ必要があります。このことは「同乗記」等の中で、他惑星人が私達に説いた事でもあるのです。

054 Unless the sense mind disciplines itself and allows the consciousness to govern it, it will continue as it has in the past.

054 感覚心が自身を鍛練し、意識に心の支配を任せるようにしない限り、その状態は過去と同様、引続くことでしょう。

【解説】

問題は解決されない限り、永続するという訳です。

とりわけ、自分自身の問題は他の誰からも代わって解決してあげることが出来ず、ひたすら本人の取組みに掛かっているのです。いわゆる引きこもり問題等々についてもこれまで耳にすることもありますが、この種の問題は容易ではありません。

その大きな原因は、問題の本質が私達自身の自我にあることに由来します。つまりは私達の心自体が変化しない限り、その問題は継続して行くという訳で、いたずらに年月だけが経過してしまう不合理、不効率な事象に陥ることになります。

そういう意味では、如何に新鮮な心境を自らの心にもたらすかが大変重要だと考えています。どんなに小さな事柄でも変化のきっかけを感じ取れる発見こそ重要で、そういう意味から、身近にある自然の絶えざる営みから学ぶ事柄も大きいように思うのです。

055 If a family is to be happy, each individual of the family must respect each other member as he would like to be respected. And each must have trust and faith in the parents that are the guiding hands. And so it is with the senses - they are the family that make up the household of a man. And they must be taught respect, trust and faith in each other. And above all, for the parent which in the consciousness. It will not be easy to rehabilitate the senses due to the many habits that they have cultivated. But this must be done if we are to have a heavenly type of life. There is no other way except through learning and understanding the reason for life.

055 もし家庭が幸せになろうとするならば、その家族の各員が自分がそうされたいように互いを尊敬しなければなりません。そして各々が導き手である両親に信頼と確信を抱かなければなりません。そしてそれは諸感覚についても言えることです。それらは人間という家庭を作り上げている家族なのです。そしてそれらは互いに尊重し、信用し、信頼することを教えられねばなりません。その中でも両親である意識に対しては特にです。それらが養った多くの習慣の為、諸感覚を矯正するのは容易ではないでしょう。しかし、私達が天国のような生活を得ようとするなら、この作業は成されなければなりません。生命の存在理由を学び、理解することを通じて以外に他の道は無いのです。

#### 【解説】

自らの内側にある心の四感覚を整え、両親としての意識に感謝し、従えと説かれています。私達は何事を為すにしても、心の内側に対立を抱えていては行動に移すことは何ひとつ出来ません。よく行動的で活発な人は何らの迷いもなく、次々に事を決定し、進んで行けるのですが、失敗を恐れたりするあまり、行動に移れない者は心の中に葛藤があり、一途になれないということでしょう。

もちろん、その行動は人間本来のあるべき途に沿うものでなければならず、私達は各々無言で目には見えない存在に対し、常に敬い畏れてその御言葉であるインスピレーションに従う他、ありません。内なる調和が保たれていれば、自ずと解決の途は示されるという訳です。

## 056 DISCIPLINE OF THE SENSES

How is one to discipline the senses? The sense of sight which guides itself by effects, as it is an effect of consciousness, seldom takes the time to study the cause back of what it sees. And by now if you have learned the first lesson well, there should be a desire to know the purpose for which each form has been created. And this can be revealed to the mind when an effect is viewed with the second sight, so to speak, or with the sight of consciousness. And as stated before single sighted.

### 056 諸感覚の鍛錬

諸感覚を鍛錬することとはどのようなことを言うのでしょうか？結果によって自身を導く視覚は、意識の結果の一つであるため、めったに自分が見るものの背後の因をじっくり学ぼうとはしません。そしてこれまで、もしあなたが第1課をよく学んでいたら、個々の形有るものの創造された目的を知りたいという願いが湧き起るはずです。そして、結果がいわゆる第二の視覚、言い換えれば意識の視覚で見られる時、このこと（訳注：生命の目的）が心に明らかにされるのです。こうしてこれまで述べたように一つの視覚になるのです。

### 【解説】

これから私達が取り組む課題となる感覚の鍛錬について、本項では具体的な内容について示唆がなされています。

即ち、先ずは私達の身の回りの対象物に対して、単に目に映る外見だけに興味を持つのではなく、そのものの生まれた目的や生存する意義について思いを致すこと、そこに意識的な印象を感受して、その生命体を理解しようとするのが大切だということです。

ここで重要だと思うことは、この過程では視覚自体に対して否定的な姿勢は一切とられていないこと、ただ同時に意識的印象に対しても門戸を開き、インスピレーションを受入れようとしていることです。その結果、やがては視覚と同時に印象波の世界にあるインスピレーションについても感受でき、より立体的な理解が進むものと思われま



057 A child in a classroom is a good example. A good student follows the instructions of the teacher without having any opinions of his own during the time that the lessons are being given. After this he tests the information given to see if it is correct and where it fits into his own life. While another student will speculate on what a teacher is going to say, thereby he is ahead of what is being said. And he misses important points and has no clear knowledge of the subject. The first student profits from the instructions. The second one does not. In the case of the attentive student he humbled his mind to listen, but the second one became aggressive and lost the valuable points.

057 教室にいる子供が良い例です。良い生徒は教科が教えられている間は如何なる自分の意見を持つことなく、教師の教えに従います。その後、生徒はその与えられた情報が正しいか、そして自分の生活の何処に当てはまるかを知る為、確かめます。一方、もう一人の生徒は先生が何を話そうとしているかについて思いを巡らし、話されていることの先に行っています。彼は重要な要点を見逃し、本題に関する明瞭な知識を得ることがありません。最初の生徒は教えから利益を得ましたが、次ぎの生徒は得られません。傾聴した生徒の場合は、自分の心を謙虚にして聞こうとしたのですが、次ぎの生徒は攻撃的になり、価値ある要点を失ったのです。

### 【解説】

本事例は、教室における生徒が講師のレクチャーに対してどのような姿勢をとるかによって、教えから価値あるものを学び取れるかが決まるという例を示しています。

私自身も経験があることですが、生徒が授業の途中で自分自身の意見を打ち出して講師の教えに批判的な姿勢を取った場合、その生徒は次々に語られる講師の話に耳を傾けず、もっぱら自分の意見を発達させることに終始し、結局は講義の内容が頭に入らないまま授業が終わってしまいます。

重要だと思うことは先ずは教師の教えを尊重し、教わっている間は全力でその教師は何を伝えようとしているのか、自らの心をその世界に浸透させ、イメージを得ることです。

その結果、何が重要であるかを整理して、自ら応用できる分野を考えることです。いずれにしても、教師である意識の声は傾聴する中で初めて有用な応用が出来るという訳です。

058 The mind, in order to learn from the consciousness must humble itself to get each point in a clear manner. For this instruction comes only by impressions. Whether observing an object or listening to sounds, impressions will be given independent of the mind. Consciousness is not governed by habits like the mind is. i.e. When I made the first contact with a space person my mind wanted to know many things, especially things that conformed with my habitual life. I had to control my mind and remain silent so that I could receive all that he wished to impress upon my mind. Had I speculated on what was to be given, I would have missed the significant of the meeting.

058 心は意識から学ぶには各々の要点を明瞭に理解する為、自らを謙虚にしなければなりません。何故なら、この教えは印象によってのみもたらされるからです。ある物体を観察する際や音に耳を傾ける際に、印象は心とは無関係にやって来ます。意識は心のように習慣に支配されておられません。ですから、私が最初に宇宙人と会った時、私の心は多くの事柄、特に私の生活習慣に合った事柄を知りたがっておりました。私は自分の心を抑制し、相手が私の心に印象付けたいと思っていたこと全てを受け入れる為に沈黙を続けたのです。もし私に何を与えられるのか考え巡らせていたら、私はその会見の重要ポイントを見失っていたことでしょう。

#### 【解説】

先ずは私達が自分を謙虚にして与えられる示唆を素直に受け入れるような姿勢を意識に対して保つべきなのです。私達は未熟であり、何事も解決に当たっては宇宙からのインスピレーションを得なければ一歩も前に進めないのです。ありがたいことに私達の問い掛けに対して宇宙は瞬時に答えを与えて呉れるのですが、肝心の私達自身が他の関心事に興味を移してしまうか、その無言の声を聞き取れない為、その答えに辿り着けないでいるのです。

この問題を打破するには、私達自身が印象波に鋭敏になることに努める必要があります。私達の内側の心を誠意の下に調和融合させ、宇宙への信頼、創造主への感謝の心境境地を維持することが重要なのです。

059 In later contacts when I was given the privilege of asking questions, I did. But in each case I had to wait for that privilege to not interfere with what was being given. Many things did not fit into my way of life at the time but I was patient and trusted the ones who were giving me the knowledge. At first it was like a puzzle but at the end when all parts were put together the picture was clear. Had I been impatient and interrupted the individuals who were giving me the information I would have lost the precious jewels and had nothing but confusion. As I became as a child to the instructor, I was given many privileges and I am now living in the Cosmic Kingdom instead of the world that I did before.

059 その後の会見で私が質問の特権を与えられた時、私は質問しました。しかし、どの場合でも私は与えられている事柄を邪魔しないようその特権を待たなくてはなりません。多くのことが当時の私の生活の仕方に合いませんでしたが、私は忍耐強くまた、その知識を授けてくれる人々を信頼しました。最初、それはパズルのようでしたが、ついに全ての部品が繋ぎあわされた時、その絵は明確なものでした。もし、私がせっかちで、その情報を授けてくれる個人を遮ってしまったら、私は貴重な宝石を失い、また混乱以外何物も得なかったことでしょう。私は教師に対して子供のようになることで、私は多くの恩典を与えられ、今や私はそれまでの世界に代わって宇宙的王国に住んでいます。

### 【解説】

今、手元に"The Pawn of His Creator"という本があります。2011年に出版されたこの本は、アダムスキー氏をはじめとする多くのコンタクティーについて記されたものです。内容としてはアダムスキー研究者の皆さまにとって余りめずらしいものはないように思いますが、敢えてここでご紹介したのは、この本のタイトル「その者の創造主の駒」という表現が印象的に思えたからです。

同乗記を読んでお分かりのように、アダムスキー氏はとりわけ、他惑星人に対して実に謙虚であり、全てを委ねる姿勢を貫いています。自分よりはるかに進んだ先人達に対し、全面的に従う態度です。

また地球上で秘かに生活する彼らに対しても人知れず支援を行う等、交流もあったようです。何よりも、そして自分の命を投げ出しても彼らを守ることに徹していて、彼らの指示に対しては何を置いても従ったことは記憶に残しておくべき事項だと考えています。こうした中で、本項にあるようにアダムスキー氏は他惑星人からその後、飛躍的な知識を得ることが出来たということでしょう。

060 The consciousness is a cosmic teacher and unless the student does as I have done in this case, he shall have nothing but confusion in the end.

060 意識こそは宇宙的教師であり、学習者は私がこの事例で行ったようにしない限り、最終的に混乱以外の何物も得ることはないでしょう。

**【解説】**

実は私達が意識に対する時、これと同様の姿勢をとることが必要なのです。他惑星人への場合は、万一、偽の宇宙人というケースも考えなければなりません。意識に関する限り、私達は裏切られることはありません。最も信頼できる存在であり、むしろ、自分自身よりはるかに信頼できる存在と言える訳です。

意識に対して自らがどのように向き合うかが最も大事で、目に見えない存在に対して如何に信頼し、インスピレーションに従った行動をとれるかが重要です。印象に対して素直に行動できるよう、目に見えない存在に対して信頼を置く姿勢が求められます。

061 Many people have asked me why I did not ask this or that, trifling things in most cases, but had I done so I would not have the knowledge that I have today. Jesus said, lest you become as a little child you cannot enter the Kingdom of Heaven. Which is the kingdom of cause. And the Bible states that there is nothing hidden that shall not be revealed in time.

061 多くの人々が私にあれこれといった多くの場合、つまらぬことを尋ねなかったのかと聞いてきますが、もし私がそうしていたら、私が今日得ている知識を得ることはなかったでしょう。イエスは言っています、幼子のようにならない限り、天の王国に入ることは出来ないと。それは因の王国でもありません。そして聖書はやがて明らかにならないものは何も無いと述べています。

#### 【解説】

私達はとにかくせっかちで、自分の欲求通りに事が進まないと気が済まない性質があります。その為、求める答えを得ようと急ぐ訳ですが、物事には順序があり、一歩ずつ問題を片づけて進む必要があるにも拘わらず、適切な手順が示されても結果ばかりを要求する中、本筋を見失ってしまうことが多いものです。

その点、イエスは幼子のように与えられた教え、即ち得られたインスピレーションに素直に対処することが私達に必要だと説いたのです。ただひたすら座禅するという例もあるように、ひたすら与えられる印象の流れに従い、その大本である意識の恩寵を信じ、受け入れることが重要だということです。

062 Patience and faith are the foundation of such a reward. For those who become impatient become shipwreck.  
062 忍耐と信頼はこのような報いの基礎です。短気な者は挫折します。

**【解説】**

忍耐の最たる存在は創造主ではないかと思われます。創世記から何十億年経過したかは知りませんが、地球における私達人間社会への期待が、かくも遠く裏切られた状態のまた幾十世紀も続いており、科学技術を人間が修得するやそれを兵器に利用し、益々獰猛な支配者となっている中、ひたすら人類の行く末を案じている存在だとしたら、それは忍耐も超えた存在でしょう。

私達各個人についても、多くは浮き沈みの中、自らのエゴの原因からもがき苦しんでいます。こうした中、唯一の望みは各自が創造主（神）を求め、その指導のインスピレーションに耳を傾けることですが、それも創造主（神）への信頼がなくては、実効性はありません。

進化の途は私達にとって長く厳しいものですが、その本来の道筋を辿ることに忍耐が必要なのです。家康の言う通り、ゆっくり一歩ずつ信じて進む以外に方法はありません。

063 The Bible also states that man has many talents. So we will observe the talents with which the Infinite man is endowed. And the important part which each one plays in the cosmic plan where men are equal.

063 聖書はまた、人は多くの才能を持っているとも言っています。ですから私達は無限なる人が授かっている才能を観察することとしましょう。そして人々が等しく存在する宇宙の計画の中で1人1人が担う重要な役割についてもです。

**【解説】**

私達地球人の中では、人の優劣、能力の差異について特に敏感に差別されるように思われます。その能力を証明する為に各種試験が行われ、学生さん達は入学試験その他の競争に晒されているのです。

しかし、良く考えれば、最高位の生命体としての人間は、それが生存すること自体に意義があり、その調和ある生命体を実現させていることが奇跡とも言える絶妙な調和を表しているのです。

そういう意味では、それ以外の各自が何が出来る出来ないという程度の技量は評価の範囲外であり、大きな差異はないと考えるべきなのでしょう。

064 The construction of a large building can be used as an example of what we mean, especially when it is to be a new type of architecture. The completed building is pictured on the screen of a man's mind by the consciousness. Once the mind sees the picture clearly a blue print of the impressions is drawn in order to retain the design of the structure. As in the drawing of the house plans, this is the first effect of the cause. Then the blue print is placed in talented responsible hands to bring about the manifestation. This individual in turn procures artisans and materials for the construction.

064 大きな建物の建設はこの意味するところの一例として用いることができます。新しいタイプの建築の場合は特にそうです。完成した建物は意識によってある人物の心のスクリーンに描かれます。その人物の心はそのイメージ（姿）を明確に見るとその建物のデザインを保持する為、すぐに印象に基づく青図が引かれます。家の建築計画の作図の時と同様、これが原因の最初の結果です。次に青図はそれを現出させる任務を担う人の手に委ねられます。この人物は次にその建設に必要な職人や材料を手配するので

### 【解説】

無から有を生じる過程こそ意識が作用している典型事例となります。建築家が新しい建築物のイメージを得る時、実は宇宙の意識がその建築家の心に新しい建築物のイメージを印象として与えるという訳です。

建築家が鋭敏でその印象を明確に把握出来れば、やがてその建築家はそれをデザインスケッチに、そして更には設計図へと具体化することでしょう。それらの過程こそ、人間が創造主の手や足となり、物質世界にそのイメージを具体化し、建設する創造活動に従事していることになるのです。

ほとんどの建築物は、こうした創造主のイメージを具体化する中で生まれたという訳です。



065 The first workers that he engages are what could be called of the lowest talents. For they will be the ones responsible for the ditch in which the foundation of the building will be laid. And without which the building could not be built.

065 最初に雇う労働者は最も低い才能の者達と呼ばれるかも知れません。何故なら彼等は建物の基礎を置く為の溝を受け持つ人々であるからです。しかし、それ無しでは建物を建てることは出来ません。

【解説】

基礎が不十分の場合、その上に建つ建造物はゆがんだり、傾斜し、或いは倒壊まで生じるような、大きな影響を受けるものです。しかし、私達は一般に、縁の下で建築物を支えている存在に気付くことは少なく、地上の建物の美しさのみに目を向けがちです。

本項は仕事の優劣をつけやすい私達への警鐘の一つとして建物を建築する際の基礎作りに従事する作業員について、例を挙げてその重要性を説いているのです。

私達が職業の差別や仕事の優劣をつけがちですが、実際にはそれらは等しく差異のない役割を持っていることを知らなければなりません。

066 From here on many talents will be employed to complete the structure. The final touch of historic recordings and beauty will be the murals painted upon the inner walls of the entrance. And for this the finest artist will be engaged. But even he with all of his talent cannot produce what is asked of him if the pigments of his paint had not been processed from the pick and shovel man through the various refining steps necessary. And this is true with the brushes and other equipment which he must use. And without these his talent would be of no value.

066 ここからは、多くの才能を持った者が建物を完成させる為に雇われることになります。その歴史的記念と美の最終段階の仕上は入口の内壁上に描かれる壁画となるでしょう。そしてその為に最高級の画家が雇われることでしょう。しかし、彼の才能全てをもってしても、彼の使用する顔料がツルハシとシャベル人夫で取り出されてから必要な精製工程を経て処理されていなければ、依頼されたものを造り出すことは出来ないでしょう。そしてそれは彼が用いる刷毛やその他の道具についても同じく当てはまりません。

### 【解説】

日本語にも「もちもちや」という表現があります。各々の専門家、即ち才能を有する人が各々連携協力して、一つの建築物を造り上げていくものです。

先日もテレビで京都に最近、設けられた迎賓館の紹介がありましたが、木材の選定から建築資材の製作、壁やふすま、内部の調度品、果ては生け花、料理まで、様々な専門家が連携して最高のおもてなし文化がそこに表現されていました。

このように私達が愛でるあらゆる作品は、こうした様々な才能が等しくその能力を発揮する中で生み出される訳です。そして、この私達自身の身体がそれら芸術品と比べても遜色ない作品だとすれば、私達の身体には無数の才能ある造形者たちが絶えず働き、その姿を維持していることが分かります。

067 Here you can see that the lowest talent is equal to the highest. From this you should know what the word equality really means. And this is far from the average definition of the word.

067 ここにあなたは最低位の才能が最高位の才能と等しいことがお分かりになるでしょう。ここからあなたは世界の平等というものが実際、どのようなことを意味するかを知らねばなりません。また、これは世の中の平均的定義とはほど遠いものです。

**【解説】**

職業や技能に隔たりはないということです。実際、これまでのところ、私達の地球社会においては、職業に貴賤の差別があり、以前には下水や清掃の仕事を見下す風潮もあったものです。

しかし、本章で繰り返し記されている通り、様々な技能が協力し合ってはじめて優れた作品が生まれる訳で、それに対する寄与度としては、皆平等な価値を持っていることに私達は気付かなければなりません。

また、このような平等性が他惑星社会で確立していることが、進化した社会の特徴の一つと言えるのです。

068 Another example for the sake of clarity. When King Solomon's Temple was finished he expressed a wish to have the man who had done the most in bringing about its completion, honored in a ceremony and seated in a chair next to his own on the Throne. All of the men of different talents presented themselves in clothing appropriate for the occasion, each hoping for the honor. But a blacksmith entered dressed in his working clothes. A burned apron and dirty hands from the forge, and seated himself in the chair. This caused a stir and complaint among the other men.

068 明確にする為にもう一つ例を挙げましょう。ソロモン王の寺院が完成した時、ソロモン王はその完成に最も貢献した者を式典で表彰し自らの王座の隣に座らせたいという希望を明らかにしました。様々な才能の持ち主が、各々その名誉を期待して、その場面に相応しい身なりで出席しました。しかし、ひとりの鍛冶屋が作業衣のまま入って来ました。仕事場から焼けたエプロンと汚れた両手のまま、その椅子に着席したのです。これは他の者たちの間に騒ぎと不平をもたらしました。

### 【解説】

古代イスラエルにおいて最も栄えたのがソロモン王の時代だとされています。紀元前961年の生まれとされており、エルサレムに大きな宮殿を建設したとされています。本項はその宮殿建設時の逸話ということでしょう。

注目すべきは、古代の王がこのように職人達に対して実に率直にその業績を認め、自らの脇に座らせ、褒美を与えると宣言し、職人達はその提案に積極的に応募していることです。つまり、王と職人との間に大きな格差がないように思われることです。

実は、その後、イスラエル王国は困難な時代を迎えるのですが、このソロモン王の時代が最も繁栄した背景には、こうした賢明な王の治世があったと言えるのです。

069 The King turned to the blacksmith and asked him by what right he seated himself there. With this the blacksmith arose and questioned the other workmen by saying, "who fashioned your trowel and your compass" ? They replied "you did". Then he said, "could you have built this Temple without these ?" Their answer was "no." Then he said, "the honor belongs to me."

069 ソロモン王はその鍛冶屋に何の権利によってそこに座っているのかと訪ねました。すると、鍛冶屋は立ち上がり、他の者たちにこう訪ねたのです、「誰があなた方のコテやコンパスをこしらえたのか?」。彼らは答えた。「お前だ」。すると彼は言った。「あなた方はこれら無しにこの寺院を建てることができただろうか?」。彼らは答えた。「いいえ」。すると彼は言った。「それでは、その栄誉は私のものだ」。

### 【解説】

前項の続きです。鍛冶屋は職人や芸術家が用いる道具を作り、その道具を用いなければ上等な仕上がりは出来ない等で、そういう意味からも鍛冶屋という最も下積みの職人が、この宮殿の建設に貢献したということを皆が認めたという訳です。

こうした自由な発言環境こそ、最も尊ぶべきであり、その場に居た者、全てが鍛冶屋の言い分を認めたところがすばらしいのです。

ドイツでもマイスターをはじめとして職人に対する尊敬感がありますが、同様なことは日本においても広く民芸その他工芸品や日用品の製作の中で、芸術性に優れた品物が日常的に普及していた歴史もあるように思われます。社会の文化レベルを表す一つの尺度として金銭的な価値でなく、こうした職人の仕事振りこそ、尊重すべきだと考えます。

070 This equality is lived on Venus and Saturn, for each talent is respected as a Divine gift from the Creator unto creation. And it manifests in ever field of endeavor - sports, art, etc. There is not the feeling of competition that we of earth express. But rather a feeling or desire for a finer quality of expression of individual talents towards the fulfillment of the Divine purpose. It is only the ego mind that desires honors for its accomplishments.

070 この平等さは金星と土星では実行されています。あらゆる才能が創造物に対する創造主からの神聖なる贈り物として尊敬されている為です。そしてそれはスポーツ、芸術等々、努力におけるあらゆる分野に現わされています。地球の我々のような競争意識はありません。むしろ、聖なる目的の達成に向って個個人の才能に関してより精緻な表現を感じたり、望んだりするのです。その達成に対して名誉を求めるのはエゴの心だけです。

#### 【解説】

昔から日本においては、職人は作品に自分の名を残すことはしなかったと言われていました。誰が作った品物、或は仏像その他の芸術品に対して、仕上がった先には、自分のものというような感覚が無かったのではないのでしょうか。

つまり、作業を通じて自らは創造主のパワーを流す径路に過ぎず、径路自体を褒める必要はないと考えたのかも知れません。自らを創造主の道具の一つと考え、その作品が未永く愛用されれば良いと考えていたものと思われます。

本項における様々な職人の話も、各人が創造主の活動の各パートを担う役割とすれば、その平等性について納得が行くように思います。

071 Jesus brought this truth to the people when he said that the man who desired honors from earthly men, had none coming in heaven. He also said not to worry about tomorrow, for the sparrow neither sows nor reaps, yet the Father takes care of each of them. But this calls for definite faith in the consciousness. For he also said, "are you not more than the raiment?" This is the law by which all Venusians live.

071 イエスは地球の人達からの名誉を望んだ者で天国に来る者はないと人々に述べてこの真実を当時の人々に伝えました。彼はまた、明日を思い煩うなスズメは蒔くことも刈ることもしないが父はそれら個々の者を養ってくださっているのだから、とも言いました。しかしこれには意識に対する絶対的な信頼が要請されます。何故なら彼はまた、「あなたは衣服より以上のものではないか」とも言いました。これは全ての金星人が生きている法則です。

#### 【解説】

先日、知人の一人から、あるセミナーを企画し、そのスピーカーの先生の紹介に当たって、当の先生から〇〇大学名誉教授の名称を是非加えて欲しい旨の要望があったという話がありました。大學を退官後、その先生の称号について、その肩書がその先生にとって大変重要であるという訳です。

実は私達地球人にとって、こうした肩書が大変重要視されているのですが、それは本項でイエスが述べた内容の今日的な具体例かも知れません。本来であればその先生のご講演内容が素晴らしければそれで十分な筈なのですが、ご本人は会場で紹介される際の肩書を気にされていることについては、逆に残念な評価になっているように思われます。

本来、私達は創造主の前ではその存在は小さく、私達は創造主の表現者に過ぎません。その最高の表現が出来た時、私達はそれを創造主の化身と表現しますが、それはその方を通じて、創造主が十分に表現されていることを意味し、その本人だけを称賛している訳ではないのです。

072 As you can now see, everyone in his daily life is important in one form or another. The thing that we must do is to learn the importance of each one, as the advanced space people do on their planets. In this way each individual effort is honored as he serves others. Directly or indirectly.

072 今やお分かりのように、あらゆる人はその日常生活の中で何らかの形において重要なのです。進化した宇宙人が彼らの惑星で行っているように、私達が行わなければならないことは各々の重要性を学ぶことです。このようにして、個々人の努力はその者が直接的あるいは間接的に他に奉仕することに対して栄誉を受けるのです。

#### 【解説】

人それぞれが大切な存在だということです。その認識があれば、互いに会った時、互いを尊重でき、融和が生まれます。また各々の持つ体験から知恵を学びあうことも出来るものです。

もちろん、その背景には各々の存在には宇宙の意識とも呼べる英知が息づいていることを互いが知っていることが重要です。つまり、相手を単なる物質でなく、内部の生命力の発現であることを認識する為、尊ぶことが出来るのです。先日も”化身”という表現を紹介しましたが、私達各人が神の化身となって日常を送るところに大きな意味があるという訳です。



073 You may say here, what about the people among us who are criminals and those who harm others? These actions could be considered mistakes on the part of the actor since he has been taught to guide himself by effects. And most everyone has been guided by effects, so we have all made mistakes. But if we are wise and desire understanding we shall then learn the reason for our mistakes and make the corrections. And we can be thankful for the experience that taught us a lesson. For without this we would not know the better way.

073 ここで、あなたは私達の中であって犯罪者であったり、他人に危害を与える者についてはどうかと言うかも知れません。これらの行為は結果によってのみ自身を導くように教えられて来たその行為者の側の過ちと見なせるでしょう。そしてほとんどあらゆる人が結果によって導かれており、私達は皆、過ちを犯します。しかしもし、私達が賢明であり理解を望むなら、私達は私達の過ちの理由を学び、修正しなければなりません。そうすれば私達はレッスンを私達に教えてくれたその体験に対して感謝することにも成り得るのです。何故なら、このこと無しにはより良い方法を知ることは無かったからです。

#### 【解説】

私達の周囲には自分が思う通りに進まない事柄も多いものです。その為、ともすればそれらの結果に憤慨するあまり、他者に対して攻撃的になったり、怒りの念を起こしたりするものです。

実は、そうした状況は更に行動をエスカレートさせ、遂には犯罪行為にまで及ぶことも少なくありません。古来から怒りは敵と思えとされているのも、そうした顛末をもたらすことを警告しているのです。

このような怒りの心境は、いずれも私達が物事を表面的にしか捉えていないことから来る裁きの為に起こるものです。相手の立場や状況について配慮することが出来ない為と言えるものです。

本項は世間の犯罪も含めてほとんどの問題が私達が表面的な結果のみから起こる他者への怒りから生み出された過ちであると説いています。誰でもそれらの条件が整えば、過ちを犯す程に私達各人は未熟な存在だという訳です。それ故にたとえ苦い経験であっても私達各人が得た体験は決して粗末にすることなく十分かみしめて自らの貴重な経験として次に役立たせなければなりません。

074 History does not necessarily have to be repeated, for it is man's action that make history. We will cover this more thoroughly in the coming lessons but at the moment we will continue with the mind.

074 歴史は必ずしも繰り返される必要はありません。何故なら歴史を作るのは人間の行動であるからです。つぎの課ではより完全に取扱いますが、ここでは心について続けることとしましょう。

【解説】

歴史を作るのは結局、人間の行動なのですが、過去の歴史を見て歴史が繰り返されている実態は、私達自身が問題を解決していないことを表しているのです。

もちろん、全く同日の状況は生じませんが、他国への領土拡大等、いつの時代にも同様な状況が起こっているように思います。とりわけ、戦前の日本のように愛国心を高める中で戦争への突き進んで行ってしまったことは、どの国においても起こっていることであり、世論のコントロールについては十分に注意する必要があるでしょう。

多くの国々の間、或いは難民問題や宗教間の対立等々に関連して私達はこれまで多くの争いの中に生きていますが、それもその結果として得たこれまでの無残な戦争体験を踏まえて再度、その問題の本質について考えるべきなのです。

075 We have been taught that the mind is the man as well as the knower. But as the mind is an effect, this statement is far from the truth. Yet within the form of man lives the knower. If the mind would humble itself and become the observer of the form through which it works, it would soon realize how little it does know. i.e. There is no question in our minds that we have brilliant people in the world, for the new inventions in the recent years prove this. In the field of electronics the things that are done could be called miracles. Things like correcting instruments from earth that are many miles out in space, and talking back and forth with a man in a capsule orbiting the earth. These accomplishments only show the potentials of the human mind when it listens to the guidance of consciousness. Yet with all of the knowledge at present there is not one man in the world that can create a human form and have it function as we do. But within the form there is that knowledge which manifests every day in the birth of children. Not to mention the thousands of other form creations.

075 私達はこれまで心こそが人間であり知る者であると教えられて来ました。しかし、心は一つの結果であり、この声明は真実とはかけ離れています。しかし、人体の内側には知る者が生きています。もし心が自らを謙虚にし、その知る者が人体を通じて働く様子の観察者になるならば、心はすぐに心がいかに少ししか分かっていないを自覚することでしょう。つまりこういうことです。世の中には素晴らしい人々が私達の中にいることについては疑問はありません。近年の新たな発明がそれを物語っています。エレクトロニクス分野では為されている物事は奇跡と呼ばれても良いでしょう。宇宙空間に何マイルも離れている装置を地上から修正するようなことや、地球を周回するカプセル内の人間と相互に通信するようなことがそれです。これらの成就した出来事だけでも人間の心が意識の指導に耳を傾けた時に発揮する人間の心の可能性を示しています。しかし、今日の知識の全てをもってしても、世界中に一人として人体を造り出し、それを私達同様に機能させることが出来る人はおりません。しかし、その人体の内部には毎日、赤子の誕生として現出する創造的知識が備わっているのです。その他、何千もの他の創造物についても言うまでもありません。

### 【解説】

今日、私達地球人は遠く離れた火星上の探査機を遠隔で操作し、映像を地球に送信させたり、更に離れた小惑星に無人の探査機を飛ばし、採取したサンプルを地球に持帰る等々、画期的な技量を身につけるようになりました。そのこと自体は私達が本講座で言う「意識」の声無き助言に従った結果、伸ばした能力だと言える訳で、人間の可能性の大きさを示すものです。

しかし、本文で述べられているように、生物の誕生という精密繊細な活動はそれらよりはるかに緻密な活動であり、私達の人知には及ばない所です。私達の心もこうして身体と同様に創造主から創られた存在であり、結果物である訳で、それ自体では何らの能力もありません。唯一、創造主の息吹によって、生命体としてよみがえり、知性ある行動をとれるということでしょう。私達にとって常日頃、創造主からの導き、インスピレーションを身体に取り入れ、その導きに沿って行動することが大切です。

076 So the mind does not have to go far to learn. For it can learn from the form through which it works if it humbles itself to the knowledge within the form. We can now see where the saying "man know thyself and you shall know all things" originated, for all creation is governed by this law. And there is no greater truth than this that has ever been spoken.

076 ですから、心は学ぶ為に遠くに行く必要はないのです。何故なら、形あるものの内部にある知識に心自らが謙虚になりさえすれば、心は形あるものの働きを通じて形あるものから学ぶことが出来るからです。私達は今、「汝自身を知れ、そうすれば全てが分かるであろう」という言葉が何処に起原を持つかを知ることができます。何故なら、全ての創造がこの法則に支配されているからです。そしてこれまで語られた中でこれほどに偉大な真実はありません。

#### 【解説】

私達はどのように学んで行けば良いか、本項は実に端的にポイントを教えています。即ち、私達は他人に頼らずとも自ら、私達の身の回りの対象物の観察を通じて、あらゆる事柄を学ぶことが出来るとしているのです。

それは単に外観の姿形でなく、その内部に息づいている宇宙に通じる英知を含んでいます。また、当時に自分自身を学ぶことによってその知識の幅は際限なく拡がることになるとも説いています。

### 077 THE CREATION OF A HUMAN FORM

A pregnant mother knows that a conception has taken place within her being, but her mind does not know what is to be done in the creation of the form. Many times she wonders what is going on. There is not a mind in the world that knows exactly the type of intelligence that is responsible for the growth. It is true that pictures have been taken from conception to birth, but not of the intelligence that brings about the form from moment to moment. This intelligence is superior to the minds of men and that of the mother, for they know not what goes on. This proves that the mind is subject unto a greater intelligence than its own. Yet the mind has the potential of attaining equality if it allows itself to be guided by the higher intelligence.

#### 077 人体の創造

妊娠した母親は自分自身の中で妊娠が起ったことは分かりますが、彼女の心は形あるものの創造において何を為すべきかは知りません。何度も彼女は何が起っているのか不思議に思います。しかし、胎児の成長に責任をもっている知性のタイプを正確に知っている心はこの世に一つもありません。妊娠から誕生までの写真が撮られていることは真実ですが、一瞬一瞬人体を形作っている知性について写真に撮られることはありません。この知性は人間の心や母親の心より優れており、それらは何が起っているかを知っています。このことから、心はそのもの自体より大きな知性に支配されていることを示しています。しかしまた、心は自らをそのより高い知性によって導かれることを許すならば、それと同様な能力を持つ可能性を有しています。

#### 【解説】

私達の目の前にあるあらゆる生きものは、源は一つの細胞であり、種子の一片、あるいは精子と卵子の結合体に起源を発するものであることは私達も承知しているところです。

しかし、実際の生命体はその起源における形態から、何万倍、何億倍もの生長を遂げた後、完全な生存可能な形態を整えた上で、地上に誕生する訳です。鳥達も卵から巣立ちまで、わずか1～2ヶ月というものも多いようです。

こうした生命体誕生の仕組みについて私達は良く知りません。それを差さえ指導する英知について考慮することも希と言わざるを得ません。

しかし、これからの私達に必要なものは、この種の英知へのアプローチであり、身の回りに存在するこれら生命体の内側にあつて、それらを生かし続けている目に見えない存在への共感、同調、融和である訳です。

078 And what is this higher intelligence? Again we have to refer to the consciousness for a definition. For at times it impresses the mother's mind to seek a certain type of food that she does not ordinarily care for, because this chemical is needed in constructing the infant form. And this intelligence causes the movement within the mother's body. No voice of instruction is heard yet the mind of the mother knows that some change has taken place. This is done by impressions for consciousness does not use sound as we know it. It is this consciousness that is the creator or builder of the form as near as we can tell. And this is all done independent of the mind. Even here the mind may interfere by opposing the impressions that come, like the food. Either by not seeking it or not being able to get it, which could bring about an imperfect form.

078 次に、このより高い知性とは何でしょうか？ここで再び定義の為に意識について引用しなければなりません。何故なら時々、胎児の建設に化学物質が必要となる為、それは母親の心に彼女が普段は好まないある種の食べ物を求めさせるからです。そしてこの知性は母親の体内に運動を生じさせます。声に出しての指導は聞こえませんが、母親の心は何らかの変化が起ったことを知ります。意識は私達の知るような音を用いませので、これは印象によって行われます。私達がこの形あるものの創造主あるいは建造者と呼ぶのに近いのはこの意識なのです。しかもこれは心とは全て独立して行われています。ここにおいてもなお、心は食べ物の場合のようにやって来る印象に反対することによって妨害するかも知れません。それを求めることをしないか、摂ることが出来ないことによって、不完全な人体をもたらすことになるかも知れないのです。

#### 【解説】

先日、ある汽水湖で見た光景です。数羽のアオスジアゲハ蝶が湖畔の砂地で盛んに水を吸っていました。よく蝶は花の蜜を吸うのですが、この場合は単なる湖の水を吸っていたのです。おそらくは湖の水に含まれる塩分その他のミネラルを求めてのことでしょう。生きもの達は自らの子孫を残す為に必要な成分が何処にあるかを知っているようです。あたりには水田その他多くの水辺があり、水分だけを摂るなら、もっと別の所も多くあるように思ったからです。

私達も自分にとって何が必要か、内部から来る印象に従って、日々の飲食物を選ぶ必要があることは確かです。とかく習慣的な食品選びに陥りやすいことにも注意したいものですが、最近では欧米で禁止されている除草剤＋遺伝子組み換え穀物が日本に輸入されているとか聞いておりますし、それら様々な不健全な食品を避ける上でも、自身の内なる印象に鋭敏になる必要があるようです。

079 The mother has been used as an example, but people daily ignore impressions that are given to the mind by the consciousness and cause many imperfect acts that could have been avoided. All because the mind has been exalted through the ages and has given no thought to its parent - the consciousness. It supports itself by past acts and repeats history instead of going forward. There is some improvement historically, but actions are still founded on the past, like the destruction of men in war, instead of evolving above the past. The mind has an opportunity to bring newness each day by following the guidance of consciousness.

079 母親の件は一つの例として用いられましたが、人々は日常的に意識から与えられた印象を無視しており、避けることができた多くの不完全な行為を起しています。全ては心が長い時代を通じて誉められ、その両親である意識には何らの配慮も与えて来なかったことに原因があります。心は過去の行動によって自身の拠り所とし、前進する代わりに歴史を繰り返しています。いくつかの進歩も歴史的にはありますが、戦争における人間の破壊のように過去を超えて進化することの代わりに、行為は依然として過去に基礎を置いています。しかし、心は意識の指導に従うことによって、日々新鮮さをもたらす可能性を有しています。

#### 【解説】

母親が体内の子供の成長に欠かせない成分を自分自身の好みのように求める衝動は、母親が意識の指導に従っていることに他なりません。

同様に普段でも私達は絶えず自らの身の処し方について宇宙の根源から指導を受けているのですが、私達自身は自らを增長させて来た結果、それら静かな声に耳を傾けていないという訳です。

その結果、振り返って見れば、私達は自身のプライドは増長させ、他者を押しつけて登って来たものの、その得たものはみじめな状況となっています。このようにして歴史は繰り返され、本来の進化の途を歩むことは実に難しいとされて来た訳ですが、もし私達が日常的に注がれている宇宙的な印象に気付きさえすれば、いつでも新しい道を切り拓くことが出来ると説いているのです。

080 The mind acts as it does mostly through fear caused by a lack of knowledge and faith. For if it changes, it knows not what the next moment might be like. Fear is the master of the mind and governs nearly every human being on earth, in one form or another. Very few people realize that fear is a dominant factor for we have been children of its household for centuries and now feel that it is a natural way of life. We do not even know that we fear, yet fear is nothing but a lack of understanding of the laws that govern life. And these laws cannot be learned by studying effects, especially of human experiences. For most of these are the result of fear dictation.

080 心というものはそのほとんどが、知識や信頼の不足が原因で生じる恐怖を通じて行動しています。何故なら、もし変化があった場合、心は次の瞬間にどうなるのか知らないからです。恐怖は心の主人であり、地球上のほとんどの人間をどのような形態にしる支配しています。私達は何世紀の間、そのような（恐怖に支配された）家庭にいる子供であった為、私達の中で恐怖が支配的な要素であるということを知っている人々は極くわずかであり、今やそれが自然の生き方だと思えるようになってきました。私達は私達自身が恐怖していることすら知らないのですが、恐怖は生命を支配する諸法則の理解が欠けていることでしかありません。そしてこれらの諸法則は結果、とりわけ人間の体験を学ぶことによってでは学習することができません。何故なら、これらのほとんどが恐怖による指図の結果だからです。

### 【解説】

本項を読んで、イエスが”空の鳥は種も蒔かず、刈り入れもしないが、天の父は鳥を養って下さる”という言葉の思い起こされます。実際、野の鳥達は毎日を実に楽しく暮らしており、まさに生命の素晴らしさを享受していると言えるでしょう。

もちろん、明日の食べ物が事欠くかも知れず、天候が厳しい日々を迎えるかも知れませんが、彼らは実に毎日を楽しみ暮らしているように見えるのです。

この背景には彼ら野生生物には創造主への確固たる信頼があるように思いますし、警戒心は必要不可欠であるものの恐怖心は一切無いことがあるように思います。即ち自分が何時事故に遭い、あるいは外敵の餌食になるかも知れない中でも常に今を大切に、流れ来る宇宙的な印象に全てを委ねていることがあるように思えるのです。



081 F.D.R. expressed it well when he said, "there is nothing to fear but fear itself." For fear promotes fear. Our late President Kennedy made the statement, "Ask not what the Nation can do for you but what you can do for the Nation." I would say it this way ; it is not what God will do for you but what will you do for God? And God is the consciousness of our being. Or we could put it this way, it is not what the consciousness does for the mind, but what the mind can do for the consciousness.

081 F.D.R. (フランクリン・D・ルーズベルト、Franklin Delano Roosevelt)は「恐怖以外に恐怖すべきものは無い」と言ってそれを上手に表現しました。恐怖は恐怖を助長するからです。故ケネディ大統領はこう声明しました。「国家があなたに何を為せるかと問うのではなく、あなたが国家に何を為せるかを問え。」私ならこう言うでしょう。「神があなたに何をしてくれるのではなく、あなたが神に何をなすかである」。そして、神とは私達自身の意識なのです。そこでこういうようにも言えるでしょう。「意識が心に何をなすかではなく、心が意識に何をなすことができるかである」。

### 【解説】

前項で述べた恐怖の支配に関して、ルーズベルト大統領もその本質は実際にはたわいのないものであることを見抜いていたと記していますし、私達が意識に対する姿勢あるいは宇宙の創造主に対する心構えとして、ケネディ大統領の就任声明と同様にせよと著者は私達に説いています。

即ち、私達はこれまで自分に対して神がどのように支援して呉れるのかを求めて来ましたが、これからは各自が神に対して何を為せるかを考えよとしているのです。私達自身が何もせず、何も変わらないままに、創造主からの支援を待つ姿勢ではいけないという訳です。私達は現時点での各自の能力、環境の下にあっても、積極的に創造主に親しみ、創造物の一員として創造主の仕事の一部を担うことを求めるべきなのです。

082 All of our life we have been doing things the hard way. Either in one extreme or another. Now the time has come to settle down into the middle, which is the conscious eternal highway. And stop taking the mental by-ways, for the center balance will make life much easier.

082 私達はこれまで生活のすべてを困難なやり方で物事を行って来ました。ある極端から他の極端のいずれかであったからです。しかし今や、意識的な永遠の大道である中庸に落ち着く時期を迎えています。そして心の横道を取るのを止めるべきです。中央のバランス状態は生活をはるかに容易にすることになるからです。

### 【解説】

人ははしゃぐ程の歓喜の中から、打ちひしがれた絶望という両極端の生活を繰り返しがちです。しかし、これらの状況はいずれも私達が問題視している感覚心の作用でしかありません。本来の宇宙調和的な心境は、もっと穏やかで調和のとれたもの、いわゆる中庸の状態と言えるのです。

具体的には私達が日常生活において、いわゆるプラス・マイナスに拘わらず感情に支配されないよう冷静を保つこと、特に心の海に湧き起こる想念を絶えず警戒することが必要です。このように心のバランスを保つことは身体細胞の乱れを防ぎ、宇宙的想念がスムーズに流れ込むことを可能にする訳です。

083 On this highway we shall find that all creation expresses a Divine intelligence. For consciousness is the life of even a grain of sand. It lives independent of forms, yet it activates all matter. It speaks the silent language which we call impressions, yet moves with a force far greater than any sound. And you and I are the highest manifestations of it, for without consciousness the mind would be nothing.

083 この大道では、私達はすべての創造物がある一つの神聖な知性を表わしていることに気付かねばなりません。何故なら意識は砂粒一つ生命でもあるのです。意識は形とは独立し、しかも全ての物質を動かしています。意識は私達が印象と呼ぶ無言の言語で話していますが、どんな音よりもはるかに大きな力で揺り動かしています。そしてあなたも私もその意識の最高位の創造物と言えます。何故なら意識無くしては、心は何らのものでもないのです。

#### 【解説】

この創造主の導きに繋がる王道を歩むことによって、私達はよりスムーズに進化の途を歩むことが出来ます。その途には創造主の無言の導きが流れており、私達はそれらの導きを実行に移す中でそれぞれ貴重な体験を積み重ね、自らの知識を増やして行くこととなります。

また、本文で述べられているように、創造主の無言の言葉は絶えずあらゆる創造物、砂の一粒の中にさえも流れており、最高位の創造物である私達人間については、その量大きさは比較にもならない程と考えるべきでしょう。この王道において私達はかつてないスピードで各自の進化の途を遂げることが出来るのです。

084 The mind can be developed to see the pictures in a room that it takes a T.V. to produce. And the sounds and music that are in the air that take an instrument to amplify, and so on with the other senses of the mind, but if consciousness withdraws from the body we consider the form dead. Yet one can lose the functioning of the mind and all of the senses become very dull, but so long as consciousness is there he is a living being. This proves that the consciousness can live independent of the mind which the mind cannot do. Considering the two phases of man we find that they are comparable to two people living in the same house, one depending upon the other. One mental, the other conscious. The conscious part is of the Cosmos, the mental of the world. The worldly must learn to blend with the cosmic before the union with its creator can be realized.

084 心は部屋の中でテレビが造り出すような映像を見るほどに発達させることができます。また、気中にある増幅する装置を必要とする音声や音楽も見聞きできるまでになりますし、このことは心の中の他の感覚についても同様です。しかし、意識が肉体から離れば、私達はその形有るものを死んだと考えます。しかし、心の機能を失い、全ての感覚が鈍くなったとしても、意識がそこに存在する限り、その者は生きた存在であり続けますが、心はそうは出来ません。このことは意識は心とは独立して存在できることを証明していますが、一方心は意識と離れて存在できません。この人間の2つの側面を考える時、私達はそれらは同じ家に住む2人の人間、一方が他に依存している場合のように例えることができます。一つは心、もう一つは意識です。意識の部分は宇宙的であり、心は世間的です。創造主との結合を実現するまでには、この世間的な部分は宇宙的部分と混じりあうことを学ばねばなりません。

#### 【解説】

私事ですが、実は数か月前、長年の懸案を解消する為、痔の手術を受けました。手術自体は問題なく現在ではお蔭様で完治しているのですが、その時、下半身への局部麻酔を初めて体験したのです。

その結果、麻酔後は確かに物理的には自分の足であるのですが、一切感覚（触感）というものがなく、もちろん触っても一切感じない状態が数時間続きました。まるで意識が無い状態とはこのようなものが、死に行く際にはこのようになるものかと思ったものです。

このように私達が自身に対して意識を失えば、私達は死者と同様な存在に陥るように思います。また逆に、私達が自身の半身である意識と積極的に融合すれば、私達にはより活発な生命活動が宿ることになります。

085 To make the blend it is necessary for an individual to cultivate the habit of having the mind think of the cause behind the action, what ever it may be. And analyze each action to see if it was habitual from the past experiences and purely mental and self centered, or of a cosmic nature, which one must strive to attain.

085 この融合を造り出すには各人は自らの心に行動の背後にある原因についてそれが何であろうと常に考えさせる習慣を養うことが必要になります。そして個々の行動についてそれが過去の体験から来る習慣的なもので単に心によるもの、自己中心のものか、あるいは宇宙的な性質のもの、人が達成しようと励まねばならないものかどうを見分けるよう分析することです。

#### 【解説】

本項において私達が”因”と融合する為に何か特殊な”行”をしたり、集中的な修行をしたりせよと、著者は一切していないことに注意しなければなりません。

とにかく私達は急激な改革を求めますが、私達の心に関する限り、それは単純な作業では到達できないのです。即ち、私達自身の日頃の思考傾向を改める為には、先ずは各自の行動の特徴について注意深く見つめる必要があると著者は説いているのです。

そのように観察する中で、私達の心が単に従来からの惰性的な活動に流されているのか、或は何か新鮮な宇宙的想念に従って良き方向に向かっているかを見極めることが重要なのです。

086 Regardless of what the expression may be, one should make the mind recognize and respect the consciousness as the life of the expression. Consciousness is not a respecter of forms or persons, it lends itself to all in all acts. For itself knows neither good nor bad, but its guidance is always for what we call the good.

086 その表現物が何であれ、人は自らの心に意識をその表現物の生命体として認識し尊敬させなければなりません。意識は形有るものや人物の尊敬者ではなく、それはありとあらゆる行動に自らを貸し与えています。何故なら、意識自身は善も悪も知ることはなく、それでいてその導きはいつも私達が善と呼ぶものに向っているのです。

#### 【解説】

本講座をはじめとして、アダムスキー氏が私達に説く最も大きなポイントは私達の住む宇宙には「Consciousness意識」と呼ぶべき指導的印象波動が絶えず貫いており、あらゆるものはその鼓動に従って生きているということです。

その無言の印象の波はあらゆる存在物に対して絶えずその進むべき道程を指し示しており、それ故に野に咲く花や鳥、その他の生きもの達は皆、迷うことなく日々各々の生活を享受しているのです。これら無音の指導的印象こそ、私達生きものが頼るべき源泉であるのです。

087 Our misinterpretation of its impressions gives us bad results. For many times the mind does not want to be dictated to and acts on its own. The mind in some cases is like a child who is told that if he touches a hot stove he will be burned. But he does not want to be told, so he burns his hand and it is painful. But he did have the experience even though this is the hard way of learning.

087 そのもたらされる印象への私達の過った解釈は私達に悪い結果をもたらします。何故なら多くの場合、心は指図されることを嫌いますし、自らの判断で行動しがります。ある場合には心は熱いストーブに触ると火傷すると教えられている子供のようなものです。しかし、彼は教えられることを嫌って、手に火傷をして痛い思いをするのです。しかし、これが学ぶ上で辛い道であったとしても彼は体験を得た訳です。

#### 【解説】

実は私達自身の問題として、私達が他者からの助言を好まず、全て自分の勝手な意思で行動することを好むことがあります。その結果は、不必要な痛手を受ける訳ですが、それでもその誤った時の心境とその結果とを対比させて有益な経験を得れば成果を得たことになります。

こうして私達は様々な痛い経験を経て、自分自身を制御することを学ぶことになるのです。しかし、残念ながらこれらの原因と結果の突き詰めがおろそかで終わると、やがて再び同様の失敗をすることになり、貴重な人生において無駄な時間を過ごすことになります。

088 THE WILL OF GOD is a term often used. If you cannot learn by His guidance which is the consciousness, then He lets you learn by your own mental will which brings painful results. So God is not responsible for your experience.

088 神の御意志という言葉がしばしば用いられます。もし、あなたが意識である神の導きによって学ぶことができないなら、神はあなたをあなた自身の心の意志によって学ばせますが、その心の意志は貴方に苦痛をもたらします。ですから、神にはあなたの体験への責任は無いのです。

#### 【解説】

実は宇宙空間を貫いて流れわたる宇宙的想念波動こそ、創造主の意思なのですが、私達人間はそれを無視して或いはそれに気付くことなく自らの意思を行使して、不完全な結果、痛い経験を持つことになるのです。

歴史を少しでも振り返れば、私達は実に多くの争いの歴史、殺戮の過去を経験していることが分かります。それらの結果、何を得たのか、何を失ったのかを見れば、そうした争いが多くの人々の苦しみを生み出したことはすぐにも分かる筈です。

小は各自の1日の過ごし方から、大は国家間の戦略に至るまで、私達自身の行動指針として、何を据えるべきかは明かでしょう。一時の感情は私達自身を破壊するだけの十分な力を有しており、先ずは私達自身の持つ危険性を戒め、代わって創造主の導きを求める必要があるのです。



089 Some reports have come in from the first lesson. And wonderful results are being obtained by those who are really sincere. This is not surprising as every thing that has even taken place is recorded in consciousness, and can be drawn upon when the mind of man becomes attentive.

089 いくつかの報告が第1課から寄せられています。そして実際に誠意ある学習者によって素晴らしい結果が得られています。これは驚くべきことではありません。何故ならかつて起ったあらゆる出来事は意識の中に記録されており、人間の心が敏感になる時、引き出されることになるからです。

#### 【解説】

この「生命の科学」はいわば通信教育の一環として執筆されました。その為、本項はこの第2課執筆の段階で、既に第1課を受講された人から著者宛に報告が寄せられたものと思われます。

本来であれば、こうした著者とのやり取りの中で、受講者の疑問に著者アダムスキー氏が回答して来たものと思われます。しかしながら、アダムスキー氏亡き後、今日では各自が自らに問いかけ、やがてその答えを自らが発見するという自己研鑽の途を歩むこととなります。

090 This is the reason the course has been simplified by the Brothers, and is different than any course of study presented before. In its simplicity it gives the major parts of self that the student must work with.

090 このことがこのコースが宇宙兄弟達によって単純化されて来た理由であり、これまで提示されたいかなる学習コースとも異なる理由です。その単純さの中で、学習者がいっしょにやっ行って行かなければならない自己の主な部分を理解させているからです。

#### 【解説】

過去には仏陀やイエスをはじめとして様々な師が地球を訪れ、人々に真理を伝えたものと思われます。しかし、時が経過するにつれ、その教えに様々な解釈が加わり、次第に複雑かつ形式的なものに変質してしまっように思います。

事実、仏典は何千もの数になるかと思われますが、その内、どれほどが仏陀自身が説いたものかは不確かなままです。また、聖書にしても同様で、聖職者達の都合でオリジナルのイエスの言葉が正しく伝えられていない可能性もあるのです。

そういう意味からは、本書は他惑星人が私達地球人の学習にふさわしい内容として特に配慮した内容になっていると考えるべきで、本講座から得るものは他の宗教書よりも大きい筈だと考えています。

091 The Creator's laws are very simple. If this were not true Jesus would not have said, you must become as a little child. A child is trusting and uncomplicated in its way.

091 創造主の法則はとても単純です。もしこれが本当でなければ、イエスは幼子のようにならなければならないとは言わなかったでしょう。子供は信じ易く、その行動に複雑さはありません。

**【解説】**

一方で私達を養い続けている創造主の携える法則は、実はとても簡単なものだと著者は説いています。言い換えれば、私達の受入態度が問題であって、幼児のように素直に従う姿勢こそ、私達各人の進化の一步になるという訳です。

もちろん、その一步から先に進む上でもその素直な心境、即ち常に創造主から来る支援のインスピレーションを信頼して受け入れ、行動に移す中で、私達は貴重な経験と裏付けとなる確証を得ることになる訳で、そこには疑いはあってはならないのです。

一步つづ進化の途を自らの足、自らの体験により進めることで次第に私達はゆるぎない進化の途を歩むこととなります。

092 Until now, man has been doing everything the hard way with his mind. And has created mystery upon mystery where no mystery exists. And nothing is impossible.

092 今日まで人間は自分の心を用いてあらゆる物事を辛いやり方で行って来ました。そして神秘の無い所に神秘に次ぐ神秘を造り上げて来ました。しかし、不可能なことは何も無いのです。

【解説】

それに反して全ては自我（心）が造り上げるものだと考える者には、容易に平安は訪れません。多くの心配事や競争相手がいる中、生き延びて相手に勝利することを目指しているからです。

しかし、そのような生き方は苦しく、老化も進む毎日となってしまいます。私達がこの世に生まれた本来の姿、各自の役割をしっかりと見据えて、私達に必要な要素は何なのかを考え、それを残りの人生に求めて行く必要がありそうです。

SCIENCE OF LIFE - STUDY COURSE  
LESSON THREE

The Application of Cosmic Law

093 In lesson two we left you with the term, "The Will of God." And the explanation that God is not responsible for your experiences. And to clear this we will use electricity as an example.

生命の科学-学習コース

第3課

宇宙的法則の応用

093 第2課では「神の御意志」という言葉で、そして神はあなたの体験に責任がないという説明で話しを終わりました。そしてこのことを明確にする為、一例として電気を取扱うことにしましょう。

【解説】

前項の神の意思とは宇宙の法則と言い替えても良いでしょう。私達は皆、この宇宙の法則の下に生きているのです。問題は私達自身が自然界を貫く法則性を理解していない為に起こしてしまう不完全な行為とその結果ですが、私達にとって不本意であるとしても、それらもこの宇宙の法則の下にあることを忘れてはなりません。

物理・化学法則の下、私達は有用な力を得て、鉱山を掘り進めることも出来ますが、人を殺傷し物を破壊する爆発物にその原理を応用しようとすれば、それはとりもなおさず私達は殺人鬼に陥っていることになる訳です。

094 An attendant at a power plant that manufactures electricity sends out the current that you may use it for your benefit. He knows what the electricity is capable of doing and how it is to be used. And we are instructed how to use it. When used as instructed, many benefits are derived in many ways. We can even experiment with it providing we follow the law, without being hurt.

094 電気を起こす発電所の係員はあなたが自分の恩恵の為に使うことが出来る電流を送りだしています。彼は電気というものでどのようなことが出来るかや、どのようにして使用されるべきかを知っています。また、私達はその使い方について教えられています。教えられた通り使用する場合は、様々な面で多くの恩恵が引き出されます。私達は法則に従えば怪我をすることなく、電気で実験すらすることができます。

#### 【解説】

本項で触れられている「電気」はある意味、深遠なもののように「思われます。自然界においては雷から生体電位、更には体内神経細胞に流れる電気パルスに至るまで様々な規模の電気の形態があるように思います。また、更には地球自体も内部では巨大な発電機を化しているという話も聞いたことがあります。

その電気を現代の私達は生活の隅々にまで活用しており、家庭の生活家電からパソコンに至るまで多くのものが電気によって動いています。その電気の源泉は本項で述べられている発電所で製造され、各家庭に配送され、利用されているのです。

この目に見えないエネルギーこそ私達の生活を支えていることは、台風その他で停電になった時、私達は思い知るようになる訳で、目に見えないパワーの支援を受けて私達は暮らしていることとなります。

095 i.e. An electric socket is made to hold a light bulb and not for a finger to be placed in it when the current is on. Even when it is not, should one be standing in moisture, he can receive a shock. If one gets hurt or has an unpleasant experience by the misuse of the law, he cannot blame the man that is willingly giving him the power. He can only blame himself, either for ignorance of the law, or aggression on his part.

095 即ち、電球のソケットは電球を固定する為に作られたもので、電流が流れている時に指を入れる為のものではありません。指を入れなくても、湿った場所に立って（ソケットを触った）場合にはショックを受けるかも知れません。仮に法則の誤用によって痛い目に逢ったり、不愉快な体験をしたとしても、電力を喜んで送っている係員を責めることは出来ません。自分自身が法則について無知であったか、自分の無謀な行為について自分自身を責めるべきなのです。

### 【解説】

本項の場合は電気の話ですが、私達の身の回りには様々な自然界のエネルギーが存在します。火山の噴火や台風、或は地震等、膨大なエネルギーを有する自然の活動があります。そしてこれらは私達に災害をもたらす一方、長期的には大きな恵みをもたらすことも多いものです。

こうした自然の諸活動について私達は無知である為に多くの困難を被ります。問題はこれらの活動が起こることに気付き、いち早く回避する能力を持つことが重要なのですが、多くの野生動物が持つこの能力に対して、私達地球人はその関心はもっぱら地上の他の案件に集中するあまり、これから起ころうとする事柄を事前に察知することが出来ません。

私達の因の領域で起こりつつある現象に対する無知・無関心がこれらの洞察力を妨げているのです。

096 The Creator gives us the power of life, and intelligence through the avenue of consciousness. The personal ego mind can use this in accordance with the law or it can transgress the law and receive either bad or good results, as with the electricity. Every individual has been granted this free will.

096 創造主は私達に意識という大通りを通じて生命の力（パワー）と知性をともに与えています。個人のエゴ（自我）の心は法則に従ってこれを利用できますし、法則を逸脱することも出来ますが、その結果、電気の場合のように良い結末あるいは悪い結末を得ることになります。各自は皆、この自由意志を許されているのです。

#### 【解説】

唯一の解決策は、私達が宇宙を貫く意識に気付き、意識によって導かれる人生の歩みを進めることであると著者は説いています。即ち、これまでの自我（心）を自ら訓練して、その大通りに乗せることです。

もちろん、私達には自由に自らの歩む道筋を決定することが認められている訳で、それら大通りを流れ来る宇宙的意識を受け入れて成功するかあるいは、受け入れずに失敗するかは本人の選択次第です。

こうした様々な経験の中で私達は法則の正しい運用の仕方を学び、仮に痛い経験をしたとしても、それらの経験を次の機会に生かすことが出来るのです。



097 We can use the television set again, as a good example. The set in itself has no power or intelligence. But there are instruments in it equivalent to the brain or mind of man which cannot act until the power is turned on. When this is done, intelligent expression follows. Let us say that the intelligence is inhaled into the set through the ether or radio waves which carry the message. And as they come into the set the expression takes place, and not only the message comes through, but the individuals are shown as a living image on the screen. As I understand it, there are 80 different frequency channels in this nation over which programs are carried. Each channel is separated from all the others, yet some are so close that they encroach upon another. This calls for a very fine instrument to keep them separated. All channels use the same power and the same law, but there are sets that can only pick up a few channels. Yet all must depend upon the power and the ether waves to be of service. And they must inhale and exhale the waves to have the continuance of the program.

097 テレビ受像機を再び好例として述べましょう。テレビ自体には電力も知性もありません。しかしその中には電力が入れない限り行動出来ない人間の脳や心に相当する装置があります。それが為されると、知性的な表現が続いて起るのです。メッセージを運ぶエーテルもしくは電波を通じて知性がその受像機に吸込まれるということにしましょう。そしてそれらが受像機に入るや、表現が起りますし、スクリーンに個人が生きているイメージで映し出されます。私の知る限り国内には番組を放送している80の異なる周波数チャンネルがあります。各々のチャンネルは他と分離されています。この為、それらを分離し続けるにはとても繊細な装置が必要になります。全てのチャンネルは同一の電力と同一の法則を用いていますが、中には数チャンネルしか受信できないテレビもあります。しかし、全ては機能を発揮する為電力とエーテル波に依存しているのです。そしてそれらは番組を継続する為にはこれらの波を吸込み、吐き出す必要があります。

#### 【解説】

私達はテレビ受像機のようなものです。テレビに電源が入らなければ、また、放送局からの電波が入らなければテレビは何も機能しない箱であり、画面は何らのメッセージを映し出すことは出来ません。

それは私達の肉体細胞には宇宙意識のパワーが注ぎ込まれ、宇宙を貫く印象波動が私達自身に取り込まれなければ、私達は死者と同様、生きていないことになります。

また、宇宙意識のパワーが注がれ、受像機はスタンバイの状態であっても、放送局からの電波とも言える印象波を呼吸できなければ、それらメッセージを体現することは出来ません。

重要なのは、テレビ自体がその放送番組を生み出す能力がある訳ではなく、それは単に宇宙意識から支援のパワーを貰い、宇宙を貫いて流れる宇宙的印象を体現する存在であるということです。

098 So it is with man. For he has all the potentials of expression built in, as it were. And he must inhale and exhale the breath of life to be of service. Should he cease breathing he would become a stilled instrument without any motion. Yet to inhale and not exhale the continuous state of life expression would cease. THE BREATH OF LIFE must pass through the form continuously for it to be active. It is comparable to the ether waves that feed the television set. Notice that the breath of life and the ether waves are everywhere and know no barriers, but they need an instrument to express through.

098 それは人間にも当てはまります。何故なら、人は内部に言わば全ての表現力が組み込まれているからです。そして人は役立つ為には、生命の呼吸を吸込み、吐き出さねばなりません。人がもし呼吸を止めたとしたら、何らの行動もしない静止した装置になってしまうでしょう。また、吸込むだけで吐き出さなければ、生命の継続状態は止まってしまうでしょう。「生命の呼吸」は形有る物が活動的である為には絶えず体内を通っていなければなりません。それはテレビを養っているエーテル波に例えることができます。注意して欲しいことは、生命の呼吸もエーテル波も何処にでも存在し、それを妨げるものは無いのですが、それらは表現される為には道具が必要なのです。

#### 【解説】

私達が生きているとはどういう事か、本項はその仕組みと私達創造物の役割について説いています。私達の身体の生存に呼吸が必要なように私達には本項で言う宇宙のエーテル波とも言うべき印象波動が常に通過しており、私達にはそれらを表現する能力が元来備わっているのです。丁度、テレビが空中を貫く放送電波を感受するや、自らその放送番組を再現させ、他者にも見せることが出来る訳です。

これらの電波は精妙なものですが、感度の良いテレビであれば1台でも何種類もの放送電波を表現できることは皆さまご存知の通りです。

また、これら電波（印象）は何処にも流れており、誰でも受信できることもその特徴です。万人にその機会が絶えず与えられていることになるのです。また、これら印象類に共鳴（共感）して、それらメッセージを体現することが私達に望まれていることであり、私達創造物の務めなのです。

099 Man's mind could be compared to a detector tube in the T.V. set which cannot function until the power is turned on. And consciousness is the power and intelligence that motivates the mind through the process of the breath of life. And without this breath which we call air, nothing could live. Not even a grain of sand, for everything depends upon it. As it manifests through the various forms it brings forth a complete melody, expressing life in its fullness.

099 人間の心は電力が投入されない限り、機能できないテレビの検波管に例えられることが出来るでしょう。そして意識は生命の呼吸という過程を通じてその心を活性化する力であり知性です。そして私達が空気と呼ぶこの呼吸が無ければ、何物も生きることが出来ません。一粒の砂でさえもです。何故ならあらゆるものがそれに依存しているからです。そしてそれが様々な形あるものを通じて姿を現している為、それは生命を豊かに表現する一つの完璧なメロディをもたらしています。

#### 【解説】

本項は私達の心にとって、呼吸が如何に大切なものかを改めて説いています。テレビに電気が通ってはじめて動作するように、私達の心も呼吸が確保されてはじめて機能するという訳です。

いわば生命の呼吸とも呼ばれるものですが、その源である空気が無くては万物は存在できないと本項は説いています。これまで私達地球では、各天体には必ずしも大気がある訳ではないとされてきましたが、本項からはそれらの言説は正しくなく、あらゆる存在は大気を必要としていることが分かりますし、宇宙空間には十分な大気が存在することを暗に示唆しているものと思われれます。

古来からヨガや座禅等において呼吸を重要視していますが、それもこうした宇宙生命活動における呼吸の重要性を反映したものと言えるでしょう。

100 As we observe the harmonious blend in nature, we do not find the same in man. The reason for this that man has a free will and he must learn how to apply the law of the Creator. Through which he will learn the right and wrong usage of it, if he is to become an instrument of full expression. And this is the purpose of his being. He must school his ego sense mind in coordinating all of the senses, as we explained in the previous lesson. This is comparable to a musician tuning the strings of his violin that each may blend with the other, if a harmonious melody is to manifest.

100 私達が自然の中で調和した融合を見る一方で、人間にはそれと同じ（調和）を見ることはありません。この理由は人には自由意志があり、人は創造主の法則を如何にして応用するかを学ばなければならないからです。人は完璧な表現ができる一つの楽器になる為にはその過程を通じて正しいあるいは誤った応用例を学ぶことになるのです。そしてこれこそが、人の存在の理由なのです。前課で述べましたように、人は自分のエゴの感覚心を全ての感覚と調和するよう鍛練しなければなりません。これは調和あるメロディーが現出する為には、音楽家が自分のバイオリンの各弦を各々が他と融合するように調律するのと同様です。

#### 【解説】

私達は各自、学びの途上にあるという訳です。私達が本来の姿に立ち返る為に各自の自由意志を用いて自らの心を調律し、望まれる調和ある存在になる必要があるのです。

それは人間だけに授けられた自由意志が幾多の困難を乗り越えながら、創造主の意図を実現して行く過程なのですが、他の創造物達が各自の自由意志を持たず、専ら宇宙の印象類に従っている存在と比較すると、私達人間が一見して劣っているように思いがちですが、実際には様々な劣悪の状態から究極の最高位の存在にまで自らの経験に基づいて知っているということは、格段に価値があるものと考えています。

101 And the ego must learn how to apply the impressions that come from the guidance of the THY WILL which is the conscious will, instead of the will of the mind. If a harmonious life is to be enjoyed, the will of the mind must submit its will to the will of consciousness, then the THY WILL is done. The difference between the two is - the conscious or THY WILL does not force itself. It is kind and mellow in its expression, while the ego will is aggressive, domineering and self-centered. Conscious will knows no fear - the ego will fears all through life and makes many mistakes.

101 そしてエゴは心の意志に代わって意識の意志である「汝の意志」の導きから来る印象をどのようにして応用するかを学ばねばなりません。もし、調和ある生活を謳歌するなら、心の意志は意識の意志にその意志を委ねなければなりませんし、そうすれば汝の意志が行われるでしょう。これら2つの違いは意識あるいは汝の意志はそれ自身を強制しないことにあります。その表現はやさしく、豊潤ですが、一方、エゴの意志は攻撃的で横暴、自己中心的です。意識は恐怖を知りませんが、エゴはその生涯を通じて恐れており、多くの過ちをおかすのです。

#### 【解説】

しかし、これまで私達は自分の自由意志を自らの感覚心の指図のまま、野放しにして来ました。その結果、私達はエゴの欲望や恐怖の影響の下、不安定な毎日を送っているのです。

従って決め手となるのは第一に宇宙を流れる指導的な想念波があることに気付くこと、次にこれらのガイドに従って、自ら行動することにより、自らを進化させる体験を得ることです。

もちろん、最も重要なのは宇宙に流れる宇宙的想念・印象に鋭敏になることと、その価値に気付くことです。よく言われることに、数ある品物の中から一級の芸術品を見出す「目利き」が重要だということです。世間にある逸材を見出すことについて、「千里の馬は常にあれども伯楽は常にはあらず」という中国の古典を思い出します。

自然の中や身の回りの中に美しさを見出す能力もこの宇宙的な想念・印象の鋭敏さに近いものがあります。

102 All nature, with the exception of man, operates by the will of Cosmic Law. In plain, nature lends itself to the law, or the will of the Creator. Yet the form of man operates under the same law that nature does, while the free-will of man operates contrary to it.

102 すべての自然は人間を例外として除けば、宇宙の法則の意志によって動いています。簡単に言えば、自然は自分自身をその法則、創造主の意志に委ねています。一方で人間の身体は自然と同様、同じ法則の下で動きますが、人間の自由意志だけがそれに反して働いているのです。

#### 【解説】

幸いなことに私達各自の肉体は、他の創造物と同様、宇宙の法則に従って生存しているのです。つまりは、私達の自由意志だけがそれらと異なる独自の途を歩んでいるという訳です。

もちろん、その結果、私達の肉体は私達の自由意志により支配され、その正常な働きを妨げられることが多いものです。その結果として、私達自身が自分の自由意志により、自分の肉体を痛めつけてしまう矛盾にもなる訳です。

103 The Divine Will always expresses in perfect harmony and causes no distortion in any manifestation. That is why the human form under this will manifests so well. And yet it is abused more than any other form known, by the free-will or will of the ego. i.e. When one eats a meal, the mind or the will of man knows not what is to happen to the food in the body. And if the ego is in a happy harmonious state the food will be beneficial to the body. On the other hand, if the ego is disturbed, confused or tensed and out of harmony with the law, or consciousness, indigestion is bound to follow causing gas around the heart and constipation. Proving the Divine Will, will not lend itself to the distorted will of man. So man pays the price for the distortion through pain and suffering. And this is the only way that some people can learn.

103 聖なる意志はどの創造物においても常に完全な調和をもって表現し、如何なる歪みも生じさせません。それがこの下にある人体がかくも申し分無く現出している理由です。それに加えて人体はエゴの自由意志、つまりは意志によって他の如何なるものよりも酷使されています。即ち、人が食事を摂る時、心や人の意志は肉体の中で食物がどのようになるか知りません。もし、エゴが幸せな調和ある状態であれば、食物は肉体にとって有益なものになるでしょう。他方、もしエゴが掻き乱され、混乱しあるいは緊張して法則や意識と調和出来なくなっている場合には、消化不良になり、心臓の周囲にガスを発生させたり、便秘を引き起こします。聖なる意志は人間のねじれた心にはご自身をお委ねにはならないとしましょう。そうであれば、人は痛みや苦痛を通じてこのねじれに対して代償を支払うこととなります。そしてこれこそが、ある種の人々が学べる唯一の方法なのです。

#### 【解説】

本来、私達の身体は完全な宇宙との調和の下、創造主の意図を表現する存在でありました。また、毎日の食事はその身体を養うに相応しく宇宙的法則の下でその健全なる身体各部を支える役割を担って来たのです。

しかし、ここで私達自身の自我が大きな影響を与えることとなります。不安や恐れ、怒りがこれら本来の調和ある細胞の働きを妨げ、肉体に苦痛を与えているのです。もちろん、これらのいわば反宇宙的な活動は永続するものではなく、私達はやがて老いや病いの途を歩むこととなります。

原因と結果は密接なる関係がある訳で、少しでも宇宙に貢献できる活動をなし得た場合には、やがてその者に大いなる喜びをもたらす功德がやって来ることは間違いありません。私達はこうした因果応報の法則の下、各自の進化の途を歩んでいるのです。

104 Fortunately there is a harmonious law that works through the body independent of the mind, or the body would not last the years that it does.

104 幸いなことに、身体の中には心から独立して働く調和ある法則があります。そうでなければ、人体はそのように何年も持続することは無いでしょう。

**【解説】**

しかし前述のように自我の支配下であっても、多くの身体細胞は私達の自我の指令とは離れて、なお宇宙的な印象に共鳴し続け、不安定な自我から私達の肉体を守ってくれているのです。

例えば心臓やその他の内蔵器官等は心とは離れて本来の活動に従事しており、仮に自我がその活動について忘れてしまっても、黙々と本来の活動任務についています。これらの宇宙的な細胞のお蔭で私達は日常を送ることが出来ています。

従って長生きである人はその人が本来これら宇宙的な身体細胞の働きと自身を調和させて来たことを示唆するものと思われます。他惑星人が極めて長寿命であることも同様の意味があると言える訳です。



105 This shows that there are two stages of intelligence in the human form. One the Cosmic - directing the functioning of the body. And the other - mental opposition that causes the suffering in the body. A Clergyman expressed this well when he said that humanity has become Un-Godly. This is true, for people no longer look to the Creator for guidance, and they do not have faith in the giver of life. And as a result, they exercise their free-will to the full extreme under the master of fear. So greed has taken over, and it is like a cancer which is bound to destroy this civilization if it continues. These are the fruits of the free-will, where one Will does not trust another. But how can it when the will of man does not trust the Will Of The Creator or consciousness?

105 このことは人体は知性において二つの段階があることを示しています。一つは人体の機能を指揮している宇宙的な存在、そして他は人体に苦痛をもたらしている心の反抗です。ある牧師はこれを人類は神を敬わなくなってしまったと言ってこのことを良く表現しました。これは導きをもはや創造主に求めない人々にとっては真実ですし、彼等は生命の贈与者に信頼していません。その結果、彼等は恐怖の主人の下、最大限まで自分達の自由意志を行使するのです。そのため、貪欲が支配するようになりましたが、それはもし続くならこの文明を滅ぼすことになる癌のようなものです。これは一つの意志が他を信用しない所に突る自由意志の結実の結果です。しかし、人間の意志が創造主の意志、あるいは意識を信頼しないとしたら、どうなってしまふことでしょうか。

#### 【解説】

私達の問題は、私達の内側に2つの司令塔が存在するということでしょう。その内の自我（感覚心）と呼ばれる者は私達自身を破壊する存在であり、もう一つは宇宙的で調和ある存在です。この内、後者は決して私達を言葉によって指示することなく、専ら無言の印象によって語りかけます。

一方、私達の日常はほとんど自我の支配下にあるのですが、それも自我の征服欲や不安感から私達にろくなガイドをする者ではありません。私達の辿って来た歴史がその限界を示している通りです。

しかし、私達がこれまでの自我による支配のくびきを捨て去り、新たにこの宇宙的な指導印象に従うなら、私達は他の創造物と同様、進化の途を歩み始めることが出来るという訳です。その為にも何よりも宇宙に溢れる指導的印象の存在を認識し、それらと共鳴、同調する態勢が私達になくなくてはならないのです。

106 We can see the results, for the whole world is living under the cloud of fear one against the other. And no one trusts another human being.

106 私達はその結末を見ることが出来ます。何故なら、全世界が相互に対する恐怖の雲の下で生きているからです。そして誰一人として他人を信用してはいないのです。

【解説】

人間界における実情は各自の自我による支配の結果の現れであり、その状況は有史以来、今日に至るまで続いているのかも知れません。私達の地球は自然は豊かに繁茂する一方で、そこに棲む人間社会は殺伐とした間柄のままとなっています。そしてやっかいなのは人間自身には科学技術を身に着け、影響力を増している為、その人間の恐怖心が引き起こす誤った行動が地球全体の破滅にも達する程になっていることです。

しかし、これら実情を認識する人達が増え、自らの抱く想念の質の問題を理解できる人々が増すにつれ、その改善への転機も現れるものと期待されているのです。

107 You may say here, it is a mess. Yet it is the product of the exalted ego or human mind. For it no longer allows itself to be guided by the consciousness or creator.

107 ここであなたは、それを乱れと言うかも知れません。しかし、それは増長したエゴ、即ち人間の心の造り上げた所産です。何故なら、エゴはそれ自身を意識あるいは創造主によって導かれるものとはしていませんからです。

#### 【解説】

これらの問題点解決の第1歩が、私達自身が本来、導かれる者であることを認識することにあります。つまり、私達自身は皆、誤りを犯し、欲望に走る者であり、これらを克服する為に宇宙からの導きによる助けが必要であるということです。

この導きを受ける為には、私達自身におごりがあるはなりませんし、常に導きを創造主に願う心境が必要です。

これについては古来、様々な導師による教えがあり、皆、謙虚さや創造主への信頼 (faith) を説いて来ましたが、私達東洋社会には容易に理解出来る状況ではありますが、当時の欧米社会では自我の確立こそ尊ばれた為、受入れ難い傾向もあったのではないかと思います。

108 Perhaps you feel that I use the word consciousness a great deal and place emphasis on it. And you may wonder, why? It is because the consciousness has been neglected through the ages while the mind has been exalted. And did Jesus not say that we are the Temples of the Living God? It could be said in this way, know ye not that ye are the embodiment of the living consciousness?

108 おそらく、貴方は私が意識という言葉を変多く使用し、それに力点を置いているとお思になるでしょう。そして何故だと思ふかも知れません。それは何世代にわたり心が増長して来た一方で、意識は無視されて来たからなのです。そしてイエスは私達は生ける神の社であると言わなかったでしょうか？それはまたこのように言うことが出来ます。貴方は自分が生ける意識を体現したものであることを知らないのかと。

#### 【解説】

この「意識」の存在こそ、私達の最大のテーマなのですが、本項に記されたように、私達は昔からこの存在に気付かず、無視して来た訳です。古くはイエスの時代からそのことは強調され、現代に至るも私達の理解はあまり進んではいないのです。

それは、その存在が目に見えず耳に聞こえず触れることも叶わない存在だからであり、私達はそれに代わって自身の心の声を自分の主人にしてしまったという訳です。その結果は、本来は肉体維持の感覚器官であるだけの心が自らの行く末を決めて行動しなければならなくなり、不安にかられ他人を信用しない生活に陥っています。

一方、当時イエスが説いたように、私達自身には絶えず意識からの印象が湧き出し、進むべき道を示していることに気付けば、私達はもっと容易に人生を享受し最高位の創造物に相応しい歩みを踏み出すことが出来るのです。

109 The Breath Of Life is proof of that, and it is given freely to all forms of life. For was not the first clay form of man activated into life by THE BREATH OF LIFE, breathed into its nostrils by the Creator? And it became a living soul, or a conscious being. A new born child is slapped on the buttocks and made to take the first breath, or it would not be alive. And notice here, the mind is only partially active, yet the baby is consciously alive. We know that a young mind knows no fear until fear is imposed upon it. Or until it begins to act with the mind and gets hurt, then fear takes over.

109 生命の呼吸はその証しですし、それは生命のすべての形有るものに無償で与えられています。人間に形取られた最初の粘土が創造主によって鼻から息を吹き込まれ、生命の呼吸によって生けるものになったのではありませんか。そしてそれは生ける魂、意識ある存在になったのです。生まれたばかりの赤ん坊がおしりを叩かれて、最初の呼吸をさせられますが、そうしなかったら、生けるものとはならないでしょう。そして、ここで注意して欲しいのは、赤ん坊の心は一部しか生きていませんが、赤ん坊は意識的には生きています。若い心は恐怖が押し付けられない限り、恐怖を知らないことを私達には分っています。あるいは赤ん坊が心といっしょに行動し、痛みを得るとその時から恐怖が支配するようになるのです。

#### 【解説】

呼吸が生命の基本であることは創世記にも記述されている通りですし、私達各人がこの世に誕生する際にも、呼吸からその人の人生が始まるとも言えるでしょう。また、最期にはその呼吸を停止して死に至るといふ訳です。

このように生命に無くてはならない呼吸作用なのですが、その意義は単なる酸素を体内に取り込むだけのものではなく、もっと深遠な意義を持つものであることを本項は示唆しているのです。

そのことに関して私見を述べさせていただくなら、それは空気と同時に私達は何らかの宇宙のエネルギーを体内に取り込んでいるのではないかと考えます。著者が”生命の呼吸”という表現を用いており、空気中の酸素の取り込み等、限定したイメージでなく、もっと深い意味を込めていることに注目したいものだと思います。

110 This shows that consciousness knows no fear - for it is the possessor of all knowledge. The mind does not have the knowledge and lives in fear. And as a result it has promoted all kinds of mysteries in relationship to life and its continuance.

110 このことは、意識は如何なる恐怖も知らないことを示しています。何故ならそれはすべての知識の持ち主であるからです。一方、心はその知識を持ちませんし、恐怖の中に生きているのです。そしてその結果、心は生命とその存続に関連してあらゆる種類の神秘を助長させて来ているのです。

#### 【解説】

生命の呼吸に関連し、著者は私達が呼吸することで意識を取り込んだ存在になり、その意識はあらゆる生命活動を統率し、その意識なるものは全知である為に恐れがないと説かれています。

しかし、私達は各々誕生したばかりの段階では、何らの経験はなく、失敗もない為に恐れを知らずに過ごしている訳ですが、やがて自らの誤りの為、痛手を受けると、今度はそれを嫌って、不安に陥ってしまうという訳です。

このように私達は各自の進化の途を歩む者ですが、そこで学ばなければならないのは、今まで見過ごしていた意識という身近にある全能の存在なのです。このように考えるとこの内容は全ての宗教の真髄でもあるように思われます。

111 We are now in the third lesson and I have not asked any one to concentrate or meditate, as taught in other fields. If anything, these ancient methods have brought the unpleasant conditions that we today face in the world.

111 私達は今や第3課に入っており、私はこれまで誰一人にも他の分野で教えられているように精神集中や瞑想をするようにとは言って来ませんでした。むしろ、これら古代の手法は今日私達が世界で直面している不愉快な状況をもたらして来たのです。

#### 【解説】

この意識に近づく上で、古来から精神集中とか瞑想等の修行が進められて来た訳ですが、本項で著者が明言しているように、これらの方法は良い結果をもたらさないと言うのです。

つまりは、心を一点に集中させ、或は心をただ鎮めるだけではうまく行かないとしていることに私達は注意しなければなりません。

具体的な事柄は次項以後に示される訳ですが、何よりも一時的な感情の高まりでは物事は解決せず、先ずは日常生活の中で少しずつ現象の奥にある因の要素、目に見えない存在について察知して行くことが重要ではないかと考えています。物事や現象を因と結果の結びつきから理解する中で、宇宙には全知の力がみなぎっていることを知ることこそ、第一に目指すべき事柄ではないかと思っている次第です。

112 The thing that we ask you to do is - become aware of your real self, the eternal part of God, or The Creator. Let your mind become conscious of consciousness as your guide in everything that you do. Then the admonition "Man know thyself and you shall know all things," will be your reward. But the mind must learn to trust the consciousness at all times.

112 私達が貴方に実行して欲しいとお願いしたいことは、貴方の真実の自我、神の永遠なる部分、創造主に気付くようにすることです。貴方の心を貴方が為す全てにおけるガイドとして意識を意識するようにさせて下さい。そうすれば、訓戒「汝自身を知れ、そうすれば全てを知るだろう」を褒美として受け取ることになります。しかしその為には、心は意識を如何なる時も信頼することを学ばなければなりません。

#### 【解説】

本項では著者が私達に具体的にどのようなところから一步を踏み出して行ったら良いかを示しており、大変重要な記述です。

実は外に指導者を求めるのではなく、各自の内側に信頼すべき宇宙創造神が存在することをわきまえ、各人がその存在を知覚し、意識することだと説いているのです。著者が盛んに用いている”意識”という表現もこの”意識すべき存在”から編み出されたものかと思われます。

本来、各自の内側に頼るべき存在が居ることに私達は気付かぬまま、外界にその存在を求め、遂には放蕩を繰り返して来た訳ですが、ようやく自身の中に自らの拠り所を見つけるまでの状況は聖書の放蕩息子の例の通りです。私達各自は宝の持ち腐れにならないよう、しっかり自らの中にある宝物を知る必要があるのです。



113 Also notice that we did not forbid you to live a normal life. All that is asked of you is - live a conscious life and not a mental one. And do, and use, all things in moderation. That is all that is necessary to fulfill the purpose of life. This is how our space brothers have grown in knowledge and live a heavenly way of life.

113 また、私達が貴方に普通の生活を送ることを禁じていなかったことにも注意して下さい。貴方に求められていることの全ては、心による生活でなく、意識による生活を送ることです。そして全ての物事を適度に行い、また用いなさいということです。それが生命の目的を成就する上で必要なことの全てです。この方法によって私達の宇宙兄弟達が知識において成長でき、今、天上の生活を送っているのです。

#### 【解説】

私達に示されているのはただ一つ、各自の行動の指針を自らの心でなく、各自に存在する内なる意識の示唆に従い、物事を極端に走らず適度に行えということです。

これは一見して何も特別な指示でないように思いますが、ポイントは各自が時々刻々と受ける印象を鋭敏に感知し、何事にも意識や関心を拡げて生活せよということかと思われます。

実は、私達はこれまで他人との約束事や時間に縛られた生活を送っており、また、自らの心に左右された毎日を過ごしています。それに対して本項は先ずは普通の生活を送る中で、様々な側面に至るまで把握範囲を拡げた、いわば意識的な態度を第一にしよう求めています。

114 And remember you cannot have a manifestation or good results if you do not use both sides of the law. The objective and the subjective, or the negative and positive - male and female. You cannot use one and exclude the other and expect good results. Let us go back to electricity for an example. Electricity is one power consisting of two phases, negative and positive. One phase cannot be used in the absence of the other and give useful power. But when they are combined and balanced the manifestation is perfect.

114 ここで覚えていて欲しいのは貴方は法則の両面を用いなければ、創造の現れや良い成果は得られないということです。主観と客観、積極性と消極性、男性と女性がそれです。一方を用いて他方を排除しては良い結果は望めません。一例として電気について振り返ってみましょう。電気は2つの側面、マイナスとプラスからなる一つの力です。他方無しで片方を用い、有益な電力を得ることはできません。しかし、それらが統合されバランスがとられた時、そのもたらす創造の現れは完全になります。

### 【解説】

私達には長年、善と悪、良不良等、区別し判定する中で生活して来ました。その結果、争い或いは競技等、生活の隅々にいたるまで競争や裁きが生まれています。

しかし、現実の世界にはそのようなすっきりした識別が出来ることは数少なく、各々の立場にはそれなりの理由があるものです。

このように世の中は裁くべきものはなく、私達は両者を受け入れる中で、互いの協力関係を深めるべきかと思うものです。

本項は、より宇宙的な観点から、これら両面についてよく理解し、両者を共に取り入れた中でより高次の成果を成せと私達に説いています。裁きを禁じたイエスの教えも、そのような意味を持つものと言える筈です。

115 So it is with the law of the Cosmos. Positive Thinking, that you may have heard about, has hurt more people than it did good. God's purpose cannot be divided and give good results. Nor can one judge His laws and omit parts of them, be it through lack of understanding or egotistical aggression, which has been done through the ages. People judge the Creator's creation without knowing the reason for each part. And in this way they have been judging the Creator and exalting the ego mind above His Intelligence.

115 ですから、それは宇宙の法則についても言えることです。陽的思考は、貴方が聞いたことがあるかも知れませんが、それが為す良い事以上に多くの人々を傷つけて来ました。神の目的は二分されて良い結果をもたらすことは出来ません。人は理解力の不足に由来するにせよエゴの侵略行動に由来するにせよ、神の諸法則を裁いてその一部を除くことをしてはならないのですが、それを長年行って来ました。人々は創造主の創造物を各々の部分の存在理由等を知らないまま、裁いて来ました。そしてこのようにして、人々は創造主を裁き、自らの自我の心を創造主の知性の上位に置き増長させて来ているのです。

#### 【解説】

以前、何処かで陽性の考え方の極端な例はヒトラーであると著者アダムスキー氏が述べていたように記憶しています。迷える大衆に対し、キッパリ進路を示し、国の行く末を主張した姿勢に人々は信頼して国を委ねた訳ですが、結局のところ世界は大きな戦渦を被り、ホロコーストを引き起こした訳です。

このように迷える大衆にとって時々に出現する陽性の意見を主張する者は魅力的に感じられますが、それも危険なことで、私達は世論工作等の手法に気を付けなければなりません。

それに対して、本項で著者が示すように他者を批判することなく、各々の背景を学び本来の宇宙的調和の姿を知ることによって、より調和的な途、進化の道を歩むことが出来るのです。

116 And we have become lost in our own mis-creations by separating ourselves from our consciousness which is of the Creator. We have become intellectual giants, but moral morons from a conscious point of view.

116 そして私達は創造主である私達の意識から自分自身を分離することによって私達自身が造り出した誤った創造の諸物の中で迷子になってしまっているのです。私達は知的には巨人になっていますが、意識の観点からは倫理上、低能に成り下がっています。

**【解説】**

私達はこの創造主につながる「意識」について何一つ学んでいない為に、倫理上の低能になり下がっていると本項は断じています。

つまりは無能な自分自身をその意識から切り離してしまった為に、自ら無能無知の中に沈んでしまっているという訳です。即ち、それを抜け出るには意識に回帰する必要があり、僅かな手掛かりを頼りとして、その底辺から抜け出る必要があるのです。丁度、芥川の「クモの糸」にも似た状況かも知れませんが、僅かなきっかけをも逃さず自らを向上させる努力を積み重ねる必要があるのです。

117 Instead of gathering all form life into the sea of consciousness we have divided and separated, and this is why we cannot see God's life manifesting through us and all form life, as our space brothers do. For when they look upon a form, be it of man or any other expression, they do not see just the form, they see the consciousness that supports the form. This is seeing the Creator expressing through the form when the THY WILL and not the mind will is done. Their world and all life on it are conscious manifestations of the Creator, and are so honored.

117 すべての形有る生命を意識の海の中に集めることをしない代わりに、私達はそれらを分割し分離して来ました。これが私達の宇宙兄弟達がしているように私達が私達やすべての形有る生命を通じて神の命を見ることができない理由です。何故なら、彼等が形有るものを見る時、それが人間であれ、他のどのような表現物であれ、彼等は単に形だけを見ることはなく、彼等はその形有るものを支えている意識を見るのです。これが心の意志でなく「汝の意志」が行われている時、形あるものを通じて創造主を見ているということです。それらの世界とそれの上に成り立つすべての生命は創造主の意識の現出であり、そのように榮譽を受けているのです。

#### 【解説】

先ずは私達が外界の事物をどのように見ているかが問題だと本項は説いています。

つまり、これまでの私達は私達人間の都合で事物を分類し、識別して来ました。しかしそれでは創造物を私達の都合で分離し、更には良否優劣の裁きをすることにつながり、創造物の中に階級を設けるだけで、一体感や融和性が生まれることはありません。

それに代わって、意識という融和的な世界の中に万物を取り込み受け入れる中で、それらを創造主の意思の下に融合することで私達と他の創造物との兄弟姉妹のごとく、穏やかな間柄になることが出来るのです。

118 As you can now see, man or his mind is in the process of creation, working towards a perfect manifestation by learning. And time is not involved, for there is no time in Eternity. So it then behoves us to study the various phases of creation that we may learn its reason for being. Then we will not judge our Creator, as we have in the past through lack of knowledge. For truthfully no man can judge his Creator or any of His creation. When man makes a thorough study of Life's purpose, understanding replaces judgment. For then man as the highest expression, becomes one with his Creator. And his intelligence is in line with the Creator's intelligence.

118 今やおわかりのように、人、すなわち人の心は学習を通じて完全なる創造の現出に向かって努力している創造の過程にあります。そして時間は関係ありません、永遠には時間が無いからです。ですから私達はその存在の理由を学ぶことが出来るよう、様々な創造の段階を学ぶことは私達にとっての義務なのです。そうすれば、かつては知識の不足から行って来ましたが、私達は私達の創造主を裁くことはしなくなるでしょう。何故なら、本当に人は自分の神や神の如何なる創造物をも裁くことは出来ないのです。人が生命の目的を徹底して研究する時、理解が裁きに置き換わります。そうなれば、人は最高位の表現者としてその創造主と一体になるのです。そしてその知性は創造主の知性と一致します。

#### 【解説】

著者が私達に時間は関係ないと諭してくれていることは重要です。途中でどのような径路を通り、どんなに無駄な時間を費やしたとしても本人がその誤りに気付く、改めて本来の途に戻ることが出来れば、それにまさることはない喜んで下さるのが創造主ということでしょう。

私達は創造主の御業を学ぶ中で万物を融和融合させ調和ある世界を組み立てる義務があるのです。そういう意味では最高位に位置する私達は創造主にとっても頼りになる存在である訳で、創造主の意思を現実世界に実現し、再現することが私達の大きな目的なのです。

119 You may ask, how do we classify intelligence. Man classifies it as the result of actions or expressions. If we use this same classification, then we must admit that we are living in a sea of intelligence. All forms that live and express are using certain phases of it, and fulfill the purpose for which they were created. All of these lesser forms act automatically under the guidance of nature. Or we could say, by direct guidance of the Creator.

119 知性についてはどのように分類するのかと貴方は問うかも知れません。人はそれを行動や表現の結果から分類しています。もし私達が同様の分類をするなら、私達は自分達が知性の海の中に生きていることを認めざるを得ません。生きそして表現する形有るものは皆、その（訳注：知性の海）何らかの側面を活用しており、それらが創造された目的を達成しています。これら（訳注：人より）下位の形有るもの達は自然の導きの下、自動的に行動しているのです。言い換えれば、創造主の直接の指導によっていると言えるでしょう。

#### 【解説】

私達は知性の海の中に暮らしていると著者は私達に説いています。生命の海とも呼べるものですが、私達はただその中に生きていながらも、その存在に気付いていないという訳です。

他方、他の創造物は直接、その知性を受入れ、従って表現している為、何らの迷いもなく、平穏な毎日を送っているということでしょう。

宇宙や自然界において知性とは何かを探求する時、私達はやがてはその宇宙を貫く知性を感じ取れるようになり、自らの進路に受け入れることが出来るようになるものと思われま

120 When we say Nature, it is used as a representative of The Mother Principle of Divinity. For she is the one through which forms are born. This is the feminine side of life, while the Supreme Intelligence is the masculine. And the two are working as one to bring forth the many manifestations.

120 私達が自然と言う時、それは神の内の母性原理を代表するものとして用いられています。何故なら、そこから形有るものが産まれるからです。これは生命の内の女性的な面を示しており、一方で至上なる英知は男性面を表わしています。そして両者は多くの創造物をもたらす為、一体となって働いているのです。

#### 【解説】

私達は分子原子が満ちた世界の中で暮らしています。その中では様々な形あるものが生まれ、また死んで行く、万物流転の流れが絶えず生じているのです。

そういう意味では個々の創造物を造り上げるのは何度となく活用された分子原子であり、目に見えない微粒子から形ある創造物が形成されるという意味では”母なる自然”、”母性原理”が働く世界に私達が生きていることとなります。

しかし、実際には創造物が生まれるについては、これら分子原子のいわば物質世界の他に、別の英知、至上なる父性的知性が重要な役割を果していると説かれています。即ち、父性・母性の両知性が融合する中で創造作用が進行するという訳です。



121 Ninety per cent of life as we see it is governed by the law of direct guidance. The 10% which is man, has separated himself from the law by using his free-will.

121 私達が見るところ生命の内90%が直接の指導によって治められています。残り10%の部分が人間については、自分の自由意志を使って法則から自分自身を分離させて来ているのです。

**【解説】**

本項は実に私達の日常生活ではその90%「が宇宙意識の直接の導きによっているとしています。つまりは私達の日々は9割が宇宙的であるという訳です。しかし、その一方で残り10%が各自の自我が支配する所となっており、その部分が私達の進歩の足かせとなっているのです。

そういう意味では、わずか残り10%こそ、私達の改善すべき部分な訳で、私達全体としてはほとんどが宇宙的存在と言うことも出来るものです。また、他の宇宙的部分を見倣って改善すべき方向を探ることも容易と思われれます。

実に手本は私達自身の中にもふんだんにあるということでしょう。

122 Let us assume that, the first man on earth did not have a teacher to guide him along the path of life, so he had to use nature as a teacher. i.e. As he listened to the winds passing through the trees with their varying types of leaves, he noticed that each produced a different sound. And as he listened to the birds and the rushing waters of the brooks and rivers, and other sounds that nature produces, he desired to reproduce the sounds. So he made a flute type whistle and later other instruments. Man innately desires to become as his Creator. So nature has been his greatest teacher.

122 ここで地球上の最初の人間が人生の道程を導く教師を持たず、自然を教師とせざるを得なかったと仮定しましょう。即ち彼は様々な形の葉を持つ木々の間を通り過ぎる風に耳を傾ける時、各々が異なる音を発することに気付きました。そして鳥達や溪流や川の水の流れやその他、自然が造り出す音に耳を傾ける時、彼はそれらの音を再現したいと思ったものです。そこで彼はフルートの形式の笛、そして後には他の楽器を作ったのです。人間は生来、自分を創造した創造主のようになりたいと願っているのです。ですから自然は彼の最も偉大なる教師であったのです。

#### 【解説】

本項からは原始、人間が創造された時、どのような状況であったか等、丁度”天地創造”の映画の場面のように、人間が少しずつ自然を手本に学んで行った様子を伝えています。

もちろん、キリスト教徒の世界観では、このような状況説明になるのですが、本項ではもっと現実的に、太古の昔、人間が初めて地上に誕生した際には話す言葉もなく、ひたすら大自然から一つ一つを学んで行ったことを説いています。

つまり、創造主はこうした創造の時から今日まで私達人間の暮らしや試みを見守っていた訳で、広大な時間の中の私達の歩みをご覧になっていると言えるでしょう。

123 Even today man is going into the depths of the ocean and into space, only to learn from nature.

123 今日でさえ、人間は海洋深く潜ったり、宇宙に進出していますが、それらはただ自然から学ぶ目的からです。

**【解説】**

今日では未だ高価であるものの、民間の宇宙旅行も夢ではなくなる等、私達一般人でも宇宙旅行は可能となって来ましたが、かつてガガーリンの地球周回やアポロ11号の月面着陸の時代は、私達地球人類は将来、宇宙探検も可能となる新しい時代を迎えることになったという気持ちの高ぶりがあったことを思い起こします。

また、地球に残る未踏域である深海についても最近では深海1万メートル程度まで人間を乗せる探査船が出来ているということです。また、海底には油田や希少金属も多量に存在することも知られており、私達人類が把握できる範囲も広がっています。

このように上は宇宙空間、下は深海まで私達の知覚する範囲が広がる中で、各自の意識もつまらぬ自身の中から出て拡げる必要があるのです。

124 The most unfortunate part of man's learning is that his ego is impatient and tries to exalt itself above his teacher or Creator. And it is here that he makes his biggest mistakes, for he applies his will instead of Thy Will, and thus complicates things instead of simplifying them. He follows his mind which should be a pupil, instead of the consciousness which is the teacher and the life of every form. And yet his only salvation is to return back to Nature's guidance. For he can never become independent of it no matter how much he learns or how old he becomes. It will have to be nature by which he evaluates his knowledge.

124 人間の学習における最大の不幸は、人間のエゴが短気で自らを自分の教師である創造主の上に増長させようとすることにあります。そして人間がその最大の過ちを犯すのがここなのです。何故なら人間は「汝の意志」の代わりに自分の意志を用い、そして物事を単純化する代わりに複雑化しようとするからです。人間は形有るあらゆるものの教師であり、生命である意識の代わりに、生徒であるべき自分の心に従っています。そして人間の唯一の救いは自然の導きに立ち返ることです。何故なら人間は如何に多くを学び、如何に年老いても自然から独立することは決して出来ません。人間が自分の知識を評価するのは自然によらざるを得ないのです。

#### 【解説】

最近よく”切れる”という表現を耳にします。つまりは相手が自分の意図を良く理解していない等の理由で、いらつく状態が極端になった状態です。こう言う私もそのような状態に陥ることもあるのですが、よくよく考えると相手の状況について十分に理解出来ていないことや、本項で言うように正しい自分の意見が何故に理解できないのかという短気がその原因であることが分かります。

しかし、いずれにせよ、そのような状況は互いの進歩の妨げになる訳で、常に私達は謙虚であらねばならず、各々自我よりもはるかに上を行く宇宙的英知の声、意識に進路の選択を委ね、導きの手を信頼すべきです。そして結果がどうであったかは人間社会の評価ではなく、宇宙的観点からの評価であるべきなのです。

125 Today we have scholars and learned men in all fields of endeavor, but all of them have to depend upon nature for their knowledge by studying nature's material and production of form life. And since man must depend upon nature for life itself, then it behoves him to let nature, rather than his ego, guide him. Or let his consciousness be his guide instead of his mind.

125 今日、私達の回りにはあらゆる努力分野において学者や知識人がいますが、彼等全ては自然界の物質や生命体の産生を学ぶことによって彼等の知識を自然に依存しなければなりません。そして人間は生命自体を自然に依存している以上、人間には自分のエゴよりは自然をして自分を導くようにする義務があるのです。言い換えれば自分の心に替えて、自分の意識を自らの導き手とすることです。

**【解説】**

本項では自然（Nature）こそ、各自が導きを求めるべき相手であると説いています。

よくある話が、学者は自らが達成した研究成果が全てであり、全ての問題をその研究成果で説明出来るとする傾向があるように思われます。しかし、実際には私達の身の回りの生命活動はそのような単純な仕組みで働いているものではなく、もっと高次の仕組みで動いているのではないのでしょうか。

それらの動きは常に目に見えない印象類や微小な化学物質の声を頼りにしており、宇宙全域と協調・共鳴した調和性を保っている訳で、私達も各自の意見はさて置いて、こうした調和ある印象波動に同調させる必要があるのです。

126 From experience we know that nature is governed by the Supreme Intelligence.

126 経験上、私達は自然が至上なる英知によって治められていることを知っています。

**【解説】**

この場合「至上なる英知」は地球全体を支配しているという意味ですが、概念的には理解できても、実際のところは実感が湧かないという意見も多いのかも知れません。

一方、最近では激しい気象変動が世界中に怒っており、上空に異様な形状の黒雲が出現している写真も多く見るようになりました。

いわゆる気候変動の典型例として取り扱われるこれら”天空の異変”ですが、実はこうした現象は本項で説かれているように「至上なる英知」が私達へ示す警告を示唆しているように思うのです。即ち、創造主の意図を諸々の原子が体現して見せているという訳です。古代の人々は現代人よりこれら自然の警鐘に鋭敏であったと思いますし、これら至上なる英知への恐れを抱いていたものと思います。それら自然への恐れを失った現代人は身近に来る破滅にも気付かなくなっているのかも知れません。

127 So let us go back to the word intelligence; We may look upon a man that from all appearances represents intelligence, yet when he expresses himself we realize our mistake. Yet when looking upon an unassuming, unimposing man we find from his expression that he is quite intelligent. So we do classify intelligence by expression or action.

127 そこで知性という言葉について立ち返ってみることにしましょう。私達はすべての外見要素から知性そのものであるような一人の人間を見かけたとします。しかし、彼が自分自身を表現した時、私達は自分達が間違っていたことを思い知ります。しかし一方、謙虚で出しゃばらない人間を見るとき、私達はこのような彼の表現からその者がまったく知性的な人物であることに気付きます。ですから、私達は表現や行動によって、実際、知性を分類しているのです。

#### 【解説】

本項では知性とは何かについて説いています。即ち、知性は外観からでは判定できず、その者の示す態度や行動を通じて判明するとしています。言い換えれば、宇宙の知性についても同様に外観や形として表現されていることはありません。知性を見極める為には、その対象の行動（動き）について観察する必要があります訳です。

とかく私達は外見から物事を判断する為、人々はこぞって外観を整えようとする訳ですが、それでは知性を表現出来ませんし、知性を知ること出来ません。

大自然の何処に知性があるかは、大自然の活動をよく観察して、その中に知性が存在することを知らうとする姿勢が重要だということでしょう。

128 All nature is expressing intelligence in varying degrees, for there is not a form, even a grain of sand, that does not express the purpose for which it was created, even better than man. A blade of grass as a tender shoot will come through the hard crust of the earth as it uses the power of the cosmos and obeys the intelligence that directs it. Yet man finds it difficult to penetrate a hard surface.

128 全て自然は様々な程度に知性を表現しています。何故なら形有るものはどれ一つ、砂粒一つでさえ、それが創造された目的を表現していないものはおらず、人間以上に良く表現しているものさえいます。一枚の草の葉は、柔らかな新芽の時、地面の硬い塊を貫いて現れますが、それは宇宙のパワーを用い、それを導く知性に従っているのです。しかも人間には硬い地表を貫くなどということは困難であることが分かります。

【解説】

本項は前項に引き続いて私達が大自然の知性を如何に観察すべきかを示しています。

例として揚げられているのは草の新芽が硬い地面から出て来る様子です。これについて思うことは庭の雑草の勢いに関する事です。夏場はとりわけ草の繁茂する勢いは強く、草むしりは大仕事になります。この雑草問題は植物が持つ生命力の力強さをよく現しています。こうした日常の植物の営みの中に私達は宇宙を貫く生命力の力強さを学び取らねばなりません。草むしりであっても、これら植物は人間以上に宇宙の知性の命ずる指示に従って、その持つ力を最大限に用いて日常を生きていることに気付くことが出来るからです。



129 With all of the intelligence we have today, no man can give the exact answer of how an apple or any fruit became such from a flower. This shows us that as great as man's intelligence is, it is still puny compared to what is manifesting in nature, the expression of the Creator.

129 今日、私達が持つ知性の全てをもってしても、誰一人として一つの花からりんご、あるいは何らかの果物がどのようにしてそのように成るのか正確な答えを出せる者はいません。このことは人間の知性が偉大だとしても、創造主による表現、自然における現れと比べればそれは依然としてちっぽけなものであることを示しています。

#### 【解説】

私達動物の生命はことごとく植物に依存しています。私達の食するもの全ては植物がその種から成長して得たものばかりであり、それら植物が生育できない気候の下では、私達は生きて行くことは出来ません。

特に重要なのは穀類ですが、そのありがたみは現代の私達より先の世代の方々が戦争中の食糧難で経験した筈です。

全ての動物がその生存を植物に依存している訳ですが、実際私達は目の前の食べ物の優劣には関心があるものの、本文にあるように花から受粉して実を結ぶまでの植物の活動について関心を持つ者は少ないのではないのでしょうか。ここにも私達が結果だけに目を向けていることが分かります。

130 Luther Burbank expressed himself well when he said that nature gave him the knowledge of how to improve upon vegetation. He stated that he was working with the Creator, and through His creation he saw Him face to face. Man will never be free from the drudgery he now is enduring, and the confusion in which he finds himself, until he returns unto the true teacher, the conscious director of all creation. We live in and are a part of its manifestation.

130 ルーサー・バーバンクは、自然が自分に植物に対する改良の仕方の知識を与えてくれたと言ってその実態を良く表現しました。彼は創造主と共に働いていることや、創造主の創造を通じて彼は創造主を間近に見ているとも述べていました。人間は真実の教師、すべての創造物の意識の指揮者の元に帰らない内は、現在耐え忍んでいる骨折り仕事や自分自身の混乱から決して自由になることは無いでしょう。私達は創造の現れの中に生き、その一部であるからです。

#### 【解説】

昔、若い頃、機会があって米国に渡った時、カリフォルニアのサンタローザのルーサー・バーバンク記念公園を訪れたことがあります。ルーサー・バーバンクはご存知のようにエジソンと同世代の植物育種家で、日本でもアイダホポテトやシャクタデイジー等の品種を造り上げた人物として知られています。

数多くの伝記が残されていますが、その中には何千何万という株の試験栽培農地を歩く中で、バーバンクは迷うことなく適切な株を取り上げ、選別を行った等、エピソードが残っています。他者から見ると何故そのように多くの株から優れたものが分かるのは、不思議に思われていたとのこと。しかし、それも本項に示されているように、宇宙的な印象に従った創造主に共鳴した行動であるとも言えることでしょう。

当時、サンタローザ市役所の方の案内でバーバンクが使用していたノートを見せてもらったことを思い出します。結局は後継者は居らず、その手法はバーバンク一代限りの育種に終わった訳ですが、これも今日思い返すと、宇宙的な印象に従うことが容易ではないことの反映でもあるように思われます。

131 It is not the prayers, the mantrums or the meditations that will bring this to us. But a re-birth into a fully conscious being of cause instead of the mental effect. In other words we must reverse the process of our learning. Instead of being mentally aware as an ego of the mind the mind must become aware of consciousness, as it has in the past of itself. For conscious awareness is the key that unlocks the storehouse of knowledge to the mind. It is the link between the Creator and creation.

131 このことを私達にもたらずのは祈りでもマントラでも瞑想ではなく、心による結果に代わって因による完全に意識的存在への生まれ変わることなのです。言い換えれば、私達は自分達の学習の過程を逆転させなければなりません。即ちそれまでの自分自身のように、心に属する自我として認識するのではなく、心は意識に気付く必要があるのです。何故なら意識への気付きは心に知識の貯蔵庫を開く鍵であるからです。それは創造主と創造物との間をつなぐ環（きずな）なのです。

### 【解説】

前述のルーサー・バーバンクのように各自の日常の中に宇宙的意識を取り入れる為には「生まれ変わる」程の一大変革が必要であると本項は説明しています。

即ち、これまで自分が頼りにして来た一切のものを一旦、切り離して宇宙的な印象に自分の拠り所を移す必要があるとしているのです。その為に必要なことは「祈り」や「呪文」、「瞑想」のような日常を離れた「行」は一切不要であると説かれています。唯一、従来自分の心に頼っていた姿勢を意識という目に見えない因に置くことを求めています。

言い換えれば、宇宙的印象の存在がその持つ力を自らの進む拠り所として大切にすることかと思われれます。自身の中にあるこの存在を大切に、それを根本に自身の生き方を転換する、即ち印象（インスピレーション）中心の生活に改めるべきだという訳です。

132 Once man realizes this and makes daily use of it, he will no longer complicate things and he will feel himself one with his creator.

132 一度、人がこのことを悟り、それを日々活用すれば、以後は物事を複雑化したりすることはなく、自分自身が創造主と一体になっているように感じることでしょう。

**【解説】**

結局、私達のこれまでの物質中心、結果依存の基本概念を改質する為には、何か一度特別な「行」をすることではなく、少しでも日常的に応用して行くような蟻の歩みが必要だということです。

何よりも自らの体験こそが重要である訳で、少しずつ向上に向けた体験を積み重ねることによってのみ、進化が達成されるという訳です。

その為には、毎日何らかの方法で、自らが宇宙的印象に従っているかをチェックし、自らの関心を宇宙的側面に向け、日々の行動をチェックする姿勢が重要となります。

133 The Venusians and others have done this, thus enabling them to advance as they have. They do not fight nature - but blend with it by understanding its laws. For this reason they honor all manifestations including their planet, as a Divine creation. They live the thought that a creator could not create anything lesser than himself. And with this feeling towards all nature they see Divinity expressing everywhere.

133 金星人や他の人々はこのことを既に達成しており、このことがそのように進化することを可能にしています。彼等は自然と戦うことはせず、その諸法則を理解することによって自然と溶け込むのです。この理由から、彼等は彼等の惑星をも含め全ての創造物を神聖なる創造作用の一つの現れとして敬います。彼等は創造主は自分より劣ったものを創造できないとする思想を実践しています。そして全ての自然に対しこの感覚を持つことで、彼等はあらゆる所に神聖の現れを見るのです。

#### 【解説】

ここでは進化した他惑星人が自然を見る際の姿勢を私達に明かしています。そして何故、彼らはあのよう  
に進化した社会を形成出来たのかが明かされています。

この地球では、これまでしいたげられた民衆が支配者階級を殺戮し、革命を起こして来ましたが、それ  
も問題の解決にはならず、結局は人々は新たな苦難を味わい、再び政権を覆す等々の歴史を繰り返して  
います。

一方、他惑星人にあっては、自然を創造主の現れとし更には人間を含めて創造物が持つ精緻な働きを洞  
察することによって、文字通り創造主を自らの生きる糧として、尊崇する生活を営んで来たのです。そ  
れこそが私達地球人と他惑星人との違いとすることが出来るのです。

134 As Luther Burbank said, they see the Creator face to face. Thus they learn the relationship and purpose of all manifestations serving each other and thereby serving the creator.

134 ルーサー・バーバンクが言ったように、彼らは創造主に直接対面しています。彼らはそのようにして互いに奉仕し合い、そうすることで創造主に仕えている全ての創造物の相互関係と目的を学ぶのです。

【解説】

再びルーサー・バーバンクの話に戻れば、彼は実際、直接的に創造主と対面していた訳で、目の前に創造主の存在を認識し、その助言を得ていたという訳です。

植物と会話し、トゲの無いサボテンを生み出したり、巨大なポテトを生育させたりするバーバンクの業績はこうした創造主（宇宙の因）との交流、言い替えれば宇宙的印象と同期する中で、必要な知識を得たと言えるものです。

このように宇宙的印象は絶えず私達を進歩させる方向に私達を導く、暖かい存在と言えるのです。

135 In the next lesson we will explain this relationship. It is important to understand if confusion is to be eliminated. All that is asked of any one is to become more and more conscious of consciousness which is the true self behind every act or thought. In plain, give the consciousness the recognition you have been giving the ego mind, in everything you do or see. Be aware of the invisible intelligence behind every act and word. By doing this it will eventually become automatic for you.

135 次の教課ではこの関係を説明しましょう。混乱を取り除く為にはそのことを理解することが大切なのです。誰に依らず求められていることのすべては、あらゆる行動や考えの背後にある真実の自己である意識をもっともっと意識するようになることです。平たく言えば、あなたがこれまであなたが行ったり見たりするすべてにおいて、エゴの心に与えていた認識を意識に与えよということです。あらゆる行為と言葉の背後にある目に見えない知性に気付きなさい。こうすることによって遂にはあなたはそれを自動的に行えるようになるでしょう。

### 【解説】

本項は私達に新しい生活習慣を身に付けよと説いています。即ち、従来 of 自らの心に頼った生活でなく、あらゆる行動や事物の内側にある因とも言うべき印象波動に気付き、“意識”と表現される心境を重視することです。

目に見えない（即ち、結果として未だ現れていない段階の）想念状態を大切に、自らの想念をチェックし、いつも宇宙的であるように自らを統制することです。その結果、これら想念に同調する様々な構成要素が一斉に私達の同調する想念を実現する方向に動き出すことになり、“思いは実現する”ことになる訳です。もちろん、私達の希望は宇宙的な幸福であり、私達の心の中には真に願うもののみを受け入れるべきことは言うまでもありません。

136 When you begin to enjoy and understand a broader field of life you will know that you are progressing. And ideas and thought will be coming faster than you have ever known before. Do not question anything from the standpoint of disbelief, but make an analysis of every thought and act to see if it was a premeditated mental reaction or a conscious one. And where it fits into your life in relationship to others.

136 あなたは自分がより広い生命の分野を楽しみ、理解し始めていれば、自分が進歩しつつあることが分かるでしょう。そしてアイデアや考えがこれまでに無い程、速く浮かんで来ることでしょう。何事にも不審の念に立って疑問を投げかけてはならず、あらゆる想念や行動をそれが前もって考え出された心の反応なのか、意識によるものなのか、他との関連においてあなたの生活の何処に当てはまるかについて分析することです。

#### 【解説】

自分が果して進化しているか否かはご自身が良く分かる筈です。進歩の途を歩んでできる場合は明らかにかつての自分に比べて生活の質や抱く想念のレベル、世間との関係その他あらゆる側面に向上の跡が見えるからです。

このように本講座は学習者の皆さまご自身の為に有益なテキストであり、各々自らの生活の中に各自の理解を取り入れることによって、成果をご自身に取り込むことができます。

その為には、何か特別な書物や「行」を用いることは必要でなく、日常的なご自身の心の反応と宇宙的意識の両者を観察し、各々の違いを学ぶことのみが必要だという訳です。



137 Keep your mind as much as possible on the finer qualities of life, as you would on a fine quality of music. And if you do this daily you cannot help but make progress.

137 あなたの心を精緻な音楽に耳を傾けるように、生命のより精妙さに関心を持ち続けさせなさい。毎日これを行えばあなたは進歩せざるを得なくなります。

【解説】

ここでは著者から私達に、どうしたら宇宙的生活に進めるかについて、重要なヒントを授けています。即ち、日常生活を粗雑なものや単調的なものとせず、努めて精緻な音楽を鑑賞するよう、あらゆる物事を丁寧に、また静かに落ち着いた姿勢で観察せよとしているのです。

こうすることによって、私達は日常生活の中からも十分、宇宙的な視野やセンスを養えますし、自らを進化させることが出来る訳です。言い替えれば、学ぶべき素材は私達の周囲に十分用意されており、その音色（印象波）を聞こうとするかどうかに掛かっているということです。

SCIENCE OF LIFE - STUDY COURSE

LESSON FOUR

The Relationship of All Creation

138 In the last lesson we stated that we would explain the relationship of all creation as simply as possible in order to eliminate confusion. We will deal with the many kingdoms that serve man. For without each he could not live and the Cosmic Plan would not be complete.

生命の科学—学習コース

第4課

創造物すべての関連性

138 前課では混乱を取り除く為に出来る限り単純に創造物すべての関連性を説明しようとして述べました。私達は人間に奉仕する数多くの王国について取扱うこととなります。何故なら、各々の王国が無ければ人は生きることが出来ませんし、宇宙の計画も完全にはならないからです。

【解説】

あらゆる創造物が互いに関わり合った中で生存していることを本課で学ぶこととなります。本文では「王国 (Kingdom)」と表現されていますが、これは、鉱物界、植物界、動物界等と称される分類学上の世界をも意味するもので、これら全てのものが互いに繋がっていることを示唆しています。

即ち、私達は単独で生き、存在しているのではなく、様々な異なる生きものたちと互いに関係と保ちながら暮らしているという訳です。この理解こそ目に見えない万物の相互関係、相互依存の姿を学ぶことであり、私達の視野を因の世界まで拡張することでもあるのです。

139 It is man's duty as the highest expression of intelligence to understand all of life's phases in relation to himself.  
139 英知の最高位の表現物として自分自身との関連におけるあらゆる生命の側面を理解することは人間の義務です。

【解説】

上に立つ者の務めとして下位にある者をよく知ろうとし、理解しようと努力すべきことは、何事にも当てはまる訳で、民衆を理解しようとしないう王様はやがては民衆から見放されます。

同様にあらゆる創造物の中で最高位にある人間は、このまま他の創造物についての関心を失い、顧みようとしないければ、早晩その人体を構成する分子・原子館の反撃を受け、滅びてしまうことも当然の帰結です。

それ故、彼らからの恵みを受ける私達は自らの身体を構成する要素を含め、周囲に存在するあらゆる構成物に関心を持ち、それらを慈しみ、その役割を学んで行く義務があるのです。

140 For analysis we will start with the invisible gases which seem to our understanding almost nothing. But within this kingdom are groups that vary in consistency and purpose. And from these come the many forms, as they solidify.

140 分析の為、私達の理解にはほとんど何も無いように思える目に見えないガス類から話しを始めることにしましょう。しかし、この王国の中にはその密度や目的を変化させるグループもあります。そしてこれらが凝固する際、それらの中から数多くの形が現れます。

#### 【解説】

私達の目の前に有って、しかも目に見えない存在は大気であり、気体がそれであると言えます。この気体について私達がより深く知覚出来れば、私達は因の領域にまで自らの知覚力を拡げることが出来る訳です。

また、本文では更に、この気体の状態からあらゆるものが生まれると説かれています。まさに目に見えないという意味で”無”から、目に見える存在としての”有”が生まれているという訳です。

141 In the gaseous state the highest activity exists. And the gases continuously combine and separate to bring forth the different combinations within the kingdom. Some combine and slow up their action and continue to do so until they become a form. In the first part of the slowing stage they become liquids which we classify as chemical elements. Thus in the liquid stage one chemical element mixes with another and creates phases that are different than they were originally.

141 気体の状態の中に最高レベルの活動が存在します。そして気体達はその王国の中で常に結合し分裂して異なる結合をもたらします。あるものは結合しそれらの行動を緩め、それを続けることによって遂には一つの形あるものになります。緩やかになる最初の部分では、私達が化学の要素で分類するところの液体になります。このように液体の段階で化学要素は互いに混じり合う結果、それらが元にあったのとは異なる諸側面をつくり出します。

### 【解説】

昔、学生の頃、気体分子運動論というものを学んだ覚えがあります。風船の中の気体が示す”圧力”は各分子が運動の結果として風船の壁にぶつかる際の衝撃を示しているということであったかと思えます。即ち、私達は気体が高速で動いていることの証として気体の圧力を感じているのです。一方で、本文では更に進んで万物がこの世に生まれ出る際の最初の段階は気体であるとしています。創世記にあるように、世の中の始原の時、全ては気体であり、そこから次第に運動量が減少するにつれて液体、個体と形態が変化して行ったという訳です。この間、様々な要素が互いに結合し合って、より大きな分子へ移行したと説明しています。

こうした宇宙空間における気体の活動が創造の世界を生み出しているという訳ですが、宇宙を理解する為に私達は目の前の何も見えない空気の中にそれらの活動の一端を知覚する必要があります。

142 Through this mixing process extreme heat and extreme cold and the many variations between result as the action continues. And some combinations of gases and liquids cause mild or violent combustions. But out of these come the solidification of liquids that are composed of gases and parts of matter. But they are so fine that we have not as yet been able to make a microscope or instruments able to detect them. Yet they are there, and have to be in order to produce what we know exists on this planet.

142 この混合の過程を通じてその活動が継続するにつれて、極端な高温と極端な低温、そして様々な中間領域が産み出されます。そして気体と液体の内、いくつかのものの組み合わせによっては、穏やかな、あるいは荒々しい燃焼を引き起こします。しかし、これらから気体と物質の一部からなる液体の固化が起ります。しかし、それらはとても微細な為、私達はそれらを検知できる顕微鏡や装置を作り上げることは未だ出来ていません。それでもそれらはそこに存在しており、この惑星で私達が知る存在するものを造り出す為にはなくてはならないのです。

### 【解説】

本項は宇宙空間において様々なガス状物質が互いに反応し、その結果、生み出される様々なエネルギーを通じて、気体がやがて液体に、更には固体微粒子に成長する様子を述べているものと思われます。

このような基本的活動は絶えず宇宙空間或は私達の身の回りの空間で行われているものであり、それら目に見えない気体分子が万物の源という訳です。このような話は私達のこれまでの常識とは異なる内容ですが、夜空に生じる雷等についても、プラズマと呼ばれる極めて活発な状況が時として地上でも生まれるように、まだ私達の知り得ない精妙な世界が空間には存在するということでしょう。

143 So we naturally assume that all planets and forms are made of very much the same materials. And they vary only in size and fineness or coarseness of structure.

143 ですから、私達はおのずと全ての惑星や形有るものはとても似た物質から成り立っているものと考えています。それらは構造における大きさ、繊細さや粗さが異なっているに過ぎません。

【解説】

宇宙空間にある全てのものは皆、同じ源泉から生まれている訳で、他惑星や恒星も基本的には大差の無い状況であることは容易に理解出来ます。

しかし、一方で長年私達は自分の棲む地球だけが特別な惑星と考えて来ましたが、宇宙について学ぶにつれて、それらの概念も早晩、より普遍的、友好的なものに改められることでしょう。

今日ではもはや他国との戦争を通じて領土拡大を目指すような古い考えは捨て去られ、より友好的・調和的な生き方が模索されているように思われます。何よりも地球自体が危機的な環境条件、自然条件に至っており、他国を葬り去る兵器を開発することよりも優先する事態が目の前に迫っているように思うからです。

144 At this point let us go back and analyze, or speculate on what the steps would be to build a form embodying all of the elements necessary for self reproduction.

144 ここで自己再生に必要な要素全てを体現する形有るものを作り上げるのにどのような段階があるかについて振り返って分析し、また考察して見ましょう。

【解説】

私達の身体から惑星自体をも含めて、あらゆる形あるものがどのように形成されたか、私達は先ず考察する必要があるのです。前項まで説明されて来た通り、私達は宇宙の始原とも言えるガス状物質から創造された訳で、その具体的構成要素は惑星上のもの全てが同じ起源となっており、彼ら他惑星人達の言う”兄弟達”という表現が当てはまる訳です。

また、輪廻転生の仕組みから考えても、私達各人の身体を構成する分子・原子は膨大な時間経過の中で互いに混合・融和を何度も経験しており、宇宙全体としても均一な存在になっているのかも知れません。

私達各自の由来や身の回りの形あるものが、どのような経過を経て今、そこにあるのかを考えることは大きな意義があるのです。



145 One of the planets of our system would be a good place to start. As it represents one of billions of planets which in turn produce the many forms borne upon it.

145 私達の太陽系の中の一つの惑星は話しを始めるのに良い例となるでしょう。何故ならそれは、何十億もの惑星を代表しており、その後はその上に多くの形有るものを産み出すものだからです。

**【解説】**

先ずは私達の棲む地球について考察せよと説いています。実際には地球は宇宙においてはやや特殊な惑星となっていますが、私達にとっては、その歴史は如何に私達地球人が責任があるかを自覚する上でも地球について考察することは重要だということでしょう。

母なる大地として、この惑星が如何に私達に必要な糧を与え、生きもの達を育てているかが十分に分からない限り、真の理解は疑わしいものです。

146 Now let us visualize the steps of creation into form when the liquids begin to solidify by slowing up their action within the liquid kingdom as the gases did to form the liquids. For once the liquids begin to solidify they vanish just as the gases did. Even though they are ever active in the pattern of creation.

146 さて、気体が液体を形成したように、液体の王国の中でその活動を緩慢にし液体が固化し始める際の形有るものに至る創造の歩みを思い描いて見ましょう。何故なら、一端、液体が固化し始めるとそれら液体はガスの場合と同様に消滅するからです。しかしそれでも、それらは創造の形式の中では依然として活動を続けているのです。

#### 【解説】

気体分子運動論によれば気体分子の運動速度が最も大きいことは明らかで、固体分子でさえも微細な震動をし、金属原子においては周囲の電子は互いに隣接する原子の間を自由に動き回っているとされています。

また、一つの相（気相、液相、固相）から、別の相に形態が変わる時、多くはそれまでの姿からあたたかも消えたように見えるものです。それは焚火の際、木々を構成していた炭素その他の成分が、燃焼反応によって熱や炎を示す一方、目に見えない気体として目前から消失するのと同様です。

このように著者は自然変化の中で特に気体から液体、液体から固体への形態の変遷を通じて、創造作用を観察せよとしているのです。

147 This is a good example of what takes place : When we look into a beautiful clear sky, we do not see anything but the sky. Yet we know that between us and the blue are layers and layers of gases such as oxygen and hydrogen, etc., that we do not see. But once they slow up their activity a cloud will appear. And once it slows up its activity it may then reactivate itself and become totally invisible as it returns to its invisible gas. Yet even here we may speculate that some change has taken place among the original gases.

147 起っていることの良い例がこれです。私達が美しく澄んだ空を見入ったとしても、私達にはその空しか見えません。しかし、私達は私達とその青い空の間には私達には見えない酸素や水素等のガスの幾重もの層があることを知っています。しかし、一旦それらが活動を弱めれば、雲が発生することでしょう。そしてその雲が活動を弱めたとしても、その後再び活動を活発化し、目に見えない気体へ戻り、完全に見えなくなってしまうかも知れません。それでも私達はその元の気体の間で何らかの変化が起ったと考えるかも知れません。

### 【解説】

本項での記述は、私達が丁度、夏の空を眺めている際に経験することでもあります。巨大な積乱雲が夕方近くに発生しますが、その際、私達は本項と同様な創造の世界を見ることが出来ます。

即ち、私達が見る雲の塊は微小な水滴の集まりであり、その雲の内部は今までの気体水蒸気が微小は液滴に変化している場でもあるのです。もちろんそれらは上昇気流の中、空中に留まっていますが、やがてそれらの微粒子が各々集結して雨滴となって、地上に降り注ぐこととなります。

それらの仕組みは既に私達が学んでいるところですが、著者は私達にこうした一連の活動を自然界の中に知覚せよと説いているのです。

148 But should the cloud get heavier by continued slowing up of its action the atmosphere will begin to feel moist for now the gases are coming into a liquid state and moisture will start dropping to earth, which is the second kingdom in action.

148 しかし、雲がその活動を減じ続けることによって濃密になって行けば、大気は湿気を感じるようになるでしょう。何故なら今や、ガス類は液体状態になりつつ有り、水分はやがて地上に落下しはじめることでしょう。それは活動する第二の王国のはじまりなのです。

#### 【解説】

最近では大気中の雨滴をレーダーで検知して雨を遠隔監視する気象サービスも増えています。その画面からも分かる通り、雲の存在が必ずしも雨をもたらすものではないことが分かります。

雲の中の微細な雨滴の密度が降雨をもたらす雲であるか否かを決定する訳です。

一方、遠方から空を眺めると遠くの雲の下に直線状の形が見える時がありますが、それは当地ではにわか雨が降っている姿なのです。こうした毎日の天候の現象は私達に日々、天空で起こっている創造活動として私達は積極的に観察し、自分の知覚力を高める訓練の場としなければなりません。

149 In order to clarify what we mean we can use the illustration of the creation of form when liquids transform into solids. A drop of water placed on dust will absorb the dust unto itself. And if a small amount of water is allowed to move slowly over dust it will absorb so much that the liquid vanishes and a mud ball takes its place. It is no longer liquid, but moisture that holds the dust together to form a sphere. Should there be enough liquid to absorb all of the dust that might be available there is no saying how large this sphere could become.

149 私達の意味するところをはっきりさせる為、液体が固体に変容する際の形あるものの創造についての例を用いることにしましょう。塵の上に載せられた一粒の水はその上に塵を吸収させます。そしてもし、小さな水玉が塵の上をゆっくり移動するようにさせたら、それは塵を最後には液体が見えなくなるまで吸収し、遂にはそれに代わってひとつの泥玉ができることでしょう。それはもはや液体ではなく、球体を形作る為塵を繋ぎ止めている水分なのです。もしすべての塵を吸収するに十分な液体があれば、この球体が何処まで大きくなるか誰も発言することは出来ません。

### 【解説】

水と乾いた土から泥団子が出来る中で、私達は出来た泥団子を形あるものと認識しますが、実際には水が泥粒子に吸引されて泥粒子を繋ぎとめる水分の役割を果たしている訳で、水自体が消失したのではありません。

同様に私達の身体も微小な細胞からなっている訳ですが、それらは互いに結びつき合っている為、私達の身体が成立していることとなります。互いの細胞同士を結びつける機構はよく知りませんが、そこに支障が起こると膠原病と称される難病の症状が出ると言われており、これらの仕組みは私達が未だ十分な知識の無い重要な部分かと思われます。

150 All of the particles of dust are made up of various gases which are capable of producing minerals as well as germs or seeds. And these can produce other forms once the proper conditions prevail. From the first kingdom to the present, activity continues in varying degrees that produces the changes.

150 塵の全ての粒子は様々なガス状物質から成り立っており、そのガス状物質は鉱物や胚や種子等を造り出す可能性を持っています。そしてこれらはひとたび適当な条件が広がれば、他の形有るものをも造り出すことができます。この最初の王国から今日まで、変化を造り出す活動が様々な度合に続いているのです。

#### 【解説】

本項<sup>k</sup>で著者が言う塵 (dust)は何を指しているのか、よく考える必要もあるでしょう。本文の内容からすれば、宇宙塵とも呼べるような宇宙空間を漂う微細粒子といったイメージかと思われま

す。結局、宇宙の塵が宇宙の中の全ての形あるものの構成要素である訳で、それらの不断の活動が巨大な惑星から微小な生物まであらゆるものを造り出しているという訳です。

おそらく創造の作用はこのような微小粒子に対しては最も早く作用するのではと最近、考えるようになりました。近頃は世界中から天候異変の写真が報告されており、中にはキリスト像や劇的な情景その他象徴的な雲や電光の写真が毎日のようにインターネット上に掲載されています。

言い替えれば、来るべき激動の時代を象徴するもの、先駆けとしてこれら空中の微粒子達がそれをいち早く形として私達に見せているのかも知れません。

151 We know that wherever there is activity from any source, energy is the result. We classify this energy as friction, static electricity, or kinetic. And it can be seen when clouds are forming and moving at a good rate of speed and take on what we call static electricity. And when they have a full charge they discharge this force in the form of lightning. If there are two or more clouds discharging towards each other and cross lines of force like two electric wires, at the point of crossing they produce a flash and an explosion. And at this point a lightning bolt may be created. This bolt contains most of the minerals known on earth. Prior to the discharging of the clouds there was apparently nothing but empty space between them, yet there must have been something there at the point of crossing to create a lightning bolt. The necessary elements were there and only needed the proper conditions to solidify them into the form we call a lightning bolt.

151 私達は如何なる源泉からにせよ、活動がある所には、エネルギーが結果として生まれます。私達はこのエネルギーを摩擦や静電気、あるいは運動エネルギーに分類します。そして雲が形成され高速度で移動していわゆる静電気を取り込んでいる時、それを目で見ることができます。そして満杯まで充電されると、それらは電光の形でこの力を放出するのです。もし二つ以上の雲が互いに放電しあい、2本の電線のように力線を交叉させている場合、交叉する点において、それらは電光と爆発を生じさせます。そしてこの時点で稲妻が造り出されるでしょう。この稲妻は地球上で知られているほとんどの鉱物を含んでいます。雲からの放電の以前にはそれら（雲）の間には見掛け上からっぽの空間があるだけでしたが、それでも交叉する時点で稲妻を造り出す何かがあった筈です。必要な要素はそこにあり、稲妻と呼ぶ形態にそれらを固化する為の適当な条件だけが必要だったのです。

#### 【解説】

ここで著者は、従来の私達の言い方とは異なるような、運動とエネルギーの説明をしていることに注意したいと思います。

つまり、これまで私達は、潜在的なエネルギーがあるから、それに応じた運動が生じると教えられて来ました。しかし、ここでは、運動がエネルギーを生み出すとしているのです。

本項では積乱雲の中の猛烈な上昇気流が雨滴粒子間の静電気を生み、遂には稲妻のような高温プラズマの状態をもたらし、そのプラズマの中では、様々な分子・原子が生成されるような創造作用が生じていると示唆しているのです。この稲妻による気中放電については、その中で無機成分から有機物が形成されることは、地球の科学者も確認しているところであり、夏の夜空の電光は私達の身近にある創造作用の現れでもあるのです。

152 This alone is proof that space is made of the elements which produce the many forms known to man that depend only upon the combination of the elements. As stated before, it can be said that the birthplace of forms is in space. And the miraculous part is that the law known as disintegration can also be called the law of birth. For when disintegration takes place, regardless of the form, the elements of which it was made return to the original state.

152 このことだけでも空間が人間に知られている多くの形有るものを作る元素から成り立っており、それら形有るものはその元素の組み合わせのみに依存しているということの証しとなります。以前に述べたように、形有るものの誕生の地は空間にあると言えるでしょう。そして分解として知られる法則はまた、誕生の法則として呼ばれるべきであることは奇跡的なところです。何故なら、形有るものに関わらず、分解が生じる時、それを作っていた元素が元の状態に回帰するからです。

#### 【解説】

全ての存在が空間を源泉とする訳で、私達も遂には死を迎えた後は肉体は空間に帰還するという事になります。また、こうしたいわば分解の過程の一方で、それらの原子・分子が再び、形あるものとして再生される訳ですから、空間に戻ることは、再生の途を歩む一過程に過ぎません。

固体や液体が燃えて気体に移行する炎は、こうした物質の解放を私達に見せている訳ですが、その後は宇宙空間にある他の様々な原子・分子と混和して、新たな創造物の形成に進む訳で、これらの過程は切れ目がある訳ではないのです。



153 All gases contain the potential of repeating the cycle again and again. Everything in nature seems to be doing this. Which means that the gases in their original state seem to be constant, while the forms come and go. All of this takes place in a continuous state of action in varying degrees which we could call speeds or frequencies.

153 すべてのガス成分はその循環を何度も何度も繰り返せる能力を有しています。自然におけるあらゆるものがこうしているように見えます。つまり、形が行き来する一方でガス成分の元々の状態は変わらないように見えることを意味します。これら全ては私達が速度や周波数と呼ぶような様々な度合いの中、連続した活動状態として起っているのです。

#### 【解説】

私達は目に見えない気体の世界（即ち、”無”）から、形あるもの（即ち”有”）が生まれ、またそれら形あるものも、やがては”無”に帰還するという一連のサイクルの中に生きていくという訳です。

このような概念は仏教の輪廻転生が伝わるアジアにおいては容易に受け入れられる訳ですが、欧米社会においては受け入れがたい場合もあるかも知れません。しかし、本講座においては、生命や物質の連続性について、このような科学的なアプローチをしているのです。

アダムスキー氏の伝える他惑星社会の哲学は、物質の本質を分子・原子の微小世界にまで洞察した科学的見識に基づいているのです。

154 The primal force of creation, the Cause, or purpose, is constant. While the manifestations or effects of the cause are transitory. All of this is governed by varying vibrations, speeds or frequencies, which in their change constantly produce new effects. And each is important to the other, for no part could perform as it does in the absence of the others.

154 創造の主なる力、因、あるいは目的は不変です。一方、形の現れや因の結果はつかの間のものです。それらすべては振動や速度、周波数の変化に支配されており、それらの変化にあたって、絶えず新しい結果を生み出しているのです。そしてそれぞれは、他にとって重要であり、いかなる部分も他の存在無しには自らの任務を果たすことができません。

【解説】

本国では宇宙空間における絶え間ない活動の状況を私達に説いています。

その根本的な”因” (Cause)は創造主の意図であり、不変である一方、物質世界にあっては、各創造物の活発な運動の世界になっています。言い換えれば山川草木、空気の流れ共々絶えず活動の中にあって、しかも互いに影響を及ぼしあっており、変化の途にあるのです。

その為に、これまでの哲人はこれを”無常”と読んでいた訳ですが、本文から分かるように、それは個人の思い通りにならない世の中といったことではなく、もっと宇宙的な活動の世界であることを意味していると言えるでしょう。

155 I trust that we now have some light or understanding of the first kingdoms, and how it may have been possible for creation to take place from what appeared to be nothingness, into form manifestation. Yet we may go a little further and ask, where did the gases come from in the beginning? And what, or who, set the law of attraction and repulsion in action where the various gases either combine with or repel one another .

155 私達は今や第一の王国について、また、どのようにして一見何も無いように見える所から形有るものに創造が起こり得るのかについて、いくらかの光明あるいは理解を得ているものと信じています。私達は更に進んで最初にガス成分は何処から来たのかと尋ねるかも知れません。そして何が、あるいは誰が様々な気体が互いに結合したり反発したりする活動に親和や反発の法則を設けたのかと。

#### 【解説】

太古の人達は気中における分子・原子の存在は理解していなかったでありましょうし、現代の化学的知識もなかったことから、気体を文字通り、“無”と考えていたのかも知れません。

しかし、今日の私達は気体成分を分子の質量別に分析する機器も有しており、各ガス化させた物質の存在密度を測定することが出来るようになっていています。

このように現代では様々なガス状物質を把握できる訳ですが、それらガス状物質が何処から来たのかについては分かっておらず、ビックバン等の仮説が提唱されているに過ぎません。

おそらく、他惑星人社会では、より明確・具体的な知識が得られていると思われませんが、私達にとってはそれらの知識を求めるよりも、まずは自身の探求として宇宙の原初の姿を考えることが必要なのではないのでしょうか。

156 In the first two stages we find that some kind of intelligence as we call it, was the director behind the scenes.

156 この最初の二つの段階の中、私達がある種の知性と呼ぶものがそれらの光景の背後の指導者であったことに気がきます。

**【解説】**

こうした宇宙の起源への探求活動の中で、私達は因なる指導者を発見すると著者は説いています。即ち、気体物質をはじめとして、あらゆる物質の起源を探る中で、私達は万物の背後にある指揮者を発見するとしているのです。このことは大変重要で、私達が因を探求すればするほど、因には一定の意図があり、それに基づいて指示を出していることが分かるようになるというものです。因を探求するにつれて、私達は創造主の意図を理解するようになるという訳です。

157 Do we not classify intelligence on a basis of an expression or manifestation? Isn't it true that we judge a man's intelligence by how well he expresses himself or how well he produces something or behaves? And if he does not come up to the standards of society he is called a moron. Doesn't this manifestation which appears to be more orderly in bringing forth results, baffle men representing intelligence? I would say that it does, and we will notice this more as we go on. It shows that there is an overall Cosmic Intelligence as well as Cosmic laws that governs all creation. And this intelligence does not need a form as it embodies itself in all forms for various purposes. And all manifestations through the gases and mineral kingdoms will themselves to this intelligence except man.

157 私達は知性を表現や創作を基礎に分類していないのでしょうか。私達はその者が如何に上手に自らを表現するかとか、如何に上手に何かを造り上げるとか振舞うとかによって、その者の知性を査定しているということではないのでしょうか。そしてもしその者が社会の標準に達していない場合、その者はまぬけと呼ばれます。そういう意味では、はるかに整然と結果をもたらしているように見えるこの創造作用は知性を代表する人間を当惑させてはいないのでしょうか。私はそうだと思いますし、私達は先に進むにつれてそのことに気付くことになることでしょうか。全ての創造物を支配する宇宙の法則とともに総体的な宇宙の知性が存在するのです。そしてこの知性は様々な目的の万物の中に自らを体現している為、ひとつの形を持つ必要はありません。そして気体や鉱物の王国の中のすべての創造物は、人間を除いてこの知性に自らを委ねているのです。

#### 【解説】

私達が”宇宙の知性”と呼ぶものがどのような働きをしているのか、本項は私達自身に改めて考察するよう求めています。

即ち、私達が宇宙の知性（因）を観察する上で、何をどのように見るべきかが重要なのです。つまり、その対象が知性（intelligence）を有しているかどうかは、外見では計れないこともポイントの一つです。問題は対象が如何に繊細、かつ無駄なく動作を全うし、その行動に美しさがあう等、芸術性を見る時、私達はそれを知性が溢れるものとしている訳で、それと同じ視点で対象を観ることが求められている訳です。

昔から文化を担う様々な芸術家が尊ばれたように、私達は身の回りから広がる宇宙の活動全てをこれと同じ視点で観察すべきということです。

158 We have the evidence that all matter that does lend itself, is in a constant state of existence. And is everlastingly being refined into a higher state of expression or service to all parts, fulfilling the Cosmic Purpose. We know this to be true for the earth made of matter has existed for billions of years and has gone through many changes. Yet human civilizations have come and gone. One continues under the will of a creator, while the other ends through the will of the mind. This does not mean that the matter of which man is made ends. Nor does it mean that the consciousness ends. But the ego mind has an end when it insists on acting independent of the Cosmic Intelligence. For the only things that continue on are Cosmic Consciousness and matter, through the process of constant action and newness.

158 私達には自らを貸し与えているすべての物質が常に変わらぬ生存状態にある証拠があります。そしてそれは宇宙的目的を成就する為、より高い表現状態やすべての部分に奉仕する中で、永続的に洗練されているのです。物質から出来た地球が何十億年も存在し、多くの変化を経て来たことにより、私達はこれが真実であることを知っています。しかし、人類の文明はこの間、去来して来ました。ある文明は創造主の意志の下、続きましたが、他は心の意志を経た結果、終わっています。このことは人間を作っている物質が終りになるということを意味するものではありません。また、その意識が終ることを意味するものでもないのです。エゴの心が宇宙的英知から独立して行動することを主張する時、終末を迎えるのです。何故なら、永続する唯一のものは永続的な活動と新鮮さの過程を通じた宇宙意識と物質であるからです。

#### 【解説】

本文を読んで感じることは、1952年他惑星人社会がアダムスキー氏と公式に会見し、地球人に他惑星文明を知らしめた当時、世界は核爆弾開発競争の真っ只中でした。そして今日では”地球全体の気候変動”が大きな影響を及ぼす時代となっています。

これから先の地球の行く末は苛酷なものとなるのではないかと誰もが恐れていますが、それは文明全体の危機になるかも知れません。

これに対して今日ではもっぱら二酸化炭素排出の影響のみに焦点が当てられていますが、本当はそれ以外の様々な問題、例えば太陽系全体の変動や過去に放った放射性物質の影響等々が重なっているように思います。人々の放つ想念、怒りや恐怖その他、地上における争いも大きな原因となってる筈です。

そうした中、この惑星が果して存続できるかどうかは不明ですが、仮に亡びるとしても、個々の分子・原子には何ら影響は無く、宇宙の源泉に帰還し、再び新たな創造の役目を担うと本項は説いているように思います。

159 Yet even the human form has evolved because matter lends itself unto the Cosmic Will and keeps progressing. And the matter of which the human form is made has a certain influence upon the mind or ego. So the mind has progressed also to a small degree. Not because of its own will but because of the part that the body intelligence plays upon it.

159 しかもこの人体ですら、物質が自らを宇宙の意志に委ね、進歩を続けているが故に進歩して来ました。そして人体を構成する物質が心或いはエゴに幾分かの影響を与えています。その為、心もまた、わずかながら進歩してきました。心自身の意志の故でなく、肉体の知性が作用する部分の故にです。

#### 【解説】

私達自身が良く知るように、私達は決して順調な歴史の歩みを経て今日に至っている訳ではありません。しかし、太古の人類の骨格等を現代人と比較して見ると明らかに、現代人の方が洗練された骨格に思えます。

おそらくはある程度、穏やかな年月を経過する中で、私達はより柔和な顔つきになって行くのではないかと考えられます。私達各人の抱く想念がその者の外観をも変化させるものと考えています。

そういう意味では、私達が最終にどのような身体顔つきで死を迎えるかは、その人のそれまでの精進がそこに表現されるものと考えています。

160 i.e. Scientists have recently discovered that the memory of life's experiences are recorded within each molecule within the cells of a form. And each form of man is made of trillions of cells. And each cell in turn is made of thousands of molecules which carry a memory pattern of past and present action and a pattern for future action. These molecules are grouped for service to the many parts of the body according to the function of the part but all are interrelated. They not only carry the memory of the progress that an individual form and mind has made, but also the progress of all matter from the lowest conceivable stage to the present. This could be called the foundation of form growth guided by the memory molecules known as consciousness. This gives us a clue how a consciously alerted person who has learned to submit his critical mind to the obedience of conscious impressions that are given steadily by the molecules, can receive much information.

160 即ち、科学者は生命における体験の記憶はその身体の細胞内に記録されることを最近発見しています。そして人体は何兆もの細胞からなっているのです。そして個々の細胞は過去と現在の行動や未来の行動に関する記憶パターンとを運ぶ何千もの分子から構成されています。これらの分子群は肉体の多くの部分の機能に応じて各部に奉仕するようグループ化されていますが、皆相互に関連しています。それらは個々の肉体や心が成した進歩の記憶だけでなく、認識できる最も低次の段階から今日にいたるまでの全ての物質の進歩をも運んでいます。これは一つの意識として知られる記憶分子達に導かれた形有るものの成長の土台と呼ばれるべきものです。これは意識的に警戒状態にある人がこれら分子達によって絶えず与えられている意識的印象に自身の批判的な心を解き放つことによって、如何に多くの情報を得られるかがカギとなっています。

#### 【解説】

本項から、私達が発する一刻一刻の想念が身体の細胞を構成する分子・原子に記憶されることが分かります。また、それは同様に宇宙開びやく以来の様々な想念波動がこれら分子・原子の中に貯えられているということでもあるのです。

これらの知識は他惑星社会の知識であり、地球上ではこれまで語られることはありませんでした。しかし、想念波動が物質に浸透することは、私達が日常生活において留意すべき事柄でもあるのです。例えば、無数にある想念波動の中で好んで低レベルのものを心に入れることは不必要であるばかりか、有害でもあるのです。また、逆に努めて宇宙的な想念を選択して取り入れるようにすれば、益々健やかで有意義な時を過ごせる筈です。

そしてこのように高次の想念・インスピレーションを受け入れる為には、本文にあるように心を批判的な姿勢にしてはならず、因なる波動に対して寛容で受容的な態度を保つことが必要だということです。



161 We know something about psychometry that permits a person to hold a ring or a watch belonging to another and give the owner a reading. These people have schooled themselves to accept impressions that come, without any feeling of doubt. And these impressions come in vibrations from the molecules that have had the experience.

161 私達はある人物に他の者に属する指輪や腕時計を握らせ、その持ち主にリーディングを与える精神測定（サイコメトリー）について幾分か知っています。これらのことが出来る人々は如何なる疑問の感じを持たずにやって来る印象類を受け入れるよう自分自身を訓練して来ました。そしてこれらの印象はその体験を持った分子から振動としてやって来るのです。

### 【解説】

物質に想念が記録されることは重要です。とりわけ争いや悲しみが続く地球においては、それらに由来して人々が発した想念があらゆる物質に染みついているからです。このような低次元な環境は地球に棲む私達地球人が造り上げて来た結果であり、私達一人一人が向上しようとする中であっては、障壁とも言える存在であるのです。

しかし、このようないわば逆境の中にあっても、精進の硬い意志を持ち、自らの途を切り開く者には、自ずと創造主の支援も与えられるものと思われまふ。しかし、同時に私達は自分自身に取り入れる想念を絶えず見張っていて常に適切なもののみを受け入れるよう、注意しなければなりません。

また、一方、心を寄せて来た指導者の想念に少しでも近づきたいと思う中で、指導者の遺品を大切にすゝる気持が怒るのも当然のことでしょう。仏陀が亡くなってから仏舍利塔が各地で建立されたことや、クリスチャンがイエスの十字架を握りしめるのも、そうした心情に由来するものです。

162 We can say that these tiny memory molecules are actually conscious entities capable of maintaining the form and guiding the mind if the ego allows it to do so. They are the knowers of all that has ever been or is. This proves that the human mind once properly schooled can commune with all forms in nature. And mysteries regarding life would not longer prevail. And secrets and guess work would cease to be, for these tiny memory molecules have recorded all action.

162 私達はこれら小さな記憶分子達が実際、形有るものを保ち、もしエゴがそれを許すなら心を導くことができる意識的な実体であると言うことができます。彼等はかつて存在したあるいは現在存在する全てのものを知る者です。このことは人間の心は一旦適切に訓練されれば、自然にある全ての形有るものと親しく語り合うことが出来ることを意味しています。そうなれば、生命に関する神秘はもはやはびこることはないでしょう。また秘密や憶測の作業は終わりを遂げることでしょう。何故ならこれら小さな記憶分子群は全ての行動を記録しているからです。

### 【解説】

私達を形作っている物質の中に全ての記憶が収められていることは、これまで地球には無い概念です。また、各々の分子・原子が私達にその持つ情報を提供しようとしていることは重要です。つまりは、私達は自身の身体細胞からでも、また周囲にある様々なものから、絶えず新しい知識を得ることが出来るからです。

一度、このことを理解するや、例え自身は暗黒の牢獄に閉じ込められたとしても、何ら苦も無く、私達の想念活動は自由に宇宙空間を巡り行き、また精神的には何一つ不自由の無い暮らしが出来るというものです。

私達の周囲にはこうした宇宙の知性が満ちており、必要に応じてあらゆる情報を感知することが出来るのです。

163 This is the true Cosmic Self. This discovery has been made with the help of our space brothers many years ago, but not until now do our scientists realize its value and potential. And they named it DNA and RNA. Yet the space brothers have been using this knowledge for thousands of years. And they have applied it in their daily life by schooling their minds to be obedient to impressions coming from these memory carriers.

163 これこそが真実の宇宙的自我というものです。その発見は何年も前に宇宙兄弟達の支援によって成されましたが、最近まで私達の科学者達はその価値と潜在能力について認識して来ませんでした。それで科学者達はそれをDNAやRNAと名付けました。しかし、宇宙兄弟達は何千年もの間、この知識を活用し続けています。そして彼等はこれら記憶の運び手からやって来る印象類に従うよう自らの心を訓練することによって自分達の日常生活にそれを応用して来たのです。

#### 【解説】

本項では、主な記憶分離はDNAやRNAだと明かしています。これまで私達はこれら核酸成分をもっぱら遺伝物質であるとし、細胞分裂の際にそれぞれの遺伝形質を継承するものとして来ましたが、実際には、これらの遺伝物質こそ、記憶を運ぶ分子達であるという訳です。

即ち、これらの記憶分子達は、自らが属する細胞の果たすべき機能を統率する一方、その細胞を通過する想念波を記憶保存する大きな役割も持っているということです。

私達はこのように私達自身の60兆個もの細胞群に包まれて生きている訳で、これら優秀な分子群の助けを借りれば、本来はもっと有意義に暮らして行くべき存在であることが分かります。

164 DNA according to scientists is a master blue print which carries instructions of life. And anyone who has given thought to the creation of form life, whether of man or an insect, must admit that there is some kind of intelligence that directs the structure of the form. As there are no two identical forms, this suggests that there are minor changes in each case. And that the matter which is used in making the form must have a certain kind of intelligence in order to receive directions.

164 科学者達によればDNAは生命の指令を運ぶ設計原図であるとのことです。そして人間であれ昆虫であれ、生命体の創造に考えを寄せた者は誰でもその形ある者の構造を指揮するある種の知性が存在することを認めなければならないでしょう。また、全く同一な形が無い以上、各々の場合においてわずかな変化があることが分かります。そして形有るものを造る中で用いられた物質もまた、指示を受ける為にある種の知性を持っている必要があるのです。

### 【解説】

如何に優れた繊細な指示を出す者が居ても、その指示を理解し、指示通りに行動する者が居なければ、作品は生まれません。各細胞においてもDNA・RNAのいわば知性分子に応えるだけの知性が細胞内の各構成要素に備わっている必要がある訳で、要は全ての物質が生命活動を担う知性を有しているということです。

こうして考えると、私達は如何に恵まれた環境の中で暮らしているかが分かりますし、私達自身は何ら下積みの生活をする事なく、身体各部の細胞や自然界全体の無償の支援を受ける中で、幸せな生命活動の途を歩んでいることが分かります。

165 In the study of life, on other planets, half of the DNA would be considered the feminine part, and the other half the masculine. And there is constant relationship going on between the two parts which produces the messenger called RNA. And this carries the information of heredity or specific instructions, depending upon the type of a form. And as you can now see, there is a trinity involved. Two phases of DNA and one of RNA. You can also see that the two parts of DNA manufacture the RNA with a specific message.

165 他の惑星における生命の学習では、DNAの半分は女性部分、残りの半分は男性部分と考えられていることでしょう。そして、それら二つの間にはRNAと呼ばれるメッセンジャーを造り出す不断の関係があります。また、これ（メッセンジャー）は生命体のタイプによって異なる遺伝の情報や個別の指令を運びます。そうすると、既にお分かりのように、三位一体がそこに関連されています。DNAの二つの側面と一つのRNAです。そしてあなたは、二つのDNAの部分が特定のメッセージを携えたRNAを造り出していることも見るすることができます。

【解説】本項が執筆された時代から、これら遺伝物質に関する地球の研究は急速に進み、わずかな量しか存在しない場合でも、それらを増幅させて検出することが出来る等、技術的進歩は目ざましいものがあります。昨今の新型コロナウイルスのPCR検査等、私達の身近なものになっています。しかしながら、これらDNAやRNAに対して、私達は単なる物質としか捉えていないように思います。本来、私達自身の身体を造り上げる英知にも拘わらず、私達はそれらに対し敬意の念を持ってはいないのではないのでしょうか。その側面については、持っている知識は浅いものであったとしても、古代の人々の方が優れていたように思われます。現在、地球では”遺伝子組み換え”操作等、人間によるいわば神の摂理の改変が画策されることさえなされるようになり、私達地球人はそれらの知識を悪用する方向に進んでいることを危惧するものです。

166 Protons in a form are very important for the creation of a messenger. The germ called E in science, or COLI flourishes in the intestinal tract of any form, and is referred to as ribson. As every form must feed on something, the food must be converted into protons and other needs. The whole procedure is chemical, and apparently according to science, the ribson acts as a universal translator.

166 メッセージャーを造り出すのにその生物体の中の陽子が大変重要になります。科学でE 或いはCOLI と呼ばれる細菌（訳者注："Escherichia coli"、略称"E.coli"と呼ばれている"大腸菌"のこと）はどのような生物体でも腸管に繁殖し、リボゾームに関連し言及されています。あらゆる生物体は何らかのものを食する必要があり、食物は陽子やその他の必要物に転換されなければなりません。すべての手順は化学的であり、科学によればそのリボゾームは普遍的な翻訳者として活動しているとされています。（訳者注：原文の"Protons(陽子)"は"Proteins(蛋白質)"の誤記の可能性もありますが、そのままの訳としています。なお、原文の"ribson"は"ribosome (リボゾーム)"の綴り誤記と解釈しています）

【解説】 リボゾームはメッセージャーRNAの遺伝情報を読み取ってタンパク質を形成する反応を起こすとされています。また本文にあるように大腸菌ではそのような形質の物質が体内に詰まるとでも表現した方が良いのかも知れませんが、このような旺盛な増殖能力を持つ大腸菌は現代科学においても様々な有用物質を生産することすら行われているようです。大腸菌が本来、私達動物の腸内で盛んに増殖し、腸内の残渣物を分解して呉れていることは、注目すべきでしょう。最近ではこれら腸内細菌の働きこそ、私達が健康を維持する上で大変重要な役割を担っているということが分かって来ました。自らの身体細胞のみならず、そこに共生する多くの微生物のお蔭で私達が生きているという訳です。

167 Cells in a form are grouped for specific purposes. i.e. The cells used to make a heart could not be used to make a brain, etc. But each group is in harmony with the others to produce a manifestation of a perfect form for a specific purpose.

167 体内の細胞達は特定の目的毎にグループ化されています。即ち、心臓を造り上げる細胞達は脳やその他を造るのに用いられることはありません。しかし、各々のグループは特定の目的の為、完全なる肉体を現出させる為に、他と調和しています。

【解説】 DNAにより各人が特定されるように、身体各部どこの細胞をとっても、その遺伝物質DNAは同一である一方、身体各細胞はその臓器により異なり、本文にあるように心臓は心臓特有の細胞からなる訳で、DNAの塩基配列だけで細胞の形成が決まる訳ではなさそうです。心臓の細胞は分裂も増殖もせず、生まれてから同じ細胞が一生働き続けるとされており、特殊な細胞とされていますが、執筆当時、著者がこの特殊な細胞のことに言及していることは驚異と言えるでしょう。アダムスキー氏は実に様々な事柄に精通していたことに驚くばかりです。私達の身体はこのように多様な細胞がそれぞれの役割を果たす中で維持されているのです。

168 I use this portion of scientific discovery in relation to memory and heredity to show that this type of intelligence operates independent of the mind. But the mind must learn about it in order to cooperate. And in this way the mind will know what has transpired in the past and what is taking place in the present.

168 私は記憶と承継に関係するこの部分の科学的発見をこの種の知性が心とは独立して作用していることを示す為に用いました。しかし、心は協力する為にはそのことを学ばなければなりません。そしてこのようにして、心は過去に何が起ったのか、現在何が起っているのかを知ることでしょう。

【解説】 私達の身体細胞の中にあるDNAやRNAと呼ばれる遺伝物質が実は記憶や知識の継承とも関係しているのだと著者は説いています。実際のところ、現代の地球人の知識レベルはA, C, G, Tの4種の塩基がDNAを構成するという大変シンプルな要素からなる配列でしかないという程度しかありませんが、本当は更に複雑な情報・記憶を記録しているものと考えます。しかし、本来は私達自身、自らの細胞に問い掛け、その持つ知恵を学ぼうとする姿勢が大切な気がしています。”汝自身を知れ”という命題は、私達の細胞自身から学ぶべき事柄が大きいことを表現しているのです。



169 Now let me describe what I have seen on instruments and diagrams that the space people study on this subject. Their method is simplified and easier to understand than the way our scientists are presenting their findings. As an illustration let us use two parallel lines, one white, the other black. One is masculine and the other feminine and at certain intervals they cross each other in the form of a figure 8. And they are constantly active. Within the figure 8 they produce from seven to nine different combinations depending upon the purpose. After reaching nine such loops the messenger is born with a specific message. And it carries the blue print of what the next step is going to be but it does not separate itself from the past. This is where the memory is carried on. And memory is the only part of man or any form that becomes eternal. For as we know, man is not a man without a memory. And you can see that by this process the memory of the past is steadily connected with the experiences of the present. And all of this takes place independent of the world of man.

169 ここで宇宙人がこのテーマについて学ぶ際の装置や図表について私が見たものを説明したいと思います。彼等の方法は私達の科学者達はその発見を発表するやり方より、単純化され平易です。実例として2本の平行線を用います。一方は白、他方は黒とします。一つは男性、もう一つは女性であり、ある時間間隔でそれらは8の字の形に交わります。またそれらは絶えず活動的です。その8の字の形でいる間に、それらは目的に応じて7~9の異なる結合を作り出します。そのような9種の輪が出来た後、ある特定の伝言を携えたメッセンジャーが誕生します。そしてそれは次の段階は何が為されるかの青写真を携えています。それは過去から分離したものとはなっていません。ここが記憶が受け継がれる場所であるからです。そして記憶こそが人間であれ、いかなる形有るものが永続する唯一の部分です。何故なら私達は人間は記憶無くして人間ではないことを知っています。これで皆さんは、この過程により過去に対する記憶は現在の体験と常に繋がっていることが分かるでしょう。そしてこの全ては人間の世界とは独立して起っているのです。

【解説】 実際問題、遺伝物質DNAからどのようにして細胞内の各要素に指令を伝える伝令（メッセンジャーRNA）を造り上げるのか、実に本講座が執筆された当時、既に著者アダムスキー氏は、他惑星人社会から得た知識として分子レベルの極小世界で活発に行われている生命活動の様子を描いています。おそらく他惑星人社会では、このような分子の動きをこのように目に見える描写で表現しているということでしょう。また、このような分子・原子群の実際の活動について未だ地球社会では実用化に至っておりませんが、本項で示す所は、将来的にも私達地球人はもっと自らの細胞内で起こっている活発な生命活動について自らの事柄として学ぶべきであると示唆しているのです。

ジョージ・アダムスキー「生命の科学」第04課 段落170 [2021-12-13]

170 This is the reason that the Will of man must will itself to the Will of this process if it is to know what it has been and its reason for being. We bring this to you in relation to our present science which is only on the brink of this knowledge. And as stated before, the space people have known and used it for thousands of years. And if man is ever to know his true self, this knowledge is very essential. For within it lies the absolute certainty of life.

170 これが人間が過去どうであったか、またその存在の理由を知りたいとするならば、人間の意志は自らをこの過程の意志に従わせようとしなければなりません。私達はこのことをこの知識のふちにいるだけの私達の現在の科学に関連してあなた方に授けているのです。そして以前述べたように、宇宙人達はこれを何千年も以前から知っており、活用しています。そしてもし、人間が自分の真の自己を知るのであれば、この知識はとても必須なものです。何故ならその中に生命の絶対的な確実性があるからです。

【解説】 このように私達の自我（エゴ）とは関係なく、本来の生命活動を続けている各細胞内の遺伝物質を中心とした一連の活動は、私達の生命そのものを支えている訳ですが、私達の自我はこれらの事実について何らの関心がありません。唯一、関心を高めるのは、自身が病に罹り生命の終末が明らかになってからです。しかし、本項で著者が記しているのは、私達は積極的にこれらの各細胞内部で行われている知的活動についてもっと心を開き、関心を持って自ら教えを請うことであると指摘しています。私達が進化する為には何よりもその学習径路を辿る必要があるのです。

171 We all must admit that as mentalists we know little about what is going on in our bodies. But we do know that a certain kind of knowledge is operating through the body that knows what to do when the mind does not. So the mind has been accepting this on blind faith as an established fact. Yet it is the duty and privilege of the mind to learn all that takes place within the form if it is ever to have a peaceful existence. And thus fulfill the purpose for which it was created and eliminate the conditions brought on by confusion and fear caused by uncertainties. Then the mind would not repeat mistakes as it does today.

171 私達は皆、心至上主義者の私達は自分の身体で何が起っているのかほとんど知らないでいることを認めなければなりません。しかし、私達は心が知らなくても身体を通して何を為すべきかを知っているある種の知識が作用していることは分っているのです。ですから、心はこのことを確立された事実として盲目的信仰の上に受け入れて来たのです。しかし、心が平安な存在であり続けたいのであれば、形有るものの中で起っているすべてを心が学ぶことが心の義務でもあり、また特権でもあるのです。そしてこのようにすることが、その形有るものが創造された目的を成就させ、不安状態による混乱や恐怖によってもたらされた状態を取り除くことになるのです。そうなれば、心は今日のように誤りを繰り返すことはなくなるでしょう。

【解説】 実に私達の身体細胞の動きには無駄がありません。そればかりか、自然界の諸々の営みでは過ちというものがないように思われます。秋から冬に向かう時、木々はその葉を落とし、動物達に冬越しの寝具を提供する一方、動物達が好んで食べた木の実が彼等の糞とともに排泄され、肥料とともに新天地でやがて芽を出すことになる訳です。このような仕組みを誰が考え、誰がその教えを励行しているのか、自然観察をする中で、興味は尽きることはありません。おそらく動植物はこれら大自然の生態系の活動リンクを迷うことなく実行し、所定の役割を果たしていることでしょう。それらの一端を学ぶこと、こうした中で私達人間が果たす役割について学ぶことの重要性を著者は説いているのです。

172 You can see that the mind is seldom aware of the conscious intelligent operation within the form. For when we sleep the consciousness operates the form while the mind knows nothing. Thus proving that there is a form of intelligence which never rests. And the mind must unite with this intelligence in order to be the knower. Once this is done man will eliminate all the unpleasant ways of life he now endures. And he will know what goes on in every form known, and its purpose. And divisions will no longer cause mysteries.

172 あなたには心は身体の中の意識的知性活動についてまれにしか気付かないことが分かるでしょう。何故なら、私達が寝ている時も意識は心が何も知らない間にその身体を運営しているからです。このことは決して休むことのないある知性体が存在していることを示しています。そして心を知る者となる為にはこの知性と結びつかなければなりません。ひとたび、これが為されると、人は現在耐えているあらゆる不愉快な人生を取り去ることでしょう。そして全ての形有るものの中で起っていることやその目的を知るでしょう。そうなればもはや分裂が神秘をもたらすようなことはなくなります。

【解説】私達が自らの身体内部の諸活動を知り、その休まない働き手から知識を学び始める時、私達は本来の進化の途を歩むことが出来ます。この認識が最も重要であり、私達自身がそのことに目覚めれば、以降は私達を知る世の中はこれまでとは異なり、全ては生命や駆動に満ちたものであることが分かります。あらゆる対象物が生き生きと映え、私達がその中の一員として生活している喜びに満たされることでしょう。

173 The method that the space people use in working with this great intelligence is, to observe all forms with their consciousness instead of the mind. In plain they become conscious of the form as though they were the form, which they really are for nothing is separated from the whole. And in this way man as a mind blends with the whole.

173 この偉大な知性とともに関く上で宇宙人達が用いている方法は、心に代わって意識で全ての形有るものを観察するという事です。平易に言えば、彼等はあたかも彼等がそのものになったかのようにその形あるものを意識するようにするという事であり、実際、彼等はそのもの自身になります。何故なら何物も全体から分離することがないからです。またこのようにして心としての人間は全体と混和するのです。

【解説】本項は、実は著者が私達に相手を理解しようとする際の私達のとるべき姿勢を示しているように思われます。つまり、私達が相手を理解したいとする時、私達は相手の話や表情を見て判断しがちですが、他惑星人は自らの意識を用いて相手を理解しようとすると言うのです。言い替えれば、自らの意識を相手に融合させるという訳です。即ち、表面上の要素から判断するのではなく、相手と融合して理解するよう心掛けることかと思われます。相手の身体細胞の内部に蓄えられた想念波動を理解するという事でしょう。もちろん、対象はご自身でも自然界のあらゆる対象であっても良い訳ですが、私達にとって更に有益なのは、これまで地球を訪れた様々な導師について学ぶことではないかと思う訳です。彫刻家が仏像を彫る際も、木材の木の中に仏のイメージを描く中で似たような作業が行われているように思います。

174 There is no specific pattern that can be given by which man must work, as there are no two people alike. So no set formula is given in this course as in others. Just become awakened or aware of the conscious intelligence that is operating within your being. And eventually this will become habitual to the mind's way of thinking. And the mind and the intelligence will become a unit instead of two separate parts as they are today. This is the way the space people have developed and they now can commune with any form without words.

174 人がそれに基づいて取組まなければならないような特定の行動形式というものは授けられるものではありません。二人として同じ人間はいないからです。それ故、この講座においても他と同様、定められた形式は与えられません。只、貴方の中で作用している意識的知性について目覚め、気付くようになることです。そうすれば、遂にはこれが心が考える際の習慣になることでしょう。そして心と知性は今日そうであるような二つの分離した部分から一つの一体物になることでしょう。これが宇宙人達が発達させてきた方法であり、彼等は今やいかなる形有るものとも言葉によらず交流できるようになっているのです。

【解説】 この各自の意識を用いて対象を理解する作業は、いわば全く個人的なもので他人が代わってしてあげることは出来ません。また各人のバックグラウンドも異なる訳ですから、皆一様にこうすれば良いというような指導も難しいものと思われまます。各自の個性が異なるように、各自は自ら工夫してこの意識によるアプローチを進めなければならないのです。その基本は自らの過去、即ちこれまで自分の心や他者から主張されて来たそれまでの教義等を一度、解き放って自身の身体細胞の刻々の働きを自らの意識に感じ取らせるよう、包み込むような心境になることです。これだけを心掛けることによって、次第に本来の生命力に触れ合うことが出来るようになることでしょう。そして遂には言語によらず、あらゆる存在と意思疎通が出来るようになる」と説かれているのです。

175 If we are to know what we feel that we should - who we are - and what we have been, then we must use the same method that they have used. There is one thing that we must remember, we cannot judge and divide and discriminate, or resent, according to likes and dislikes and have this knowledge. For once you get impressions coming from the memory buds there will be all kinds. And some you will have a tendency to dislike or even be frightened by them. For remember here on earth there are very low stages of life's manifestation that the ego might not like. But without these manifestations life would not be complete, for all phases are necessary. But once they are understood the judgement against them ceases. Like a drama on the stage where cruelty is resented, yet without it the phases of life would not be truly expressed.

175 もし私達が知るべきだと感じている私達が誰で、また何であったかを知る為には彼等が用いて来たのと同じ方法を用いなければなりません。ここで覚えておかなければならないことは、私達はこの知識を持った上で、好き嫌いによって裁いたり、分割したり、差別したり、腹をたててはならないということです。何故なら、ひとたび記憶の芽からやって来る印象類を捕捉するや、あらゆる種類のものがやって来ます。そしてあるものについては、あなたは嫌う傾向になるでしょうし、恐怖すら覚えることでしょう。何故なら、地球ではエゴが好まないようなとても低い段階の生命の現れがあるからです。しかし、これらの現れが無くては生命は完全にはなりません。全ての側面が必要なのです。しかし、一度それらが理解されれば、それらに対する裁きの気持は消えてしまいます。残忍さに憤りが湧く舞台の上の劇のように、それがなければ生命の側面が真に現されているとは言えないのです。

【解説】 このようにあらゆる創造物をいわば受容して、その内奥から与えられる知識・情報に触れる中で私達は進歩して行く訳ですが、著者は一つだけ私達に注意を与えています。即ち、得られる知見や光景の中には、私達の心が恐れを抱くようなものもあるが、それらを全て含めて先ずは受け止めよということです。そこに善悪の判断や好き嫌いの別を設けてはならず、全てが同じ構成員であることを先ず認める必要があるのです。”裁き”こそ、イエスが戒めていたことも、このことに関連してのこととされます。先ずはあらゆるものを受入れ、自らの意識で包み込んで、そのものが何をささやいているのか、耳を傾け、やって来る印象を逃さないことです。

176 It seems cruel to us to see a big fish swallow another, but it is just as cruel to see a man eat a carrot. For it is a living thing made of molecules just as you or I, or the fish. And the memory carriers do have records of all phases of life, from what we might call the cruelest to the highest.

176 大きな魚が他の魚を飲み込むのを見ると残酷に思えますが、それは人間が人参をかじるのを見て残酷と思うのと同じです。何故ならそれはあなたや私、或いは魚と同じ分子群からなる生き物であるからです。そしてその記憶を運び手は私達が最も残酷と呼ぶものから最高位のものまでの生命のあらゆる側面の記録を持っているのです。

【解説】 私達を含めあらゆる生きものは、その存続の為にそれぞれに適した食物を必要とします。その摂取の状況は肉食獣が他の動物を襲って食し、また草食の動物が木の芽や花を盛んに食べる訳ですが、そこに残酷性を見るべきではないのです。これら一連の行為は自然のサイクルの一環であり、本来は自らの基礎として行っている行動であり、食物を通じての物質分子や記憶の連鎖・伝播でもあるのです。私達には一見、残酷なように見える光景ですが、このような一連のサイクルの中に私達創造物は生きている、生かされているということでしょう。著者は今後、私達の感受性が高まる中で、こうした光景を見ることになるが、それを正しく受け入れ、包括的に宇宙を理解せよと説いているのです。



177 This is where duality sometimes comes in. For you may love someone dearly and yet you do injury to them. This conflict is caused by memory cells of a lower nature, and those of a higher nature. If we knew something about our self we would combine these memories in relation to each other instead of the extremes with nothing between to support either of them. This lack of understanding is the cause of mysteries and misunderstandings. And when we hurt anyone we hurt ourself for we are all the same. We do this because our mind has not been trained to act as a good catalysis. This can only be done when the mind knows the reason for life.

177 ここが二重性が入り込む所以です。何故ならあなたは誰かを愛おしく愛しているかも知れませんが、それでもあなたはそれらを傷つけるかも知れません。この矛盾は低次元記憶細胞と高次元記憶細胞とによって引き起こされているのです。もし私達が私達自身についてなにがしかを知っていれば、私達はこれらの記憶を相互に補完することなく極端に走ることを止めて互いに関連づけてこれらの記憶を統合させることでしょう。この理解不足こそが神秘と誤解の原因なのです。また、私達が誰かを傷つける時は私達は自らをも傷つけることとなります。何故なら私達はすべて同じ存在だからです。私達の心が良い触媒として行動するよう訓練を受けていないが故に私達はこのようなことを起こしているのです。その心の行動は心が生きて行くことの原因を知るようになる時にはじめて実現することとなります。

【解説】私達の中には、過去生に遡る様々な記憶が存在しています。時として現れる人間の二重性は、こうした要素に由来するのだと説かれています。イエスや仏陀も修行中に悪魔が出現したとされていますが、それらも人間が進化を遂げる前に解決しなければならない関門でもあるのです。もちろん、これらの要素は難敵ですが、それはあくまで未熟な己でもある訳で、私達は恐れることなくそれらを戒め、少しずつ本来の姿に戻して行くことが求められているのです。

ジョージ・アダムスキー「生命の科学」第04課 段落178 [2021-12-23]

178 For if we desire to be as our creator we must face all phases of life without being disturbed. The Creator faces his creation without discrimination. For should he like one and dislike another he would be dividing himself, and thus do no better than man. But all phases of creation are loved by its creator for its purpose is known. It is a human trait to discriminate and through this many hurts are received because the ego mind separates itself from the whole.

178 もし私達が創造主のようになりたいと望むなら、私達は心を乱されることなく生命のあらゆる側面を直視しなければなりません。創造主は自らの創造物を差別なく直視しています。何故ならもし創造主があるものを好み、他のものを嫌うならば、創造主は自らを切り裂くことになり、人間よりましなことができなくなるからです。しかし創造のあらゆる側面はその目的が知られているが故にその創造主によって愛されています。区別するのは人間の特徴であり、エゴの心が自身を全体から分離してしまう為、この過程を通じて多くの痛みを受けることとなります。

【解説】 先ずは重要なポイントは、私達は自ら裁く側に身を置くべきでないということです。全ては自分と同じルーツであり、同胞であることを前提とすれば、己の気に入らない事柄であっても、許せるものですし、寛容になれるものと思われます。一方、一見、毛嫌いするようなものであっても、見方を変えればその意義も見えて来る筈で、私達が最も慎むべきは、一瞥してその優劣を判断する（裁く）ことなのです。このように目の前に現れるものを次々に即断して行く姿勢こと、最も戒めるべきで、私達はそれらの存在についてよくよく観察し、その意味を学ぶことが重要です。

ジョージ・アダムスキー「生命の科学」第04課 段落179 [2021-12-24]

179 The apple is made of matter and supported by conscious life the same as we are yet it does not scream when we bit into it. Why? Because it does not have the kind of mind that man has, endowed with a free will which is in constant opposition to Cosmic law.

179 りんごは私達と同じ物質から成り立っており、意識ある生命によって支えられていますが、私達が噛み付いても悲鳴を上げることはありません。何故でしょうか？それは人間が持つような、宇宙の法則に常に反対している自由意志を授けられているような心を持っていないからです。

【解説】 著者は第4課の終りに当たり、リンゴを例えに出して説いているのが象徴的です。創世記に出て来る知恵の木の実をはじめとして聖書にはリンゴの話が多く出現しています。かじりかけのリンゴを会社のロゴとしてApple社の意図までは存じませんが、人間にとってリンゴは象徴的なものであることは間違いありません。そのリンゴについて私達が食べる際にリンゴはどのような感覚を抱いているのか、著者は私達に探ることの必要性を説いています。私達動物だけが、痛みを訴え、大騒ぎをする訳ですが、リンゴにはそのような感情を起こす部位はなく、生存すべてを宇宙の法則に委ねている為、苦痛は感じないということでしょう。このことは、卑近な例を挙げれば、肉体の痛みは十分にコントロールできることにも繋がるものなのです。

180 Can a man become immune to pain? Yes, we hear of those who can walk on hot coals without pain. But they have learned how to discipline their mind, and the mind had to be willing in order to be disciplined. This shows that whatever unpleasant conditions the mind faces, it is of its own creation through misapplication of the law. So it behooves the mind to become a willing student of cosmic principle if it is going to enjoy the blessings that life offers. This is where the memories from the past can serve man in recalling values he has gained through experiences he has had.

180 人間は痛みに動じなくなることが出来るのでしょうか？ もちろんです。私達は痛みを感じることなく、焼けた炭の上を歩ける人々について聞いています。しかし、彼等は彼等の心を如何に訓練するかを学んで来ており、心は訓練されることを喜んで応じなければなりません。このことは、例えどのような不愉快な状況に心が直面しようとも、それは法則の誤用によりそれ自身が造り上げたことを意味しています。ですからもし心が生命が提供する祝福を享受しようとするなら、心は宇宙の法則について喜んで学ぶ学生にならなければなりません。ここがこれまで体験を通じて得た貴重なものを人間に思い出させる過去の記憶が役立つところなのです。

【解説】 著者は私達に痛みや苦しみは心が造り出すものであることを説いています。即ち、リンゴがかじられた時、リンゴに痛みは感じられないように、私達も苦痛から解放される事が出来るという訳です。古来、仏陀が生きていた時代、インドでいわゆる苦行に耐える修行が行われました。もちろん、これら「苦」に対する心の有りようをコントロールすることは大切なのですが、本講座ではこうした表面上の課題だけでなく、更に深い側面まで含んで学んでいることは特筆すべきでしょう。このように自らの苦痛をコントロールすることは私達が目指す長い道程において通過点の一つに過ぎないことも重要です。

ご連絡 [2021-12-28]

いつも、ご覧いただきありがとうございます。  
明日から年末年始のお休みをいただきます。  
再開は年明け4日からを予定しております。

皆さま、良いお年をお迎えください。

2021.12.28

竹島 正

SCIENCE OF LIFE - STUDY COURSE

LESSON FIVE

Consciousness, The Intelligence And Power Of All Life

181 We are actually living in an invisible sea of life. And as I have said before, we should school ourselves to become aware of the visible and invisible at the same time. For today we are only mentally aware of the visible forms with which we have contact. Yet all forms rise from the lowest upwards, looking so to speak into invisible space. And why should this be so? Does not all creation look to its creator as a child looks to the mother for guidance? And as space is the birthplace of all forms, they look to and live within the household of their birth.生命の科学学習コース 第5課 意識、即ち全生命の知性と力181 私達は実際には生命の目に見えない海の中で生きています。そして以前にも述べたように、私達は私達自身を目に見えるものと見えないものを同時に気付くように訓練すべきなのです。何故なら今日、私達は私達が接する目に見える形あるものだけに気付いているからです。しかし、すべての形有るものは最下位から上部を目指して、言わば目に見えない宇宙に向けて昇っています。そして何故、このようなことが起るのでしょうか？全ての創造物は丁度、子供が母親に導きを求めるように、創造主を求めているのではないのでしょうか。そして宇宙は全ての形有るものの生誕の地であり、それらの生まれた家庭を見つめその中で生きているのです。

【解説】 誰でも年配になると自分の故郷、自分が生まれ育った所を懐かしく思い、出来ることなら再び帰りたいと思うものです。本項は私達自身が生まれ出た故郷は宇宙空間であり、目には見えない意識から生まれた為、私達自身が自然と意識に憧れ戻りたいと思うのであると説いています。全ての生まれる源が宇宙であり、私達はそこに回帰したいという傾向にあるのです。その点では誰でも本来の進化の途に戻りたいという思いがある訳ですが、それこそが大いなる救いでもある訳です。故郷を思うのは苦しい時、辛い時が多いものですが、その際に自ずと本来、目指すべき世界への方向性に目覚めると言い替えた方が良いのかも知れません。

182 Living as we do, guiding ourselves by other effect no different than ourselves, we remain close to the form life of earth. Which is in itself only an expression from its lowest state of awareness.

182 私達は自分達と何ら変わらない他の結果物に頼って自らを導いて生活している以上、地上の生物体に近いまま留まっています。それらはそれ自身、悟りの最も低位な状態から来る表現でしかありません。

【解説】 私達はいずれにせよ、一人（孤独）で生きている訳ではなく、常に何かを頼りに生きていますが、それは家族も含め、私達自身と大差の無い存在ばかりです。その為、時に裏切られたり、争ったりすることもある訳です。しかし、頼りにしている相手が私達自身と同程度のものであれば、自ずとその進歩の程度も知れたものとなることでしょう。本項では、こうした状況に鑑み真に私達が頼りにすべき存在について暗示しているのです。

183 Even some marine life strives to see the light above the water. And the liquid of water would not be if it were not for the essence of hydrogen and oxygen which are invisible. In this invisible state the prime of life cannot be seen with the sense of sight of the human mind. But it can be known to the mind through consciousness. For consciousness is the intelligence and power that is independent of the forms, yet it activates all forms when it acts through them. Consciousness knows no light or darkness as man classifies these frequencies. Nor does it know good or bad for these are classifications of the mind through misapplication of the law.

183 ある種の海洋生物でさえ水面上の光を見ようと努力します。また液体である水は目に見えない水素と酸素の基本化合物が無ければ存在しないでしょう。この目に見えない状態の中では生命の本源は人間の心の視覚では見ることは出来ません。しかし、意識を通じて心に知られることは可能です。何故なら意識は形有るものから独立している知性であり力であり、それを通じて働く全てのものを活性化するからです。意識は人がこれらの振動を分類するように光とか闇とかを区別することはありません。また、善悪も知ることはありません。これらは法則の誤用を通じた心の分類だからです。

【解説】 以前、三宅島から船で竹芝に帰る際に、トビウオが界面近く飛ぶ姿を見る機会がありました。著者は海の世界に生きる魚が空中に飛び上がり、新たな体験を得ようとしていると捉えているのです。日常を過ごす三次元の世界を脱して、それを包み込む宇宙空間にあこがれ、その世界を知りたいとジャンプした結果、トビウオは自分の暮らす海の世界の上には、更に広大な宇宙空間が広がっていることを自分の身体で体験し、学んでいるという訳です。私達も同様に宇宙の意識を理解しようとして時としてジャンプする必要もあるということでしょう。



184 No form or mind can live independent of consciousness. For outside of it, if there were any, would be absolute nothingness. So it is up to man to strive to have his mind listen to the teacher, the parent of all creation.

184 如何なる形有るものも、また心も意識と独立して生きることは出来ません。何故なら、その外側というものがもしあったとしても、そこは、絶対的な無であろうだからです。ですから、自らの心をすべての創造物の教師、両親に耳を傾けさせようと努力することが人間の義務なのです。

【解説】 幸いなことに私達はいわば、全能の神とも言える”意識”の中に生きているということです。全てを包む”意識”と呼ばれる英知なる者、全てを知り動かす存在は声なき声で、或は目に分かる姿でなく印象というより高次な情報の形態で、その庇護の下にある者達を絶えず指導しているという訳です。この辺の理解は仏教的なニュアンスがあり、世界はその意識の現れとして”諸仏”等と称されるようにあらゆる所に仏性が存在しているということです。そういう意味では、私達はいつも仏達に包まれた環境に暮らしているという大変有難い恩恵の下、生きていることを忘れてはなりません。

185 Let us now place the mind in relationship to consciousness as an observer of conscious action. And for this the shore of the ocean can be used as an example. For as we gaze out over the vast stretches of water we know that there is untold life within its body. So let us become consciously aware of the activity that is taking place within its depths that the sense mind does not see. We should now become consciously aware through impressions of the many active forms and see those as small as a grain of sand searching the bottom of the ocean for food. And millions of kinds of form life from the bottom to the surface doing the same thing. Some never rise from the bottom to see the light near the surface, while others do.

185 それでは意識に関連して心を意識的活動の観察者の立場に置いてみましょう。そしてこの為には、例として大洋の岸辺を用いることが出来ます。何故なら、私達が水の広大な広がりの方を見つめる時、私達はその中に人知れぬ生命があることを知っているからです。ですから感覚の心が見ることのない海中深く起っている活動について意識的に気付くようになりましょう。私達は今や、多くの活動する形有るものの印象を通じて意識的に気付くよう、また大洋の底を食物を探している砂粒ほどの生き物を見るようにならなければなりません。しかも海底から水面まで何百万もの種類の生命が同様なことを行っています。あるものは決して水面近くの光を見る為に海底から浮かび上がることはありませんが、そうするものもいます。

【解説】 先ずは意識の世界を観察することから始めるべきだと説かれています。特に海を眺める中で私達は水面しか認められない自分の感覚の限界を悟り、いち早く海の中で行われている諸々の活動について、別の方法で知ること、観察することを探らなければなりません。このいわば「透視」能力とも言える能力は、私達がそれを身に付けようと望むなら、自ずと発達する能力だと考えますし、先ずは私達自身が眼が把握できない視野の奥の生命活動について知ろうとする気持、透視能力を身に付ける必要があると認識することが大切です。その為には、私達が認識する外界の奥には、目に見えない様々な活動が起こっていることを認め、自らその世界と融合したいとする気持が重要となるのです。

186 The whale, although there are others, masters the pressures and elements of the sea, for it is able to go to great depths yet it can swim on the surface of the water and partake of the invisible gases from space that enshroud the earth. And there are some like the flying fish that leave the liquids for an experience in the sea of gases. Thus they have experience in two different kingdoms. The liquid of the water and the gases of which the liquid it made.

186 クジラは、他の者もいますが、海の様々な圧力や要素をマスターしています。何故なら海中深くまで潜ることが出来ますし、水面付近で泳ぎ地球を覆っている宇宙から目に見えないガス類を取り込むことが出来るからです。そしてトビウオのようにガスの海での体験を求めて液体を離れる者もいます。そのようにして彼等は二つの異なる王国での体験を持つのです。液体としての水とその液体を造ったガスの二つです。

【解説】 今日、世界の趨勢として捕鯨は禁止されているように、クジラは愛すべき動物とされていることは確かです。また、ハウエイルウォッチング塔、彼らの生活を観察する楽しみ方も増えているところでは、巨大な体格を誇るクジラですが、地球規模で移動し、集団の結束力も高い等、優れた動物であることは確かです。本項はそのクジラが海中の世界だけでなく宇宙空間をも知っており、両方の世界を理解していることを示しています。時として空中に身を乗り出してその世界を自ら確かめようとする姿は、私達にとっても参考になる仕草なのかも知れません。三次元世界に身を置きながら、時として宇宙意識の世界に身を乗り出すという訳です。

187 Man should become aware of living two different experiences at the same time, for he is living on top of the earth of three dimensions, yet depending and living in the fourth dimension. For from the crust of the earth towards the sky is the invisible fourth dimension which we call space. Outside of it we could not live any more than the fish that cannot live out of the water. No form could live without the support of the fourth dimension for it is the air which we call atmosphere in which earth forms live and breath. And if it were withdrawn no form could live, not even the earth.

187 人は同時に二つの異なる体験を生きていることに気付くべきです。何故なら人は3次元である地上の頂上に生き、かつ4次元に依存しその中で生きているからです。地上の塊から大空に向かって私達が宇宙と呼ぶ目に見えない4次元が広がっています。魚が水無しでは生きて行けないのと同様、私達はその外側では生きて行けません。如何なる形有るものも4次元の支援が無ければ生きられません。何故なら地上の形有るものが生き、呼吸する私達が大気と呼ぶ空気が無ければ如何なるものも生きては行けないからです。そしてもし、大気を取り去られたら、如何なるもの、地球でさえも生きることができません。

【解説】水が無ければ魚は生きられないように、私達は意識が無ければ皆、存続することは出来ません。それ程に意識は重要な要素なのです。この意識なるもの通常、急病人が救急車で運ばれる際に、患者本人の意識があるかないかが重大な要素となるように、本項の宇宙的意識についても、それ程に重要なポイントにある訳です。言い替えば、私達自身の自覚の有無に関わらず、私達は宇宙的一体感にも似た静かなる連帯感の中にあり、その一体感の中で莫大な量の想念波動が行き来し、生命活動を支えているように思います。その活動が無ければ、私達は存続することが出来ないのです。

188 Man's troubles begin in the fourth dimension. For he as a sense mind operates in the three dimensions, an effect of the cause. So he gives much time to the world of effects and understands it fairly well. But he has trouble associating the invisible world around him with the world in which he lives. And when he uses his mind instead of his consciousness to try and understand the fourth dimension, he becomes confused. And the great difference which exists in the invisible fourth dimension which is cause, makes it still harder for him to understand, as he has been taught in the three dimensions for centuries. Even the ancients did not understand the fourth dimension, for had they done so they would not have divided heaven and earth. Or cause and effect.

188 人間の諸問題は4次元で起ります。何故なら、感覚の心としての人は原因の一結果である三次元で働いているからです。その為、人は結果の世界に多くの時間を費やしており、その世界をかなり良く理解しています。しかし、人は自分が住む世界と自分の回りの目に見えない世界に関しては悩みを持っているのです。そして人が4次元を理解しようとする時、自らの意識を使う代わりに心を使う為、混乱するようになるのです。そして因である目に見えない4次元に存在する大きな違いは更に理解を難しくしています。何世紀もの間、人は3次元世界の中で教えられて来たからです。古代人達も4次元を理解していませんでした。もし理解していたら、彼等は天と地、あるいは原因と結果に分割しなかったであろうからです。

【解説】本項では著者は私達が目に見えない世界を学ぶに当たっての注意点を与えています。即ち、私達が進化の道を歩む上でも新たな戸惑いが生じるとしているのです。もちろん、結果の世界にどっぷり浸かっている者はそもそも結果の世界に束縛されることが当たり前な訳で、その中に埋没することに何らの疑問も感じられないでしょう。しかし、少しでも意識の世界への憧れを抱き、また自らも精進を続け、その目に見えない世界を志向する者は時に結果の世界に追従する自らの心との間に混乱が生じるというのです。この一時的な葛藤はしかし、両者の理解が進む中でやがては氷解し、原因と結果の世界の両者を同時に理解する中で克服されると著者は示唆しています。つまり因なる世界の天国と結果の世界である地上とを融合した理解力によってのみ、次のステップに移行できるということでしょう。

189 Since the beginning of time man has schooled himself to want concrete facts which are three dimensional like himself. He left the fourth dimension to mysteries and theories. And only here and there an individual could see the relationship of all dimensions. And when he would express his analysis he usually had very few followers.

189 時のはじまり以来、人は自分と同じ三次元の具体的な事実を求めるよう自分自身をしつけて来ました。人は四次元を神秘や理論に置き去りにしてきました。また、そこそこでわずかながら、すべての次元世界の関連性を見る事が出来た者がいました。それでも、その者が自らの分析結果を表現する時、彼にはいつもほんのわずかの追従者しかいませんでした。

【解説】 私達が身に付けなければならないことは、個々の知見よりも様々なものとの繋がりに対する理解であり、とりわけ形に現れる以前の諸活動の理解です。本文ではそれを「四次元」と称していますが、その精妙なる世界を含めて、全てを観ること、関連性を理解することであるとしています。最近、YouTubeでイエスの生涯を暑かった古いTV番組を見ましたが、イエスの弟子でさえ、イエスの語る事柄を理解出来ずにいたことが分かりました。それ程に真理を理解することは難しいとも言えるのです。私達は他惑星人達がこれら真理を理解し、その理解の下に実生活を送っていることには驚くばかりですが、それを求める姿勢があれば、いつかは彼らのように宇宙の法則を理解し、能力を身に付けた存在になれることでしょう。

190 Jesus for one tried to explain the fourth dimension, but even today his teachings are not understood. As a result the fourth dimension has been placed in the abstract side of life with the hope that it will be understood in the here-after. But how could one ever understand if he did not have some comprehension of it here? One must learn the next step to be taken before he can understand the reason for it.

190 一例として言えば、イエスはこの四次元を説明しようと努力しましたが、今日になってもその教えは理解されていません。その結果、四次元は今後理解されるだろうとする希望と共に生命の抽象的な側に置かれて来てしまいました。しかし、人がそれを今ここで何らかの会得をしない限り、これから先どのようにして理解できるのでしょうか。人は進むべき次の一步を学ぶべきで、その理由は後になって理解出来るのです。

【解説】 ポイントは学ぶべき「四次元世界」をもっと身近なものとして捉えることであると著者が説いているように思います。抽象的な概念にしてしまうのではなく、もっと身近な存在、日常的な要素として捉えることが重要であるということです。まずは一步登って体験した後に、それを理解し背景を考えるべきであり、積極的に行動すること、実践することこそが重要だとしています。

ジョージ・アダムスキー「生命の科学」第05課 段落191 [2022-01-18]

191 The wealth of time could not be as great as an understanding that man must have before his future is secure. For without it he cannot hope to have the knowledge that our space brothers have.

191 時間の豊かさは人が自分の未来を確実にする前に会得していなければならない理解以上に偉大ではあり得ません。何故ならその理解なしには私達の宇宙兄弟達が得ている知識を持つことは望めないからです。

【解説】 論語に「朝（あした）に道を聞かば夕（ゆう）べに死すとも可なり」という言葉があるとされています。求めていた真理の理解はそれ程、私達にとって大切なことです。その理解こそ自らの次なる人生を導き、永遠に続く進化の道を示す道しるべとなるからです。それ程までに重要であることは、禅の命がけの修行も同様な理解であり、心構えであるのです。本講座も同様に、私達が何を目指して毎日を過ごすかが問われています。



192 Man has learned much about the three dimensional world and now it is time for him to blend his knowledge with the four dimensional invisible world around him. That is if he is to do away with the mysteries that he has been governed by all of this time. And this can only be done by the mind, the effect, humbling itself to the consciousness - the cause, and thus allow it to explain the relationship of the two. Only consciousness can do this as it is the fourth dimension that knows no limitations.

192 人は三次元世界については既に多くを学んでおり、今はその知識を自分の周囲にある目に見えない四次元世界と融合させる時です。それは人が常日頃、支配されている諸神秘を取り去ろうとするならばです。そしてそれは、結果である心が自身を因である意識に謙虚にすることによってのみ可能となりますし、そうすることで意識に両者の関係を説かせることが出来るようになります。限界を知らない四次元である故に意識のみがこのことを為し得るのです。

【解説】ここで著者が言う「四次元」とはどのようなイメージかについてよくよく考えた方が良いでしょう。即ち、私達が暮らす物質世界を通常、「三次元」世界とする訳ですが、それらを全て包括し、距離や場所に関わりなく、その世界を支配している存在を「四次元」と称していると言えるでしょう。従って、私達は各自の周囲にあるそうした目に見えない決定的な生命力とでも言える存在に親しむことが重要です。その無言かつ眼には見えない存在を宇宙的意識としてイメージすること、何はさて置き、それが発する想念・印象波動に帰依する程の信頼を置くことが次なるステップとなる訳です。

193 The three dimensional effects are the coarser part of its expression, like sound which is produced through a low state of friction or conflict among the elements. But consciousness in its fourth dimension does not produce sound as we know it. Its method of communication is through the feeling awareness given in the form of impressions.

193 三次元世界の結果物は丁度、粗いレベルの摩擦や各要素類の間における争いを通じて造り出される音のように表現の内でもより粗雑な部分でしかありません。しかし、意識は四次元世界にあって私達が知っている音を造り出すことはしません。その意思疎通の方法は印象の形態における感じによる気付きを通じて行われます。

【解説】 これまでは絵画その他、目で見える世界との関係が述べられて来ましたが、本項では耳で聞く音の世界についての説明です。音楽家は自分の得た曲のイメージを音に残す為に様々な音色の楽器を選んで音符にその音を再現させようとしています。しかし、本人が得たインスピレーションはその楽譜では十分に再現できないのかも知れません。音楽自体は精神波動と繋がる波動を取り扱う芸術分野ですし、その楽曲により、聞く者の心境を高揚させたり、悲しみを思い起こさせたりする、ある意味想念波動の再現に近い働きがあります。そういう意味では、各自の心境を保つ上からも日常聞く音楽についてはより慎重に選ぶべきでしょう。

ジョージ・アダムスキー「生命の科学」第05課 段落194 [2022-01-21]

194 So in order to unite that which is now divided in man, the mind must be willing to be taught by consciousness. And remember, consciousness is the soul of any form which makes life possible.

194 ですから人の中で分断されているものを統合する為に、心は喜んで意識によって教わるようにならなければなりません。そして覚えておいて欲しいのは、意識はあらゆる形あるものを生命たらしめている魂であることです。

【解説】 これまでの著者の解説から、私達自身の中に物質世界に拠り所を置く心と物質世界を超越したいわば宇宙の本源に通じた宇宙意識とがそれぞれ分かれて存在していることが分かります。この内、心なるものは絶えず自らの拠り所を物質世界に求める為、不安に陥っており、時空を超えた全てを知る者である意識に対して常に指導を仰がねばなりません。それには自らのプライドを捨てて、導きを求める求道の精神が必要となるのです。このように導師が各自の内側に居られるということが私達が幸せであると教えられる所以でもあるのです。

195 That we may understand more clearly let us become aware of the rim of the earth, as we did the shore of the ocean. And let the conscious messenger reveal to the mind the things in space, beginning with the fourth dimension. First, we will give you some idea of what is there in this invisible state. And as stated before it begins with the crust of the earth.

195 よりはっきり理解できるよう、以前大洋の岸辺で私達が行ったように、地球のふちに気付くようになりましょう。そして意識の配達人に四次元が始まる宇宙での物事を明かせましょう。先ず最初に私達は皆さんにこの目に見えない状態の中に何が存在するのかについていくらかの概念を授けましょう。そしてそれは以前述べたようにまず地殻から始まります。

【解説】 そもそも四次元を理解する為に、著者は私達に地球の縁、即ち宇宙との境について考えて見よと説いています。即ち、私達が棲む地上を三次元、宇宙空間をそれら三次元世界に束縛されない世界として「四次元」と表現していることが分かります。私達が地上の束縛を受けたまま暮らしているのに対し、もっと自由に宇宙と繋がって生きることが薦められているとも言えるのです。この場合、宇宙は人間の把握出来る範囲を超えた広がりを持ち、その大きさは計り知れませんが、宇宙空間に存在するものは全て海のように皆同じ環境の下、融和した中で時間にかかわらず存続しているということになります。

196 Scientists know of various kinds of gases that proceed into space. The word gas does not mean much but the component parts of which gases are made, does. For in these is the food that the three dimensional world must have in order to live. As an illustration we will use this manifestation that has been used elsewhere in the lessons. When we gaze into a clear blue sky we see nothing, yet under proper conditions a lightning bolt is created in that space, which is made of minerals well known on earth. This shows that the component parts of what we call gas has substance that can produce solids. This is not the only proof for we have others. Many meteorites have landed on earth in various sizes, and when examined they contained the minerals known on earth. I am sure that these meteorites have not been thrown off of the earth and then returned. For they have dropped on the moon and other planets, so they must have been made in space as the lightning bolt is. This tends to prove that all elements known on earth in a coarser form have had their origin in a refined state in space. And as stated before, space is an incubator of forms in which planets and all forms are born and have their being.

196 科学者達は宇宙に向かって進む様々な種類のガスについて知っています。ここでガスという言葉はあまり意味はなく、ガスを構成している成分が重要なのです。何故なら、これらの中に三次元世界が生きて行く上で必要な食物があるからです。実例としてこれまでこの講座の何処かで用いられて来た創造作用を示しましょう。私達が晴れ上がった青空を見詰めても何も見えませんが、ある適した条件のもとでは稲妻がその空間に形成されますし、その稲妻は地球でよく知られている鉱物群から造られています。このことは私達がガスと呼ぶ成分には固体を作り出すことができる物質があることを示しています。これは唯一の証拠ではありません、私達には他にも証拠があるからです。多くの隕石は様々な大きさで地上に着地しますが、調査するとそれらは地上で知られている鉱物を含んでいることが分かります。私はこれらの隕石が地球から投げられて再び戻って来たものではないことを確信しています。何故なら、それらは月や他の惑星にも落下していますし、それゆえ、それらは稲妻のように宇宙で造られたに違いないのです。このことは、地上で知られている粗い形態にある全ての元素は、宇宙空間に精化された起源を持っていたことを示すものと言えるでしょう。そして、先に述べたように、宇宙は惑星やすべての形有るものが生まれ、そして存在する孵卵器なのです。

【解説】 本項で著者は稲妻の中には様々な鉱物が存在し、空間にはそれらの成分があることを私達に説明しています。目下、地球の科学者は稲妻を単なる電荷の放電の際に大気が局所的に3万°Cにまで急激に加熱膨張する為に電光や雷鳴が起こるとしていますが、実際には稲妻の中には様々な鉱物原子が存在しているものと思われます。一方、隕石については著者の説明は良く分かります。以前にも述べたように、私自身、科学博物館で隕石の断面を見たことがあります。私が見たものは殆ど鉄の塊のような隕石でしたが、その断面は何と徐々に鉄が結晶化し、成長したような構造をしていました。通常、鉄の塊は溶鉱炉で溶かしたものが一般ですが、宇宙空間にあった隕石は純粋な形に育まれたような不思議な内部構造をしていたのです。即ち、宇宙空間はあらゆるものを精華し、清める機能を有しているように思うのです。

197 If the planet earth has produced out of its own body all that is upon it, and itself was born from the elements of space, then this should be a good proof that all planets are humming with life in varying degrees of development.

197 もし地球という惑星がそれ自身の体内から地上にある全てを作り出す一方、それ自身は宇宙にある諸元素から生まれたとすれば、すべての惑星は様々な発達程度の生命で活気溢れているという良い証拠になるはずで

【解説】 宇宙に対し私達は真に自分本位に生きており、同じ惑星に生きる他の国に対しても同様に無関心のまま過ごしがちです。恵まれた環境の中に棲んでいる中、他の惑星や距離を隔てた他国の状況を気に掛けることなく、自分の身の回りの事柄だけに関心を持ってその日その日を生きているのです。しかし、少しでも宇宙空間が持つ母性機能、母なる自然を理解すれば、少なくとも同じ惑星に暮らす人々を自分の兄弟に等しいと見るべきことは理解されるでしょう。他の惑星人についても親戚程度の間柄と言えることでしょう。宇宙空間が全てを生み出す源であることを理解出来れば、私達は皆、同じ源泉から生まれ出た兄弟姉妹であるという概念が生まれるのです。

198 Even though great distances exist between planets and there is no established communication with them, this does not prevent one from knowing what is going on upon them. But to do this the mind must be trained to listen and be taught by the conscious messengers, without questioning the impressions while they are being given. Some will come in the form of thoughts and some with thoughts and pictures.

198 惑星間に長い距離が存在し、相互に確立された通信手段が無くても、それは人がそれら惑星上で何が起っているのかを知ることが妨げるものではありません。しかし、これを為すには心は与えられている間、その印象類に疑問を挟むこと無く、意識の伝達人に耳を傾け教えを受けるよう訓練されなければなりません。それらの内、あるものは考えとして、またあるものは考えと画像の形でやって来ることでしょう。

【解説】 以前、テレビ番組で知ったことですが、森山良子作詞の「涙そうそう」は亡くなった兄を妹（作者）が思い出す時の歌であると伺ったことがあります。ここではその真意を「亡くなって一番星（金星）に生まれ変わった兄を思い、互いにそれぞれの星（惑星）が見えるなら、いつかはまた会える」と歌っているのではないのでしょうか。兄弟姉妹の結びつきは親子より強いと誰かから聞いたことがあります。宇宙空間の他の姉妹惑星は私達（地球の民）にとって大変重要な間柄であるということでしょう。例えどのような恩知らずの扱いを受けても、地球を支援する他惑星人社会は決して私達を見捨てることはないのです。多くの仏国土（惑星）がある宇宙には、救いがあるということも出来る訳です。

199 When thinking of this let your mind be attentive as it was while viewing the ocean. And while the ocean has boundaries, space has none. This phase of development is very important, even when we begin to travel in space ships. For had I not developed along this line to some degree, my trips in space crafts taken bodily would have been of little value. Because there were many things on the ships and in space that my mind did not understand. But my consciousness revealed them to me. And later my understanding was verified. The language barrier was not present for in some cases I exchanged ideas with the space brothers consciously. This would have been impossible mentally.

199 このことを考える際、貴方の心を大洋を眺める時のように注意深い状態にさせることです。大洋には境がある一方、宇宙にはそれはありません。私達が宇宙船で旅行するようになった時でさえ、この発達の段階は大変重要です。何故なら、もし私がこの線に沿って幾分かの発達を遂げていなかったら、肉体を伴った宇宙船に乗っての私の宇宙旅行は大した意味を持たないものとなっていたことでしょう。何故なら、宇宙船や宇宙には私の心が理解しない多くの物事がありました。しかし、私の意識がそれらを私に明かしてくれたのです。そして後になって、私の理解は確証されました。言語の障壁は有りませんでした。ある場合には私は意識的に宇宙兄弟とアイデアを交換したからです。これは心では不可能なことでした。

【解説】 私達が海を眺める時、その波間の下に多くの魚や生きものが存在していることを知識として知っている私達は、自然とその豊かな生命環境との一体感を得ようと心がけ、与えられる印象を逃さず受信しようと、やって来る印象類に心を向けることでしょう。それと同様に、私達は頭上に広がる無制限の宇宙空間にもっと関心を持って、そこから与えられる印象やインスピレーションを注視することが大切だと説かれています。この注意深い中での受容的心境を第一とし、興味本位の心を鎮める中で、私達は多くの事柄を学習し、知識を得ることが出来る訳で、その準備が出来ていなければ、仮に他惑星人との交流の機会があったとしてもそのチャンスを十分に生かすことは出来ないのです。



200 The schooling of the mind is not an easy problem, but it is worth the effort even though it takes years to accomplish as it did for me. There is not a person on earth that does not receive impressions either from the earth, the inhabitants upon it or from other planets as well as the Cosmos. But there is a difference between the human and the cosmic impressions. For a mind is a mind whether on this planet or elsewhere and it has a tendency to confuse impressions and misapply them to suit the personal desire. Oftimes the mind permits the imaginary faculty to run away with it. The imagination is like a screen or a slate upon which the pictures are drawn and the human has a tendency to distort them.

200 心の訓練は容易な課題ではありませんが、それは私についてもそうであったように、達成に何年も要したとしても努力する価値があります。地球にいる人間で地球から、またその住人から、あるいは宇宙と同様に他の惑星から印象を受けてない人はいません。しかし、人間から来る印象と宇宙の印象とは違いがあります。何故なら心というものはこの惑星上の場合も他の場所でも同様に、印象類を混乱させ、個人的な願望に合うように不正に使用する傾向があるからです。しばしば、心はその想像力にその印象といっしょになっての暴走を許します。人の想像力とはその上に絵が描かれるスクリーンや石板のようなもので、人間はそれらを歪める傾向があるのです。

【解説】 自らを訓練することの重要性は様々な先人が説いているところです。私達は各自、その道を一歩ずつ歩んでいる訳です。その行程は長い年月を要する訳で、時々失敗を続けながら、次第に過ちを少なくして、各自の人生を謳歌して行くことが出来るということでしょう。著者自身も長年、これら精進の道を歩んできたと述べられていますし、その体験を踏まえて自らの心の訓練の大切さを説いているのです。もちろん、そのきっかけは宇宙的な印象を感受したことに始まりますが、注意すべきは、そのような貴重な印象も心自体がねじ曲げてしまい、自分の都合の良い姿に変えてしまうことです。まずはありのままの印象をありがたく受け入れることに徹することであり、印象の送り主に感謝することでしょう。

201 i.e. The imagination can mate a flea with a dog on the slate but this can never be done in the cosmic plan. The picture would represent a misplacement of the law and this is where one must be very careful if we are to have the truth. There is so much of this going on now, and that is why we get so much confusion regarding our space brothers. This is caused by misapplication of the true law in order to satisfy the individual ego. And the un-natural stories come from this source.

201 すなわち、想像では石板の上でノミと犬をつがいにすることが出来ますが、宇宙の計画ではそれは決して起りません。その絵は法則の履き違いであり、これは私達が真理を得る上でとても気をつけなければならない所です。このようなことは今、多く起っており、それが私達の宇宙兄弟達に関してこれ程、私達が混乱している理由です。このことは私達各自のエゴを満足させる為に真の法則を誤用することによって起ります。また、不自然な物語がここを源としてもたらされます。

【解説】 やって来る印象を私達は自分の心の好むように勝手に変えてしまうことに注意せよと著者は説いています。その時々気分によって、印象を変容させ裁きを加えてしまう作用が私達の心にあるという訳です。特にこれらの事柄は国の行く末を預かる政治家や組織のリーダーにとっては大変重要です。我が国が先の戦争に巻き込まれた時も相手国の間の密約を見抜けなかったのは歴然ですが、当時、彼等の判断は世界の真相を見抜いていなかったことが戦争に至る大きな過ちの一つであったと今日言える訳で、その時点において真に正しい道を把握するのは容易ではないのです。私達各人が毎日のように対処しているこの世の中の事柄も真相は時間経過後の誰れの眼にも見える結果が明らかにして呉れる訳ですが、時々刻々物事が生じている中であっては全ての印象が持つ近未来の姿こそ重要であり、それに心を一体化してその印象の伝えるイメージを理解することが大変重要だということです。

202 To guard oneself against such wild impressions, remember that a human form is always a human form even on another system. For the pattern for man is cosmic. The difference would be in the refinement of the form and the expansion of knowledge in different fields of expression. Yet the similarity from the lowest to the highest will be present for there are no blanks in the cosmic plan. In the field of service he who is guided by cosmic consciousness recognizes no divisions but blends all phases of manifestations in relationship to all others. No discrimination or judgment exists for one who has an understanding. Analysis for the purpose of correction and understanding of the misapplication of the law is ever present.

202 このような粗野な印象類から自分を守る為には、人間という形態は他の太陽系においても常に人間の形であることを覚えておいて下さい。人の為のパターンは宇宙的だからです。違いがあるとすれば、その形の精緻さと様々な表現分野における知識の広がりにあるでしょう。しかし、最低位から最高位の間には類似性が存在し続けています。何故なら宇宙の計画に空白は無いからです。奉仕の分野において宇宙意識によって導かれている者は如何なる分断を観ることはなく、それらすべての創造の現れの側面を他のすべてとの関連において融合させます。理解を得ている者に差別や裁きはありません。法則の誤用に対する修正と理解を目的とする分析が永劫に存在するだけです。

【解説】 イスラム教は偶像崇拜を禁じており、パーミアン石仏も破壊されたと伝えられています。一方、仏教国においては仏像が盛んに建立され、日々の礼拝を通じてあたかも仏像が整然のお釈迦様のように接し、心を寄せています。私達は他惑星の進化した人々に対し、同様の尊崇の念をもって接することでしょう。また、アダムスキー氏自身も他の惑星人に対しては特別の思いを持っていたように思います。丁度、イエスに従った弟子達のように一審を投じても守りたい導師、高貴な人達という感覚ではなかったかと思われれます。もちろん、伝えられる中であっては彼等他惑星人達はごく普通の地球人として暮らしており、ある時は街の電気屋、あるいは映画俳優として活躍する場合もあった訳です。言い替えれば外見上は何ら地球人と差異はなく、内面のみ異なっていたということになります。こうした中、如何に私達がその人の内面に気付くことが出来るかが課題となる訳で、先ずは外見に左右されず、内部の印象に気付ける自分になる必要があるのです。

203 One can be fairly sure of being right in what is received through consciousness providing the mind does not indulge in wild imagination or judgment. Even though the impressions may not be understood at the moment, for oftimes patience is required. But the fact that there is a revelation should give you the assurance that it will fit in someplace when the time is right.

203 人は心が乱れた想像や裁きに耽らないならば、意識を通じて受け取るものについては十分正しいものと確信して良いでしょう。その印象が例えその時理解できなくてもです。多くの場合、忍耐が必要なのです。しかし、啓示というものがあるという事実は、貴方にそれがいつか時が正しい時に何処かで当てはまるという確信をもたらすことでしょう。

【解説】 ここからは各自の体験に属する繊細なお話になるかと思えます。通常、私達のエゴ（心）は何事も自慢したがる為、時として訪れる宇宙を源泉とするアイデアもその取扱を誤って本来の当てはめるべき場所から外れた所に適用しうまく行かないという事例もあるものです。生まれたアイデアを何処に適用すべきかは大変重要で、本来適用すべき所に適用しなければ所定の降下は発揮できるものではありません。そういう意味では、私達は例えアイデアを受信してもその応用を心に任せてはならず、冷静に状況を見極めて、発言すべきであり、有頂天になってはならないのです。むしろこれから起こり得る現象を現実より先に見ることができたとしても、その光景を他人の興味を引く手段として話すのは控えるべきでしょう。むしろ、将来起こりつつあるいわば因の世界で進行しつつある傾向から、人々を回避させる為にその与えられた知識を活用すべきと言えるでしょう。聖書の黙示録その他の予言書はこうした観点から残された書物だと考えています。

204 Never allow the mind to become emotionally affected to the point where it wants to tell the world what has been revealed to it. For when the time of revelation does come - it will be given calmly and modestly. The tricks that the mind has cultivated and accumulated will appear from time to time and try to show the other fellow how much it knows. This is definitely wrong and should this occur it is time to remember - do unto others as you would have them do unto you. The mind has been dwelling in untruthful things for ages and when the real truth is brought to it, it does not like to accept for it built its foundation on mistakes and does not like to have them disturbed. And as said before, this does not mean that mistakes are of no value, for they show us the right way to act. But one mistake is not to be covered up with other mistakes. It is to be corrected immediately.

204 決して心に明かされたことを世間に告げようというところまで心が感情に動かされるのを許してはなりません。何故なら啓示がやって来る時、それは静かにそして控えめに与えられるからです。長年心が培い蓄積して来たたくらみが時折現れて、同僚に如何に自分が知っているかを示そうとします。これは絶対によくないことであり、万一起こった時は、次のことを思い出して下さい。汝が他人にしてもらいたいと思うことを他人に為せです。心は長い年月、嘘で固めた中で生きて来ているので、実際の真理がやって来た時、過ちの上に基礎を置いており、混乱されたくない為にそれを受け入れたくないと思うのです。しかし、以前申し上げたように、その過ちは価値が無いとしているのではありません。何故なら、それは行動すべき正しい道を私達に示してくれるからです。しかし、ひとつの過ちは他の過ちによって包み隠されてはなりません。直ちに直されねばならないのです。

【解説】よく言われることに、アダムスキー氏は秘密を良く守ったことがあります。他惑星人社会と交流を持っていたアダムスキー氏は問われれば、宇宙電の動力も含めあらゆる事柄を熟知していた訳ですが、決して自らそれらの知識をひけらかすことはありませんでした。先ずは聴講者達の質問に答えるという姿勢を守っていたのです。これは大変重要で、相手が求めている事柄に対し、適切な知識をわかりやすく伝える手法は決して、知識や道徳を押し付けること、或は災害が迫っているという恐れを人々に与えることはしておりません。いわば相手のレベルに応じた指導を行っていたという訳です。自分の優位さをアピールしたい自らの心にこそ、私達は注意しなければなりません。

205 If you are not sure whether a mistake has been made or not, make a careful analysis of the effect. If you feel that you have, the way to make the correction will be shown. And if the action is against another human being, become that person, and you will know what is to be done without loss of time. For every mistake cuts one off from cosmic impressions and creates a condition like a vacuum or gap between two points. It is no different than being disconnected while talking on the telephone. If this is caused by a break in the line, and the one making the call is unaware of the break, he continues to talk but the receiver is not getting the impressions. And he will not until the correction is made. So the intervening conversation is lost to the receiver, and the gap is filled with confusion and wondering what was to have been said. And in this way, what would have been received is distorted.

205 もし貴方が過ちをしたかどうか不確かな場合は、結果について注意深い分析をすることです。もし過ちを犯したとを感じるなら、修正を行う方法が示されるでしょう。そしてその行為が他の人間に対するものなら、その人間になって見なさい。そうすれば時間の無駄なく何を為すべきかが分かるでしょう。何故なら、あらゆる過ちは宇宙的印象類から本人を切り離してしまい、2点間に真空或いはすき間のような状況を造り上げます。それは電話で話をしている間に電話を切られた時の状態と違いはありません。もしこの状態が通話中に起り、電話を掛けている一方がその断絶に気がつかない場合は、彼は話しを続けますが、受信者はその印象を受取っていません。線の復旧が行われるまで彼は受信できないままです。その為、受信者にとってその間の会話内容が失われ、そのすき間は混乱とその間に何が話されたかについての好奇心で埋められることとなります。そしてこのように、受信された筈の事柄が歪められるのです。

【解説】最近Zoomその他のオンラインでの会議に参加することも多くなりましたが、その中で本項に例示されている通信障害を体験された方も多いものと思います。参加者が話をしている最中にネットワークが切れる現象が時々起こるものです。その場合、本人は自分の話が何時途切れたかが分からない為、混乱を生じるのです。重要なことはストーリーの流れであり、想念の流れを妨げることはあってはならないのです。その想念に再び巡り合うことは難しいからとも言える筈です。それほどに私達が日常的に心に浮かぶ想念の流れは精妙であり、貴重なものと言えるからです。もちろん、この延長として相手の話を丁寧に聞くこと、その径路を再び辿れるように自分の心に受け入れる程、受容的な姿勢が重要なのは言うまでもありません。

206 In the case of an uncorrected mistake against another, a mystery is created that may never be solved. And if it is done after a lapse of time the feeling will never be the same again. So there is a loss through the neglect of correction. And yet the correction even under these conditions is very important in order to carry on. For somewhere along the line the lost words or impressions will repeat themselves, even if for another reason, and he who has the knowledge can use these words to fill in the gap. It is no different than a window pane that will fit into a number of places.

206 ひとつの修正されない過ちに対して更に修正されない過ちが起る場合には、決して解決しない神秘が作り出されてしまいます。そしてもし、時間経過の後に為される場合には、その感じはもはや同じにはなりません。ですから修正を無視したことで損失が生まれるのです。しかもこれらの状況の中であっても修正はめげずに続けて行く為にはとても重要です。何故なら、その線に沿った何処かでその失った言葉や印象類は、他の理由からであっても再現するでしょうし、その知識をもつ者はそのすき間を埋める為これらの言葉を用いることができるからです。それは数多くの場所に当てはまる窓ガラスと何ら変わるものではありません。

【解説】 人の話をよく聞くことは私達にとって難しい課題であるように思います。それは私達が相手の訴えたい事柄の真の姿（イメージ）に同調できず、聞くそばから自分の心の意見を聞き入れ、勝手に判断してしまうからです。一方で、ある程度の年齢になると「よくここまで生きて来た」と思うものです。最近、YouTubeで”You Raise Me Up”という曲に出会いました。教会等で歌われる曲のようですが、本項の内容から言えば、これまでの人生の中で多くを意識が救ってくれ、自分を育ててくれた。そのお蔭で今日の自分があり、またこれからもYou（”意識”、最も信頼するに足る存在）を頼りに生きて行けるという意味かと思います。イエスの時代、そして他惑星人社会の支援があった時代、そしてこれからも私達はこの感謝の気持ちを忘れずに各々の行程を旅するという訳です。

207 One must not be overly cautious in avoiding mistakes. For then he would be doing nothing - this has no value. The important thing is to realize and correct mistakes as soon as possible. For when one misses something that was meant for him, either by word or association, it sometimes takes years or even centuries to find it. I have known people who were searching for something all of their present life time. Sometimes they know what they are looking for and sometimes they don't. But they do know when they find it for the uncertain nervous feeling vanishes and they emanate a warm pleasant feeling and seem to enjoy everything that they do. They are not concerned with the future and seem content and happy to live from day to day. But they have a hunger to learn all that they can, and seek association with those whom they feel have what they want. This is usually a good indication that they are filling a gap - a something lost somewhere in life.

207 人は過ちを避ける為に過度に用心深くなつてはなりません。何故なら、そうすることで彼は何もしなくなるからです、これでは価値がありません。重要なことはできる限り速く過ちを自覚し修正することです。何故なら、人はその者にとって意味のある何かを失った場合、それが言葉によってか、あるいは人間関係によってかを問わず、それを見つけ出すには何年も、場合によっては何世紀もかかるからです。私はある人々が彼等の生涯の全てにおいて何かを探し続けているのを知っています。ある時は彼等は自分達が何を探しているかを知っていますが、わからないでいる場合もあります。しかし、彼等はそれを見つけるや否やそれがわかります。不安定で神経質な感じが消え失せ、暖かな楽しい感じが発せられますし、彼等が為すことすべてを楽しんでいるように見えるからです。彼等は未来には関心がなく、日々生きていることに幸せを感じています。しかし、彼等は学べるもの全てに渴望しており、彼等が求めるものを持っていると感じる者との繋がりを求めています。これは通常、彼等が人生の何処かで無くした何らかのすき間を埋めている良い兆候なのです。

【解説】 課題に対して”逃げ”は最もいやしむべきことでしょう。まして、自分自身についての課題を回避してしまうことは、この先、再び同じ状況に巡り合うかは不明ですし、問題の解決にはその先の生まれ変わりの人生も含めて何世紀もかかると著者は警告しているのです。もちろん、過ちを犯すこと自体はマイナスなのですが、それを恐れては何も行動できなくなり、停滞することになる訳です。それも宇宙空間ならまだしも、活発な地上生活においては、時代について行けない世捨て人になりかねません。私達はこのような停滞した人生を送るべきではなく、常に活発な生命体であることが生きる者の使命であるのです。その場合、巡り合った課題解決に対して、私達は自ずと親近感を抱き、嬉々としてかつての課題解決に向けて充実した人生の一時を送ることになると著者は分析しています。かつての人生でやり残した事柄を補填している姿を観ていたと言えるのです。



208 Yet some individuals after finding this go astray. And there are millions of such. But when this happens more than one gap is made and sometimes these are almost impossible to fill as the human mind in many cases is lazy and seeks the highway of least resistance. Thus it creates many gaps through its span of life. And this majority never know true happiness, peace and contentment. And the indications are that they are off the beam of life which is of cosmic nature. For they are easily irritated, hard to satisfy, fault finding and display very poor sportsmanship. They constantly seek new friends which are not stable, but of the same nature.

208 それでも人によってはこれを見出した後も、道に迷う者もいます。しかもこのような例は何百万もあるのです。しかし、これが起った後は、出来るすき間は一箇所に留まらず、時として埋めることがほとんど困難になってしまいます。何故なら人間の心は多くの場合、怠け者であり、最小限の抵抗という常道を求めるからです。このようにして心はその生涯を通じて数多くのすき間を造り出すのです。そしてこの多数派は真実の幸福や平和、満足を知ることはありません。そしてその兆候は彼等が宇宙的性質である生命の光線とは離れていることを示しています。何故なら、彼等は容易にイライラして、満ち足りることが無く、あら探しをし、とても貧しいスポーツマン精神を表わすからです。彼等は常に新しい友人を求めますが、それらは不安定であり、また同類の者達です。

【解説】 私達それぞれが人生の課題を抱えている一方で、その解決に向けたチャンスに対して、私達は往々にしてその活用を諮るところかそれを無にしてせつかくのチャンスを見逃すことも多いものでしょう。その全ては肝心の私達の心が怠惰であることに起因しています。現実から目をそむけ、毎日の習慣的な暮らしの中でその改善の機械を自ら放棄しているのではないのでしょうか。もしそのようなことが続くなら、私達の末路も知れたものになる筈です。問題はこれらの日常の過ごし方の良否は他人には判別出来ない一方、自分自身では良く知る所であり、残された時間をどのように用いるかは各自に託された責任ということになります。本項ではこれらの課題に対し、逃げて行こうとする場合、心が増長し、遂には人格までが低下すると警告しているのです。まさに毎日は怠惰な心との戦いと言えるのです。

209 These people are like a man lost in a heavily wooded forest where the congested growth hides the sun and the vision of heaven that could lead him in the right direction. The timbers could be likened to personal opinions that blocks the vision of light that could show the way. A person may even die in this state and never know the true purpose of life. We have people who have everything that the world has to offer, even security beyond their needs, but they are very unhappy within themselves. They have searched all of their lives for something they did not understand. They sought wealth and fame for security but after having this, the happiness they longed for was not there because they had never left the timber land of self opinions. And their values of life are out of line with the cosmos.

209 これらの人々は生い茂った木々の成長が正しい方向を示してくれる太陽と天の視界を隠しているうっそうと茂った森の中で道に迷った人間のようなものです。木々は道を示すことができる光の視覚を遮る個人的な意見に似ていると言えるでしょう。人によってはこの状況の中で亡くなり、人生の真実の目的を知ることはありません。私達はこの世が提供できるあらゆるもの、そして自分が必要とする以上の安全さえも手に入れ、それでも自分自身の内面ではとても不幸である人々を知っています。彼らは自分の生涯の全てを自分ではわからない何物かを求めて来ているのです。彼らは安心のために富や名声を追い求めて来ましたが、それを得た後は、願っていた幸せはそこには無かったのです。何故なら彼らは自己の意見という森林を離れることはなかったからです。そして彼らの人生の価値というものは、宇宙の方向からは外れています。

【解説】 私達が迷っているのは、こうした自分自身の心の迷いに原因があり、日々増長する状況の中で自ら造り出した迷いの世界の中を放浪しているということでしょう。通常、このような状況を暗闇の世界と称していますが、その中を一つの提灯をさげて行くのが私達自身だということかも知れません。その際に参考とすべきは江戸時代の儒学者、佐藤一斉の言葉「一灯をさげて暗夜を行く。暗夜を憂うことなかれ、一灯を頼め」という言葉でしょう。よく”世の光”その他、世間を闇夜に例える中で、その迷いの世界を照らす光としてイエスの教え、仏陀の教えが例えられますが、佐藤一斉の言葉の中にも各自が自ら確かめた真理を拠り所として独り進めと説いているように思います。一人一人が自らの闇に対して理解して身に付けた真理の燈明を掲げて前に薦めと諭しているように思うのです。ちなみにアダムスキー氏の著作「宇宙哲学」の表紙には松明の図案が掲げられています。

210 Little did they know that what they were searching for was the other half of themselves which was not to be found in the darkness of their own opinions. For this is found in the light of consciousness which they never did enjoy. Yet it was always there, for every now and then the light would penetrate the darkness of the wooded country, but they failed to see and understand it. There are those who have followed the light of consciousness and found the way out and felt and enjoyed the freedom of the open country. And thus they experienced a lasting security that was never known before. Yet others not realizing what they had found, returned back into the darkened land only to be lost again. And they continue to create forests of darkness through which it will be harder to find the way as time goes on.

210 彼等は自分達が求めているものが自己の意見という暗闇の中では見出せない自分自身の半身であることが少しも分からないのです。何故なら、これは彼等が決して享受したことのない意識の光の中において発見されるものだからです。それでも、それはそこにいつもあります。何故なら時として光は木々に覆われた土地を貫くことがあります。彼等はそれを見落とし、理解し損じるからです。また、意識の光に従って外に通じる道を見出し、広がった大地の自由さを感じ、楽しむ者もいます。そしてこのように彼等はこれまで経験したことのない永続する安心感を体験するのです。それでも他の者達は自分達が何を発見したのかを自覚せず、再び暗い土地に戻って行き、ただ再び道に迷います。そして彼等は時間が経つにつれ見出すのをますます困難にさせる暗黒の力を造り続けるのです。

【解説】 著者が述べていることは、私達（エゴ）がこれまで造り上げてしまった心による迷いや恐怖の森から抜け出す為に、その森に時々差し込む意識の導きの光に頼ろうとはせず結局は白嫌い森の中で生涯を終える人々が多いこと、そのことを十分に自覚し、目的に向かって歩いていく必要があるということでしょう。前項に関連して申し上げれば「一灯を頼め」という言葉がある訳ですが、本項ではそのように自らを頼んで目に進んでいく中で天井から導きの光が指して来ること表現されているのです。私達は決して暗闇に戻るべきではありませんし、光の子として堂々と明るい世界にこそ自らの拠り所を置かなければならないということです。

211 This recalls an incident which happened to my wife Mary, who has since passed away, when she became lost at night fall in a jungle of high wild lilac which covered only a half acre of land. She became frightened and called for help, even though she was only about 500 yards from home. This is used only as an example to show how easily one can become lost in a jungle of self opinions which are contrary to cosmic purpose.

211 このことはずっと前に亡くなった私の妻メアリーに起こったある出来事を思い出させます。それは彼女がわずか半エーカーの土地を覆っていた野生の背の高いライラックのジャングルに夕暮れ、道に迷った時に起こりました。彼女は恐ろしくなって助けを呼んだのです。家からわずか500ヤード足らずの所に居たにもかかわらずにです。この事例は宇宙的目的に正反対な個人的意見というジャングルで人は如何に簡単に道に迷ってしまうかを示す例として用いているにすぎません。

【解説】よく「道しるべ」という表現がありますが、行き先を示すのが何事によらず多くの人達に役立つものです。先日もある市の地下街にある客先の会社に出向く用事がありました。地下鉄の駅から直ぐの所なのですが、初めての訪問であり、道筋がわかりません。あたりは近代的な地下街で歩く多くの人々にとっては何ら迷うことのない地下街なのですが、私にとっては所々にある道しるべや案内板が頼りです。約束の時間には十分間に合ったのですが、ついに帰りに道に迷う結果になりました。結局、初めての場所では自分が現在何処の位置に居るのか、常に考えながら歩むほか手段がないのですが、これも本項で言う迷いの中の一場面ということでしょう。私達は何かにつけて迷い易いのですが、それは全体の中で自分が何処の位置にあるか分からない所に原因があるように思われます。自らの意識を周囲に拡げてその把握範囲を拡げようとする姿勢が有効かと考えています。

212 It is unfortunate that 99% of the human kind are living in this kind of a jungle of the mind. When they could enjoy the consciousness, the other part of themselves that has everything that the human will ever need. For they could enjoy a life free from fear, with which the mind is shackled. There is one thing we can say for the noble space people, their minds follow the consciousness of the cosmos. And even though they are not perfect in its execution, they will be in time for they follow the guidance of consciousness.

212 残念なことに人類の99%が心のこの種のジャングルの中に生きています。彼らが人間が欲するあらゆるものを持っている意識すなわち、自身のもう一方の半身を享受することが出来るのにもかかわらずです。何故なら心が鎖で繋がれた恐怖から自由になれば生命を楽しめるようになるからです。高貴な宇宙人達について一つ言えることがあります。彼らの心は宇宙の意識に従うということです。そして彼らはその実行において例え完全ではなくても、彼らはいずれそうなるでしょう。彼らは意識の導きに従っているからです。

【解説】 私達は自分自身で造り上げて来た各自の意見や心情という他の意見を受け入れないとする意味で光を遮り、暗い地と化した自身の闇の中に生きています。問題はこの闇を取り去るのはその闇を造り上げた本人の責務であるということです。その結果、私達は日々、明日を心配し、相手を信じて良いか不安な毎日を送っているのです。このこと自体は、私達は良く分かっているつもりなのですが、その導きの光が差し込まないことを憂いている訳です。一方、子犬達を見ると彼らは元気一杯、生まれ出たことに大満足であり、嬉々として何事にも興味を抱きます。おそらく人間も同じく仮に失意の内に亡くなったとしても、新たに新鮮な肉体に生まれ変わったならば、同様な喜びの中で日々を過ごすものと思われれます。一体、どちらが永続可能（今日的にはSustainable）な本来の宇宙の姿であるかどうかは明らかですし、私達は永続するこれら宇宙の流れに沿って毎日を生き生きと過ごすべきであることは言うまでもありません。

213 In the next lesson I will explain the importance of newness in order to maintain a youthful body.

213 次の課では若さあふれる身体を維持する為に新しさの重要性について説明しましょう。

【解説】 結局この暗闇を抜け出る為には何か新鮮なものに出会って、従来の思考パターンを変革する必要があるということでしょう。私達は唯一、宇宙的な要素に出会うことで自らの命を保つことが出来る訳です。そういう意味ではイエスの言われた「幼子のようにならなければ」という話は重要で、私達はやって来る宇宙的な要素を帯びた印象を嬉々として迎え入れ、共鳴同調する心境を保つ必要があるのです。物事の解決はこうした一連の流れの中で整い、整理されて行くことでしょう。気分転換その他種々の表現がありますが、これらは皆、それまでの頑なになった自分の心を融和的、受容的なものとする中で宇宙的な要素に出会う中で再び素直な自分に還元することを意味するものと思われまふ。悩みは悩むことでは解決しない訳で、ただ自らの心だけが悩んでいることを悟る他はありません。

216 We can be thankful for the small minority of people in the world that are constantly looking for something new, not satisfied to live the doctrines of the old. It is this class of people that keep agitating the majority of the minds towards the better way of life without violence but with an understanding. The masses move very slowly and if it were not for this class of people that make them listen to the new phases, they would have been extinct long ago. Decayed by the law of monotony. But the newness that the few bring to the attention of the masses keeps them going. Slowly but surely.

216 私達は昔からの教義に満足せず常に何か新しいことを探し求めている少数の人々に感謝すべきかも知れませんが、暴力によらず共感をもって大半の人々の心をより良い生活の方向に進むよう促し続けるのはこの部類の人々です。大衆はとてもゆっくり動くものですし、もし新しい側面について耳を傾けるよう促すこの部類の人々がいなかったら、彼等はとうの昔に消滅していたであらうでしょう。退屈の法則によって朽ち果ててです。しかし、大衆の注目を引き付ける新しいものは、彼等を歩み続けさせます。ゆっくりですが、確実にです。

【解説】 携帯電話をはじめとして現在身の回りにある”便利な道具”は皆、各々の分野で研究開発された製品であり、その機能を支えるために社会の隅々に至るまでの設備が整えられ整備されているからこそ可能となっているのです。そういう意味では便利な通販サイト等、多くの技術者が新しい事業や業態を造り上げ運営している恩恵を私達は受けていることに注意しなければなりません。今日では求める知識や経験は机の上から世界中の知識図書館に調べて回ることが出来るようになってきました。誰でもその気にさえなれば研究生を送れることになり、その機会は皆平等に用意されています。今やネット検索の使い方は必須の常識となることでしょう。一方、世界全般では今でも戦車を繰出して力を誇示することも行われており、一歩誤って戦争に至れば私達は再び憎悪の暗黒の星に陥ることは必須でありましょうし、人類は再び太古の時代に引き戻されることは確実です。

215 You see the body is on one hand independent of the mind, yet on the other hand there are certain cell groups that are related to the mind and obedient to it. This is the cause of the conflict that a human finds himself in daily. The mind is inclined to be habitual and lazy. It would rather travel the road of least resistance than the road of progress that calls for steps yet unknown. This is why we are plagued with tradition and conventions of ancient times that no longer fit into our present way of life. But despite this, the mind must accept things from time to time whether it likes it or not.

215 おわかりのように肉体は一方では心からは独立していますが、他方では心と関係を持ち、心に従順な或る細胞群もあります。これが人間が日常、自分自身に葛藤を感じる原因です。心は習慣的で怠惰になる傾向があります。それは未知なる階段を必要とする進歩の道よりも最小限の抵抗しか無い道を歩むことを常としていました。これが私達が今日的生活方法にはもはや当てはまらない古来の伝統や因習に患っている理由です。しかし、これにも拘わらず、心は時としてその好き嫌いによらず物事を受け入れなければならないのです。

【解説】 肉体と心の間柄について本項では説明しています。現在、オリンピックが中国北京で開催されていますが、どの競技を見ても肉体は心に結びついており、肉体の限界を目指す苛酷な競技の中でメンタルと称される心の影響はあらゆる競技種目を支配しているように思われます。如何に自らの心を望ましい状況に維持するかがメダル獲得のカギとなるようで、私達の心が肉体に及ぼす影響は大きいものがあります。一方、何らかの事情で心が打撃を受けた場合、肉体を立て直すには長い時間を要します。そういう意味では自分の心の状態を常に監督しより良い状況に保つことは肉体を良好に維持する上でも重要です。また相手に対して何か友好的でない発言を行う等、その結果、長時間相手を不快にさせるようなことがあれば、それは罰せられるべき行為と言えるものです。そういう意味では傍若無人の発言は例え本人にその意思がないにしても責任は免れないものと思われます。一人一人の日常の発言は受け取った相手がどのような状況になりうるかを考えた上で行う必要があります、自分本位で断定的な発言は慎むべきでしょう。そういう意味では私達は未熟であることを自覚し、他人から親しまれる人間になるよう努力することが必要です。日本では古来より「言霊」という表現があり、自分の発言に恐れる心情がありました。それらも元をただせば相手の心に与える影響を考慮にいれてのことかも知れません。



ご連絡 [2022-02-23]

いつもご覧いただきありがとうございます。  
都合により、明日明後日の更新はお休みいたします。  
宜しく願いいたします。なお、次回の更新は2月28日を予定しております。

竹島 正

216 We can be thankful for the small minority of people in the world that are constantly looking for something new, not satisfied to live the doctrines of the old. It is this class of people that keep agitating the majority of the minds towards the better way of life without violence but with an understanding. The masses move very slowly and if it were not for this class of people that make them listen to the new phases, they would have been extinct long ago. Decayed by the law of monotony. But the newness that the few bring to the attention of the masses keeps them going. Slowly but surely.

216 私達は昔からの教義に満足せず常に何か新しいことを探し求めている少数の人々に感謝すべきかも知れませんが、暴力によらず共感をもって大半の人々の心をより良い生活の方向に進むよう促し続けるのはこの部類の人々です。大衆はとてもゆっくり動くものですし、もし新しい側面について耳を傾けるよう促すこの部類の人々がいなかったら、彼等はとうの昔に消滅していたであらうでしょう。退屈の法則によって朽ち果ててです。しかし、大衆の注目を引き付ける新しいものは、彼等を歩み続けさせます。ゆっくりですが、確実にです。

【解説】 携帯電話をはじめとして現在身の回りにある”便利な道具”は皆、各々の分野で研究開発された製品であり、その機能を支えるために社会の隅々に至るまでの設備が整えられ整備されているからこそ可能となっているのです。そういう意味では便利な通販サイト等、多くの技術者が新しい事業や業態を造り上げ運営している恩恵を私達は受けていることに注意しなければなりません。今日では求める知識や経験は机の上から世界中の知識図書館に調べて回ることが出来るようになってきました。誰でもその気にさえなれば研究生を送れることになり、その機会は皆平等に用意されています。今やネット検索の使い方は必須の常識となることでしょう。一方、世界全般では今でも戦車を繰出して力を誇示することも行われており、一歩誤って戦争に至れば私達は再び憎悪の暗黒の星に陥ることは必須でありましょうし、人類は再び太古の時代に引き戻されることは確実です。